

令和8年第3回区づくり推進横浜市議員会議（港北区）

日 時：令和8年9月3日（木）10時から
場 所：区役所4階1・2号会議室

議 題

- 1 令和7年度
個性ある区づくり推進費の決算について （資料1）
- 2 令和8年度
個性ある区づくり推進費の執行状況について （資料2）
- 3 令和9年度
港北区予算編成の考え方について （資料3）

資料1

令和8年第3回
区づくり推進横浜市議員会議資料
令和8年9月3日
港 北 区

令和7年度 個性ある区づくり推進費 決 算



©横浜市港北区ミズキー

港 北 区

令和7年度 個性ある区づくり推進費決算総括説明書

1 総括表

(単位：円)

	当初予算額(A)	補正額(B)	予算現額(C)(=A+B)	決算額(D)	差 引(C-D)
(1) 自主企画事業費	109,388,000	0	109,388,000	106,229,932	3,158,068
(2) 統合事務事業費	52,687,000	0	52,687,000	50,449,946	2,237,054
統合事務費	28,697,000	0	28,697,000	27,716,496	980,504
統合事業費	23,990,000	0	23,990,000	22,733,450	1,256,550
(3) 区庁舎・区民利用施設管理費	791,721,000	14,524,000	806,245,000	806,653,949	▲ 408,949
合計	953,796,000	14,524,000	968,320,000	963,333,827 (執行率 99.5%)	4,986,173

(1) 自主企画事業費

(単位：円)

区 分	予算現額	決算額	差 引	主な事業項目
				差引理由
1 安全に、安心して暮らせるまちづくり	29,489,000	29,091,090	397,910	災害に強いまちづくり推進事業 交通安全 無事故でカエル事業
				車両借上げ料の減(災害に強いまちづくり推進事業)など
2 地域で支えあう福祉・保健のまちづくり	25,802,000	24,192,062	1,609,938	地域子育てサポート事業 高齢者・障害者支え合い推進事業
				印刷手法の見直しによる印刷費の減(地域子育てサポート事業)など
3 活気にあふれるまちづくり	38,801,000	35,157,784	3,643,216	育もう「ふるさと港北」事業 港北ガーデンシティ推進事業
				小机城址まつり中止による補助金の減(育もう「ふるさと港北」事業)など
4 区民サービス向上に向けた取組	15,296,000	17,788,996	▲ 2,492,996	区民サービス向上・環境改善促進事業 区民利用施設環境改善事業
				子供の遊び場遊具の安全性確保等による増(区民利用施設環境改善事業)など
合 計	109,388,000	106,229,932 (執行率 97.1%)	3,158,068	

※詳細は3ページ以降に記載

(2) 統合事務事業費

(単位：円)

区 分	予算現額	決算額	差 引	主な事業項目
				差引理由
統合事務費	28,697,000	27,716,496	980,504	区役所業務の事務経費
				郵送量の減
統合事業費	23,990,000	22,733,450	1,256,550	広報よこはま区版発行事業
				青少年活動支援事業 印刷単価の減(広報よこはま区版発行事業)など
合 計	52,687,000	50,449,946 (執行率 95.8%)	2,237,054	

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位：円)

区 分	予算現額	決算額	差 引	主な事業項目
				差引理由
区庁舎等管理費	150,840,000	151,774,103	▲ 934,103	港北区総合庁舎、港北土木事務所、行政サービスコーナー（2か所）
				委託単価の増
区版市民活動支援センター管理費	328,000	300,708	27,292	港北区区民活動支援センター
公会堂管理費	28,069,000	28,680,306	▲ 611,306	港北公会堂
				委託単価の増
地区センター等管理費	260,761,000	260,700,000	61,000	地区センター（6か所） 小机スポーツ会館
青少年施設管理費	10,341,000	10,341,000	0	綱島公園こどもログハウス
区民文化センター管理費	147,220,000	147,181,000	39,000	港北区区民文化センターミズキーホール
老人福祉センター等管理費	46,400,000	46,388,000	12,000	老人福祉センター菊名寿楽荘
コミュニティハウス管理費	113,400,000	113,184,100	215,900	コミュニティハウス（4か所） 学校施設活用型コミュニティハウス（3か所）
区スポーツセンター管理費	28,947,000	26,701,238	2,245,762	港北スポーツセンター
				指定管理者の提案による指定管理料の減
広場・遊び場等管理費	16,221,000	15,670,030	550,970	港北国際交流ラウンジ、遊び場（13か所）
				入札残（国際交流ラウンジ）
区庁舎・区民利用施設修繕費	3,718,000	5,733,464	▲ 2,015,464	区庁舎、公会堂、地区センター、行政サービスコーナー等の小破修繕など
				対象案件の増
合 計	806,245,000	806,653,949 (執行率 100.1%)	▲ 408,949	

自主企画事業 目次

(単位：円)

事業名				掲載頁
1 安全に、安心して暮らせるまちづくり	予算額	決算額	差引額	
(1) 災害に強いまちづくり推進事業	20,052,000	19,941,215	110,785	4
(2) 災害時医療整備事業	424,000	357,088	66,912	12
(3) 地域における災害時要援護者支援推進事業	1,345,000	1,301,376	43,624	14
(4) 港北AAA（安全で安心な明日を）地域防犯力向上作戦	1,082,000	1,066,282	15,718	16
(5) 交通安全 無事故でカエル事業	4,940,000	4,879,174	60,826	18
(6) 放置自転車対策事業	480,000	441,460	38,540	20
(7) 快適な暮らしの衛生応援事業	1,166,000	1,104,495	61,505	21
2 地域で支えあう福祉・保健のまちづくり				
(1) 「ひとつプラン港北」推進事業	1,768,000	1,743,766	24,234	22
(2) 地域子育てサポート事業	8,894,000	8,195,564	698,436	24
(3) 困難な状況にある児童・家庭等への支援事業	3,484,000	3,322,283	161,717	28
(4) 保育所支援・情報提供事業	2,808,000	2,489,534	318,466	31
(5) 港北区放課後児童健全育成強化・情報提供事業	370,000	260,850	109,150	33
(6) 高齢者・障害者支え合い推進事業	3,238,000	3,163,393	74,607	34
(7) 食育推進事業	1,889,000	1,860,925	28,075	38
(8) 健康こうほく21事業	3,351,000	3,155,747	195,253	41
3 活気にあふれるまちづくり				
(1) 育もう「ふるさと港北」事業	9,555,000	8,713,444	841,556	43
(2) 地域スポーツ推進事業	3,350,000	2,862,161	487,839	46
(3) 港北区商店街活性化事業	2,000,000	1,998,613	1,387	49
(4) 地域のチカラ応援事業	3,491,000	3,312,278	178,722	51
(5) 港北オープンファクトリー事業	677,000	689,225	▲ 12,225	53
(6) 芸術文化振興事業	1,800,000	1,800,000	0	54
(7) 区民活動支援事業	1,287,000	1,273,002	13,998	56
(8) 地域振興活動事業	3,000,000	2,935,360	64,640	58
(9) 読書活動推進事業	1,653,000	1,506,529	146,471	60
(10) こうほく プラ5.3推進事業	941,000	907,378	33,622	64
(11) 港北ガーデンシティ推進事業	4,770,000	4,271,521	498,479	66
(12) 港北脱炭素みらい推進事業	3,200,000	2,315,307	884,693	70
(13) まちづくり調整費	3,077,000	2,572,966	504,034	71
4 区民サービス向上に向けた取組				
(1) 区民サービス向上・環境改善促進事業	6,941,000	8,265,928	▲ 1,324,928	73
(2) 区民利用施設環境改善事業	3,120,000	4,518,887	▲ 1,398,887	74
(3) 戸籍課案内サービス向上事業	3,092,000	2,978,445	113,555	75
(4) 港北区PR情報発信事業	1,523,000	1,520,043	2,957	77
(5) 「仕事力向上」職員育成事業	620,000	505,693	114,307	78
《参考》統合事業費				
広報よこはま区版発行事業	14,665,000	13,736,323	928,677	79
広聴相談事業	2,016,000	2,010,217	5,783	80
青少年活動支援事業 ※学校・家庭・地域連携事業を含む	3,083,000	2,843,306	239,694	81
緊急時情報伝達システム運用事業 ※災害に強いまちづくり推進事業の頁に掲載	884,000	831,604	52,396	11
スポーツ推進委員支援事業 ※地域スポーツ推進事業の頁に掲載	2,500,000	2,500,000	0	48
クリーンタウン横浜事業 ※こうほく プラ5.3推進事業の頁に掲載	842,000	812,000	30,000	65
※次ページからの詳細の差引理由について、差引額が10万円未満の事業は差引理由を省略しています。				

1-(1) 災害に強いまちづくり推進事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
1-(1) 災害に強いまちづくり推進事業	20,052,000円	19,941,215円	110,785円
総務課	差引理由	車両借上料の減など	

【事業の概要】

令和6年の能登半島地震の発生や、初めて発表された南海トラフ地震臨時情報等の影響による区民の災害対策への関心の高まりと、令和7年3月に改定された横浜市地震防災戦略をふまえ、災害発生時の被害を最小限に留めるための各種取組を行いました。

地域向けの啓発事業を実施し、一人ひとりの自助・共助による備えの重要性を伝え、具体的な行動に結びつけるほか、地域防災拠点の円滑な運営を支援するため、資機材の配備・更新や取扱講習を行いました。

また、区災害対策本部の運営体制を強化するため、通信手段の確保、訓練・研修等を行いました。

【主な内容】

1 自助・共助の啓発事業 【予算：10,075千円、決算：9,999千円】

横浜市地震防災戦略の柱1「市民や地域の「発災前からの備え」の強化」の推進

(1) こども向け防災啓発資料の作成・配布

子どもへの防災啓発を契機として、親世代、祖父母世代に波及して防災意識を向上させ、備蓄等の具体的な行動に繋げるため、家族で災害への備えについて話し合うきっかけの一つとして子ども向けの啓発ハンドブックを作成し、区内公立小学校に配布しました（10月）。



【小学生向け防災ハンドブック】

(2) 親子防災デイキャンプの実施

子育て世帯が災害への備えを進めるきっかけとするため、避難所の設営や防災食の調理、試食等、災害発生時の避難生活を親子で体験できるワークショップを実施しました（8月 参加人数14組（28人）、港北区役所1・2号会議室）。



【親子防災デイキャンプ】

(3) 郵便ポストへの防災情報掲出

区民の身近な場所で防災情報を提供するため、郵便局の協力により、区内157か所に設置されている郵便ポストに、防災情報が印刷されたステッカーを掲出しました（8月）。



【区内郵便ポストに掲出したステッカー】

1 安全に、安心して暮らせるまちづくり

(4) 帰宅困難者抑制に向けた広報活動の実施

災害により公共交通機関が運休した場合の帰宅困難者による混乱を防止するため、一斉帰宅の抑制や職場での備蓄を呼びかける啓発ポスターを、区内主要駅（日吉駅、菊名駅）に掲示しました（10月）。

また、新横浜駅周辺混乱防止対策連絡協議会の参加団体に同ポスターの掲示を依頼し、一斉帰宅の抑制に向けた協力を促進しました（2月）。



【一斉帰宅の抑制ポスター】



【日吉駅】



【菊名駅】

(5) 防災キャラバンの実施

地域のニーズに応じた啓発活動を行い、区民の防災意識の向上につなげるため、自治会町内会や区内小学校等の希望する団体を対象に、専門家による講演を行う防災キャラバンを実施しました（6～12月、15回）。

【防災キャラバンの実施テーマ（7年度）】

テーマ	内容	7年度実績
防災食	災害時の食品のローリングストックや備蓄食料の調理法の講義、体験	6回
マンション防災	マンション特有の防災対策についての講義	2回
発災時のトイレ問題	災害時に安心して使用できるトイレ環境の確保についての講義	2回
建築物の防災	①木造住宅の危険性の正確な理解と安全対策についての講義 ②既存ブロック塀等の安全点検についての講義	2回
首都直下型地震や風水害を克服するまちづくり	地域の地質と災害リスクの読み取りから、被害を最小限にする防災組織と連携づくり、地区防災計画の作成等を講義・助言	2回
河川防災	鶴見川水系の河川防災に関する基礎知識についての講義	1回
知的障害や自閉症の方への支援	災害時の知的障害や自閉症の方向けの支援について、当事者からの講義やコミュニケーションボードの使用説明等	0回
合 計		15回

《参考》

防災講話の実施

区内の団体等からの希望により、区防災担当職員が防災講話を実施しています。講話のテーマは、地震・風水害への備えを中心に、団体の希望する内容を伺ったうえで調整しました（通年）。

【防災キャラバン及び防災講話の参加人数】

年 度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
防災 キャラバン	100人	296人	468人	758人	491人
防災講話	257人	1,008人	1,018人	1,529人	1,200人
合計	357人	1,304人	1,486人	2,287人	1,691人



【防災キャラバン】



【防災講話】

(6) 港北支えあい防災教室の実施

要援護者に関わるケアマネジャーや要配慮者施設（高齢者施設、保育所等）の職員が、防災に関する基礎知識に加えて、職種や施設の特徴に応じた知識を得ることができるよう、研修会を実施しました（計2回 7月及び10月）。



【港北支えあい防災教室】

【7年度の実施状況】

実施回	実施日	対象者及び内容	参加人数
第1回	7月25日	福祉施設関係者 災害時の要援護者支援、日常の避難訓練や備蓄品の準備、BCPの策定	28施設 32人
第2回	10月24日	保育施設関係者 保育施設の特徴を踏まえた日頃からの災害への備えと発災時の対応、保育現場に求められる防災意識、知識等	26施設 31人

(7) 区内の事業者や商業施設と連携した防災啓発の実施

区内の大規模商業施設等と連携し、啓発イベントへの出展や訓練等を行いました。

・「港北シェイクアウト！」の実施

大地震発生時に一人ひとりの命を守るための初動対応訓練を、区民や区内事業者の参加を募り、商業施設等と連携して実施しました。

【令和7年度参加団体】

NO	団体名	参加者数（人）
1	医療法人社団哺育会介護老人保健施設 ナーシングプラザ港北	10
2	ほっと・館 宇宙	18
3	新羽町中央町内会	14
4	港北区社会福祉協議会	14
5	さくらカンタキステーション	14
6	新羽町自治会	11
7	新羽町南町内会	29
8	高田東小学校	400
9	幼保連携型認定こども園 岸根こども園	135
	合計	645

・防災イベントへの出展等

商業施設が開催する防災イベント等に出展し、来場者に啓発を行いました。

【防災啓発イベント】

時期	商業施設等名称	イベント名	啓発実施内容
9月6日（土）	トレッサ横浜	トレッサ防災フェア	パネル展示、 啓発資料配布、 ワークショップの実施 等
9月21日（日）	イオン横浜新吉田店	防災イベント	
11月8日（土）	横浜アリーナ	ふるさと港北 ふれあいまつり	
3月7日（土）	アピタテラス 横浜綱島 (Tsunashima SST)	こども防災フェア	



【トレッサ防災フェア】



【こども防災フェア】

(8) 防災講演会の実施

より多くの区民に災害への備えの重要性を伝え、参加者が具体的な行動を取るきっかけになるような防災啓発を実施するため、防災に見識のある外部講師を招き、区民が気軽に参加することができる講演会を開催しました（2月、約130人）。

(9) まるごとまちごとハザードマップの設置

生活する地域における洪水の危険性を実感し、適切な避難行動につなげるため、「まちなか」の電柱に想定浸水深や避難場所を示した看板等を、日吉地区及び大曽根地区の洪水浸水想定区域内に設置しました。地区内の設置場所は、地区定例会を通じて地域と調整しながら決定しました（1～3月）。

【看板の設置状況及び今後の予定】

年度	地区	設置箇所数	
4 年度	大倉山	50	100
	綱島	50	
5 年度	城郷	50	99
	新羽	49	
6 年度	新吉田	60	90
	新吉田あすなろ		
	樽町	30	
7 年度	日吉	60	80
	大曽根	20	
8 年度 (予定)	菊名	55	90
	高田	20	
	師岡	10	
	篠原	5	
計	13地区	459	



【想定浸水深を表示した看板と浸水深の高さに設置したテープ】

【大曽根地区】

(10) がけ地相談会の実施

区内の崖地周辺の土地が所有者によって適切に管理され、土砂災害の被害を抑制するため、地盤の専門家である地盤品質判定士が、相談を希望する参加者の管理する崖地の状況を分析し、対応の必要性を検討する相談会を区独自に実施しました（9月、1日6組（計12組））。



【がけ地相談会】

(11) 各種防災啓発用資料の印刷・配布

区民が日頃から自宅等の危険性や災害時の避難場所を確認できるよう、港北区防災・区民生活マップ（約15,000部）やハザードマップ（約9,000部）等の啓発用資料を配布しました。

2 避難所等の環境改善及び運営支援 【予算：5,660千円、決算：3,959千円】

横浜市地震防災戦略の柱2「誰もが安心して避難生活を送ることができる仕組みの構築」の推進

(1) 地域防災拠点の混乱防止対策の実施

・地域防災拠点へのトイレスターターキットの配備

大地震発生後、地域防災拠点の開設にあたり混乱が予想される時期に、上下水道の状況が不明確な状況でもトイレの設営を簡易かつ迅速に行い、秩序を維持するため、「トイレスターターキット」を作成し、全拠点に配備しました（9月、全29拠点）



【トイレスターターキット】

「トイレスターターキット」は、非常用トイレパックのほか、トイレパックの使用方法、各種サイン等で構成し、予備知識のない避難者でもトイレ環境の整備の重要性や設営方法を理解し、設営ができることを目的としたキットです。

(2) 地域防災拠点備蓄倉庫の狭あい化への対応

備蓄倉庫の狭あい化に対応し、拠点運営委員会の円滑な活動を支援しました。

・区独自配備資機材の置き換え

資機材の省スペース化のため、区が独自に配備した資機材のうち、段ボールベッドを回収し、新たにコンパクトに畳むことができ、スチール製で劣化しにくく、簡単に設営できるワンタッチ式ベッドを配備しました（9月、全29拠点）。

《参考》

局事業

〔総務局事業〕

・防災備蓄倉庫の整理整頓の支援

防災備蓄倉庫の整理整頓、備蓄品の管理を支援するため、専門業者に委託し、希望する拠点の備蓄倉庫内の棚卸、目録及び位置図の作成等を行いました。



【実施前】



【実施後】

(3) 資機材取扱指導員の派遣

災害発生時に資機材を取り扱うことができる人材を安定的に確保するため、資機材取扱指導員を地域防災拠点運営委員会に派遣し、資機材の取扱研修を行いました（9～12月、3拠点）。



【指導員による指導】

(4) 備蓄資機材の修繕・更新

各地域防災拠点に備蓄されている発電機等の資機材について、地域防災拠点運営委員会の要請等に対応し、修繕・更新を行いました。

3 区災害対策本部の効率的な設置運営 【予算：4,167千円、決算：5,834千円】

(1) 円滑な連絡体制の確保

大規模災害時においても避難所等との情報受伝達を円滑に行うため、携帯回線を使用するI P無線機や、災害発生時も安定して通信できる地域BWA回線(※)に対応した公用スマートフォン等の各種通信機器を継続して運用しました。



【I P無線機】



【公用スマートフォン】

※地域 BWA とは

市区町村単位で地域事業者が提供する通信システムです。公共サービスに利用することを想定し、大手キャリアとは別に基地局を整備しているため、災害発生時の通信の混雑が発生しにくいとされています。

横浜市では、イッツ・コミュニケーションズ(株)が免許を取得しています。

(2) 災害時における避難場所借上げの実施

避難情報の発令時等に必要に応じ地区センター等を避難場所として借り上げ、施設使用料を負担しました。

(3) 港北区災害対策本部訓練等の実施

区本部機能強化のため、各種訓練等を実施しました。

【訓練】

- ・区職員動員訓練（6月～12月）
- ・震災対策本部各班訓練（11月～12月）
- ・震災対策区本部訓練（1月）
- ・区職員安否確認訓練（1月）

【研修】

- ・風水害対策研修（4月）
- ・地域防災拠点参与係長研修（4月）
- ・震災対策研修（9月）
- ・拠点動員者研修（9月）



【研修の様子】

(4) 港北区災害対策本部用備品の購入

区本部の安定した運営を確保するため、備蓄食料等の備品を購入しました。

《参考》

統合事業費

緊急時情報伝達システム運用事業【予算：884千円、決算：832千円】

避難指示等の避難情報を区民に迅速かつ確実に伝えるため、避難情報を発令する区域に居住する配信希望者等を対象に、電話による一斉発信及び応答機能を持つシステムを運用しました。

【対象区域内の配信希望者等】（8年3月末時点）

洪水浸水想定区域内の災害時要援護者	2,759人
家屋倒壊等氾濫想定区域内の住民	193人
自治会町内会長（区内全域）	125人
土砂災害警戒情報発表に伴う即時避難指示対象の区域の住民	3人
合計	3,080人

4 各種団体への補助 【予算：150千円、決算：150千円】

災害時に円滑なボランティア活動を実施するため、港北区災害ボランティア連絡会にコーディネーターの育成、訓練、必要な資機材の購入費として補助金を交付しました。

[総務局再配当予算]

・地域防災力向上事業

地域防災活動奨励助成金 【予算：3,480千円、決算：3,480千円】

区内29か所の地域防災拠点運営委員会へ助成（1拠点あたり12万円交付）

町の防災組織活動費補助金 【予算：18,375千円、決算：18,225千円】

区内140団体の町の防災組織へ補助（1世帯あたり160円交付）

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
1- (2) 災害時医療整備事業	424,000円	357,088円	66,912円
福祉保健課	差引理由		

【事業の概要】

災害時医療等の対策を講じるため、医師会、歯科医師会、薬剤師会（以下「三師会」という。）をはじめとした関係機関との各種会議の開催や医療救護隊の訓練を実施するとともに、災害時の体制維持に向け、必要物品の整備、災害支援ナース（以下「Yナース」という。）の登録促進と育成を進めます。

【主な内容】

1 災害医療体制の整備 【予算：194千円、決算：89千円】

(1) 災害医療連絡会議

三師会、Yナース、病院等の医療関係者と、区、警察、消防等の行政機関が参加し、災害時の医療体制及び医療救護活動に関し、意見交換や情報共有を行いました。

（年3回 6月、10月、2月）



【災害医療連絡会議】

(2) 災害時の医療体制の区民周知

医療機関や医療救護隊が、限られた人員と資源でより多くの人を救う効果的な活動を行うため、重症度に応じた受診先の選択、軽症者の自助共助による対応等の災害時の医療体制や、救急医療と災害医療の違い等の災害医療に関する内容について、三師会と連携して区民向けに周知啓発を行いました。

具体的には、チラシの配布、広報よこはま区版(6月号)、区ウェブサイト、SNS等を活用した広報を行いました。



【災害時の医療体制周知チラシ】

2 医療救護隊訓練の実施 【予算：50千円、決算：5千円】

参集実地訓練（12月）や地域防災拠点における医療機関報告書持込訓練（9月～11月）、のぼり旗・フラッグ掲出訓練（9月、1月）のほか、医療機関や医療局との通信訓練（医療機関：年4回、医療局：年6回）を実施しました。



【参集実地訓練】



【医療機関報告書持込訓練】



【のぼり旗・フラッグ掲出訓練】

【訓練の参加人数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
参集実地訓練 (実人数)	41人	70人	64人	70人	73人
報告書持込訓練 (参加医療機関数)	—	41機関 (3拠点)	52機関 (5拠点)	74機関 (7拠点)	69機関 (6拠点)

3 医療救護隊用装備品の整備 【予算：160千円、決算：253千円】

- ・医療救護隊参集拠点における定点診療に必要な装備品の維持・整備をしました。
- ・医療救護隊及び医療調整班保健活動グループの巡回診療に必要な装備品を整備しました。

4 災害支援ナース（Yナース）の登録促進と育成 【予算：20千円、決算：10千円】

- ・リーフレットによる登録勧奨（随時）
- ・広報よこはま区版（年2回）や区ウェブサイト、SNS等を活用した登録勧奨
- ・参集実地訓練への参加依頼（12月）
- ・Yナース連絡会の開催（年1回：1月）
- ・港北区医師会や県看護協会主催の研修会への参加勧奨（随時）



【Yナース登録者数】

【Yナース募集リーフレット】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
登録人数	72人	66人	66人	66人	70人

1 - (3) 地域における災害時要援護者支援推進事業

事業名・所管課	予算 (A)	決算 (B)	差 ▲ 引 (A-B)
1 - (3) 地域における災害時 要援護者支援推進事業	1,345,000円	1,301,376円	43,624円
高齢・障害支援課	差引理由		

【事業の概要】

地域の方と災害時要援護者（以下「要援護者」という。）との平常時の関係構築と防災意識醸成の取組を推進するため、地域への情報提供に同意をいただいた要援護者宅への訪問用の防災物品と啓発チラシを作成・配布しました。

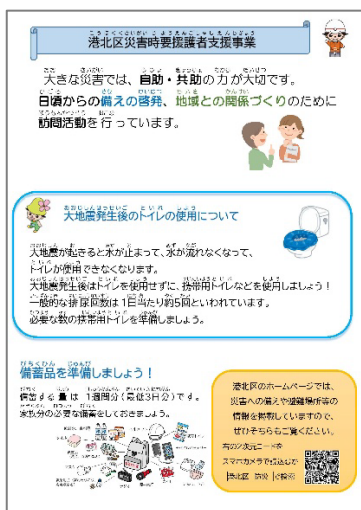
また、区内協力企業等による、長期停電時における要電源医療機器利用者へのバッテリーの貸出し・充電等の支援を行いました。

【主な内容】

1 災害時要援護者訪問推進事業 【予算：1,120千円、決算：1,301千円】

地域の支援者を対象に、災害用備蓄品及び防災情報の啓発チラシを配付し、要援護者名簿に掲載された方のうち、地域への情報提供に同意いただいた方への訪問時にお渡ししていただくことで、支援者と要援護者の関係構築及び防災意識の醸成を進めました（3月、災害用備蓄品6,000個、啓発チラシ6,000部）。

また、地域の支援者に事業概要リーフレットを配付し、事業の周知を図りました（500部）。



【備蓄物品と啓発チラシ】



【事業概要リーフレット】

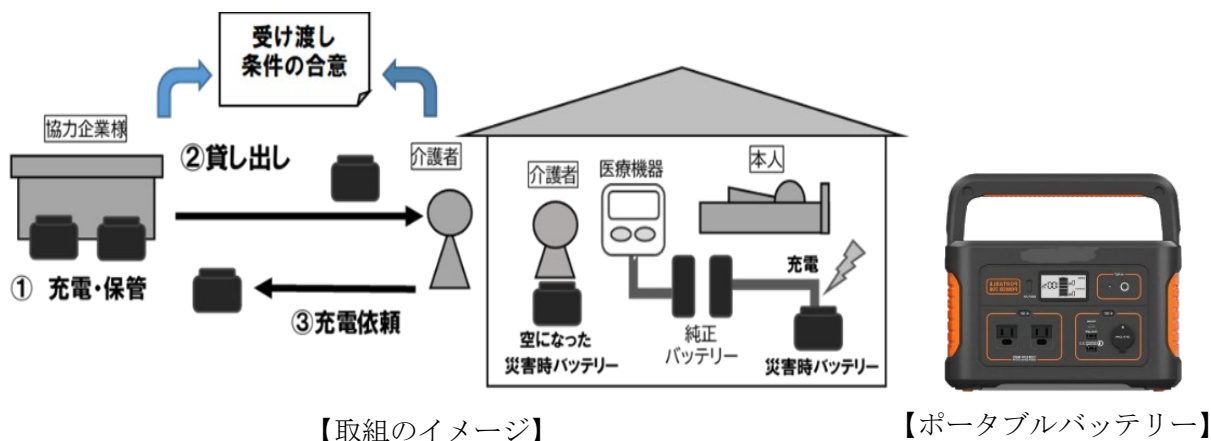
【健康福祉局再配当予算】

・災害時要援護者支援事業 【予算：2,100千円、決算：1,943千円】

災害対策基本法に基づき、災害時に自力で避難することが困難な方（高齢者、障害者等）を対象とした名簿を作成し、協定を結んだ自治会町内会に名簿を提供しました。

2 要電源医療機器利用者支援事業 【予算：225千円、決算：0円】

区内の協力企業に災害時用のポータブルバッテリーを貸与し、協力企業による共助の取組として、長期停電時に要電源医療機器利用者に充電済みのバッテリーを貸し出すほか、利用者が所有する医療機器用バッテリーの充電などの支援を行いました（通年、協定締結企業12社、利用者7人）。



協力企業は区が用意したポータブルバッテリーを使い、次のサイクルを作りました。

- ① 平常時は充電・保管
- ② 1日超の長期停電時に貸出し
- ③ 対象者のバッテリーの充電

《参考》

【港北区における人工呼吸器等要電源医療的ケア児・者災害時個別避難計画（医療局事業）の作成状況（令和7年度）】

- ・計画作成の同意書取得数 19人
- ・計画作成完了数 5人

《参考》

〔健康福祉局事業〕

- ・横浜市要電源障害児者等災害時電源確保支援事業

災害等による停電時の備えとして、電源が必要な医療機器を在宅で使用している方に対し、蓄電池等の非常用電源装置の給付を行いました（収入により給付上限額あり）。

〔医療局事業〕

- ・人工呼吸器等要電源医療的ケア児・者等災害時個別避難計画の作成

電源が必要な医療機器を在宅で使用している方のうち、災害時に電源確保等の支援が必要な方について、個別避難計画を作成しました。

1－(4) 港北AAA（安全で安心な明日を）地域防犯力向上作戦

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
1－(4) 港北AAA (安全で安心な明日を) 地域防犯力向上作戦	1,082,000円	1,066,282円	15,718円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

自治会町内会による防犯活動の物品配布やメールでの区内犯罪発生情報の発信並びに各団体と連携した特殊詐欺被害防止啓発物品の積極的な配布、闇バイト及び特殊詐欺に向けた注意喚起など、区民の防犯活動支援と犯罪発生情報提供を実施しました。

また、令和7年度に新設された自治会町内会向けの「地域の防犯力向上緊急補助金」について積極的に周知・啓発を行い、制度の利用促進及び活用支援を行いました。

【主な内容】

1 防犯啓発活動事業 【予算：472千円、決算：532千円】

(1) 港北AAA作戦会議の開催

地域の防犯力向上のため、警察や港北企業防犯協会等の防犯関係団体、地域、学校、事業者による「港北AAA作戦会議」を書面開催しました（6月）。

(2) 防犯パトロール関連物品等の作製・配布

「のぼり旗」や「ベスト」等、自治会町内会等の団体が防犯活動を行う際に使用する物品を作製、配布し、地域の防犯活動を支援しました。

(3) 青色防犯灯装備車によるパトロール

警察の講習を受けた区職員が、週1回、犯罪発生地域を中心に青色防犯灯装備車で巡回し、放送による防犯啓発を行いました。子どもの下校時間に合わせた見守りを行うとともに、警察と特殊詐欺等犯罪発生状況を共有し、手口が多様化している詐欺等その時々状況に合わせた注意を放送で呼びかけました。



【青色防犯灯装備車によるパトロール】



【防犯のぼり】

(4) 港北区安心・安全のつどいの開催

交通安全功労者表彰等と併せて、防犯功労者表彰や防犯講話を公会堂で実施しました（12月）。

2 特殊詐欺対策機器設置啓発事業 【予算：500千円、決算：392千円】

特殊詐欺被害が市内18区の中で多いことから、警察と連携し、行政主催会議、公共施設、ふるさと港北ふれあいまつりなどのイベント等で啓発チラシやグッズを配布し、様々な機会を捉え、特殊詐欺被害防止に向けた啓発を実施しました。

啓発キャンペーン実施内容：港北区役所（約100セット配布）、日吉地区センター（約30セット）、城郷小机地区センター（約60セット）、港北区図書館／菊名地区センター（約70セット）、新田地区センター（チラシ配架のみ100枚）



【港北区役所での啓発キャンペーン】



【啓発グッズ】

3 防犯情報メールの配信事業 【予算：110千円、決算：143千円】

防犯情報メールの登録者へ、特殊詐欺を含む警察から情報提供があった犯罪発生状況や特殊詐欺警報等を、メール及びFAXで「防犯情報メール」として配信しました。令和7年7月から、横浜市メーリングシステムを活用したメール配信に変更しました。

【防犯情報メール登録者数】

年度	3年度末	4年度末	5年度末	6年度末	7年度末
延べ登録者数	11,250人	11,569人	11,778人	11,964人	12,201人

【市民局再配当予算】

- ・地域防犯啓発事業 【予算：90千円、決算：90千円】

港北区民生委員児童委員協議会全員研修会で啓発グッズを配布しました。

《参考》【港北区内犯罪発生状況（暦年）】

	3年	4年	5年	6年	7年
犯罪発生件数	1,215件	1,426件	1,728件	1,691件	1,759件
特殊詐欺	58件	105件	84件	66件	111件
同被害額	1億4,345万円	1億8,532万円	1億6,950万円	1億8,970万円	7億5,760万円

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
1-(5) 交通安全 無事故でカエル事業	4,940,000円	4,879,174円	60,826円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

交通安全意識の向上を図るため、交通安全関係団体と協力し、啓発活動を行いました。特に、高齢者や児童を対象に事業を実施しました。

【主な内容】

1 交通安全運動事業 【予算：333千円、決算：133千円】

(1) 各種交通安全キャンペーンの実施

交通安全各種団体と連携し、各種交通安全キャンペーンを実施しました。

- ・春の全国交通安全運動キャンペーン（4月 新横浜駅）
- ・夏の交通事故防止運動キャンペーン（7月 日吉駅）
- ・秋の全国交通安全運動キャンペーン（9月 トレッサ横浜）
- ・年末の交通事故防止運動キャンペーン（12月 新横浜駅）
- ・自転車マナーアップキャンペーン（5月 アピタ横浜綱島店、3月 綱島駅・イオン新吉田店）
- ・二輪車交通事故防止・暴走族追放強化月間キャンペーン（6月、8月 綱島）



【各種交通安全キャンペーン】

(2) 「安全・安心のつどい」の開催

防犯功労者表彰等と併せて、交通安全功労者表彰、ポスターコンクール入賞者表彰、慶応義塾大学落語研究会の「交通安全・防犯落語」を実施しました（12月）。

(3) 区内イベントでの交通安全啓発

区内で開催されるまつりなどの各種イベントに参加し（出店等含む）交通安全の啓発を実施しました。

2 子育て関連施設交通安全対策事業 【予算：102千円、決算：77千円】

子育て施設周辺の安全対策として、新規に開園する保育所や幼稚園などの施設周辺に、施設の存在を知らせ、子どもの飛び出しに対する注意を促す電柱巻看板を設置しました（新規2件、更新5件）。



【電柱巻看板】

3 児童交通安全対策事業 【予算：4,305千円、決算：4,523千円】

- ・ランドセルカバー贈呈式（4月 太尾小学校）
- ・スケアドストレイト方式の交通安全教室（12月 日吉台西中学校）
- ・はまっ子交通あんぜん教室 : 23校
- ・交通安全ポスターコンクール : 応募452点
- ・スクールゾーン路面標示 : 33か所
- ・スクールゾーン電柱巻 : 25か所



【ランドセルカバー贈呈式】



【はまっ子交通あんぜん教室】



【交通安全カレンダー】



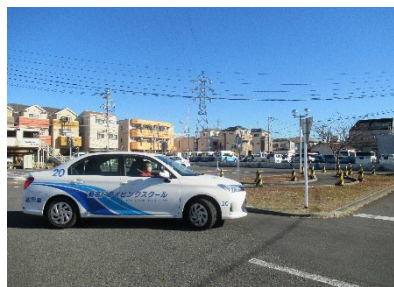
【スクールゾーン路面標示】



【スクールゾーン電柱巻】

3 高齢者交通安全対策事業 【予算：200千円、決算：147千円】

- ・交通安全シルバーリーダー連絡協議会総会（5月）
- ・高齢者を対象としたシルバーウォークラリー及びシルバードライビングスクール等の交通安全教室（4月、9月、12月）
- ・高齢者が集まる地域ケアプラザやデイサービス等における免許返納の推進や交通安全の啓発（6月、12月 計4回）



【高齢者向け啓発活動】

1-(6) 放置自転車対策事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
1-(6) 放置自転車対策事業	480,000円	441,460円	38,540円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

駅前における歩行者の安全を確保するため、各駅自転車等放置防止推進協議会の活動やキャンペーン活動を支援し、自転車等の放置防止を促しました。

【主な内容】

1 地域活動事業 【予算：480千円、決算：441千円】

区内の自転車等放置防止推進協議会に対し活動費を助成（10協議会）するとともに、活動用物品を配付しました。

また、協議会とともに「放置自転車クリーンキャンペーン活動」を実施しました（10月～11月）。

さらに、駅ごとの放置状況や啓発方法等について情報共有を行うため、区内の各協議会の代表による「港北区自転車等放置防止推進協議会連絡会」を開催しました（2月）。

視覚的に駐輪禁止とわかるように、注意喚起札等を活用し、駐輪禁止区域内の自転車等の放置を防止しました（通年）。



【放置自転車クリーンキャンペーン】

【区内全駅の1日における放置台数（合計）】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
放置台数	214台	330台	181台	352台	386台
駐輪場収容台数	20,039台	19,461台	20,036台	20,425台	20,181台
駐輪場利用台数	17,740台	19,329台	18,436台	19,101台	20,042台

※「横浜市鉄道駅周辺放置自転車等実態に関する調査」より抜粋
（11月の平日の晴天時、午前10時から午後2時までに放置されていた台数）

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
1-(7) 快適な暮らしの衛生 応援事業	1,166,000円	1,104,495円	61,505円
生活衛生課	差引理由		

【事業の概要】

区民等からの食中毒、衛生害虫及びペットに関する相談に対し、原因調査や関係者への助言指導等を行うとともに、区ホームページやSNSを積極的に活用し、食品衛生、環境衛生及び動物愛護に関する知識の普及啓発を行い、区民の安全で快適な暮らしを支援しました。

【主な内容】

1 食中毒・感染症防止対策事業 【予算：464千円、決算：458千円】

イラストや動画のURLを掲載したSNSの発信（7回）、YouTube動画広告を掲載（12月～1月、視聴回数147,455回）及び駅等のデジタルサイネージの活用（3箇所）により、区ホームページに誘導して食中毒・感染症予防啓発を推進しました。

【食中毒・感染症発生件数】

暦年		3年	4年	5年	6年	7年
食中毒	件数	2件	2件	0件	3件	1件
	患者数	7人	4人	0人	16人	3人
感染症※	件数	35件	43件	41件	33件	45件
	患者数	274人	202人	731人	468人	506人

※ノロウイルス、腸管出血性大腸菌等

2 住まいの衛生及びペットに関する相談・啓発事業 【予算：702千円、決算：646千円】

衛生害虫やペットのマナー等の相談受付及び災害時ペット対策の啓発を推進しました。

- ・ハチ、ねずみ等衛生害虫に関する相談受付（通年）
- ・ペットの適正飼育に関する相談受付、啓発・指導（通年）
- ・狂犬病予防注射集合会場での飼い主向け啓発（4月4回実施）
- ・地域防災拠点運営委員会等へのペット対策啓発（23回）、YouTube 動画広告掲載（9月～12月、視聴回数158,182回）

【衛生害虫・ペット関係の相談件数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
衛生害虫	516件	496件	378件	434件	398件
ペット	154件	126件	120件	127件	178件



【マナー・防災に関する啓発資料、動画】

【ペットのマナー・防災対策教室】

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2-(1) 「ひっとプラン港北」 推進事業	1,768,000円	1,743,766円	24,234円
福祉保健課	差引理由		

【事業の概要】

近隣関係の希薄化や支援を必要とする高齢者等の増加など、多様な福祉保健課題を解決するため、「港北区地域福祉保健計画」（以下「ひっとプラン港北」という。）の第4期（計画期間：3年度～7年度）区計画を推進するとともに、13地区で策定した地区計画の推進を支援し、助け合い支え合いのある、安心して暮らせるまちを目指します。

7年度は、第4期「ひっとプラン港北」の最終年度となります。第4期計画を推進するとともに、5年度に実施した区民意識調査、6年度に実施した検討部会、区計画、地区計画の策定・推進委員会等区民の意見、新たに定められた第5期横浜市地域福祉保健計画を踏まえ、第5期計画を策定しました。

【主な内容】

1 ひっとプラン港北推進事業 【予算：1,768千円、決算：1,743千円】

(1) 第5期計画策定

- ・「ひっとプラン港北」策定推進会議を開催しました（7月・1月）。
- ・素案（区計画・地区計画）を作成しました（7月）。
- ・視覚障害者の方向けに、音声読み上げに対応した素案のテキスト版概要を作成しました（7月）。
- ・素案（区計画・地区計画）の意見募集を実施しました（8月～9月）。
- ・本冊子・概要版の印刷製本を行いました（3月）。

(2) 第4期区計画推進

- ・「ひっとプラン港北」担当職員向け研修を実施しました（5月）。
- ・各地区計画 策定推進委員会等の支援を行いました（随時）。



【「ひっとプラン港北」策定推進会議】

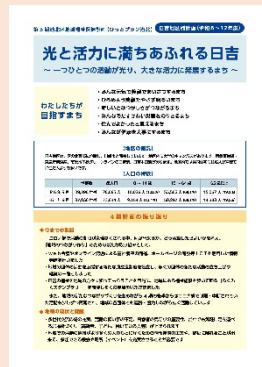
[健康福祉局再配当予算]

【予算：820千円、決算：820千円】

- ・第5期計画冊子、概要版、地区別計画のデザイン委託及び印刷製本

(3) 計画周知・啓発

- ・第5期「ひっとプラン港北」地区計画が完成しました（3月）。



地区計画

【区民と新たな地区計画の作成（13地区作成）】

推進支援

連携して取組

- ・小・中学校や地域団体への出前講座を開催しました（通年）。



【日吉台小学校におけるひっとプラン港北の授業】

- ・区民フォーラムを開催しました（1回）。



【令和7年度 区民フォーラム 映画上映会】

- ・普及啓発のための物品を作成、配布し、ひっとプラン港北の啓発を行いました。（通年）

区計画

2 - (2) 地域子育てサポート事業

事業名・所管課	予算 (A)	決算 (B)	差▲引 (A-B)
2 - (2) 地域子育てサポート事業	8,894,000円	8,195,564円	698,436円
こども家庭支援課	差引理由	印刷手法の見直しによる印刷費の減	

【事業の概要】

全ての妊産婦とそのパートナー及び子育て中の保護者が妊娠中から子育てのイメージを持ち、子育ての不安を軽減して、安心して子どもを産み育てることができるよう、地域両親教室や子育てひろばの体験券の配付、赤ちゃん会の開催などにより、子育てしやすい環境を充実させました。

【主な内容】

1 「にんしん・あんしん・つながり」事業 【予算：1,852千円、決算：1,695千円】

- ・身近な場所で子育ての相談や交流ができる「親と子のつどいの広場」の利用促進のため、妊産婦や転入者を対象に体験券を配付するとともに、体験内容を見直し、広場の体験と説明及び地域の子育て情報の提供を組み合わせた初回利用プログラムを提供しました。
- ・土曜日を中心に「親と子のつどいの広場」でマタニティプログラム*を実施しました（5か所、各年4回以上）。

※マタニティプログラム：同じ地域に住む先輩保護者や他の育児家庭との交流・沐浴などの子育て体験等

- ・港北区内各所において実施する両親教室等の妊娠期プログラムの情報を一元化したリーフレットを作成、配布し、身近な地域の居場所や区民利用施設で利用できる妊娠期プログラムを案内しました。
- ・パマトコ等を活用し、妊娠期プログラムの広報を行いました。

【マタニティプログラム実施施設数・実施回数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度
実施施設数	6施設	4施設	5施設	5施設
実施回数	81回	66回	60回	65回

【親と子のつどいの広場の利用体験券配付枚数・利用延べ件数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度
体験券配付枚数	4,747枚	4,257枚	4,082枚	4,324枚
利用延べ件数	159件	229件	257件	232件

※4年度から利用体験券配付を実施

《参考》

局事業 [こども青少年局事業]

- ・親と子のつどいの広場事業

主に0～3歳の未就学児とその保護者を対象に、利用者同士の交流やつどいの場の提供、育児相談、地域の子育て関連情報の提供などを実施しました。

2 地域両親教室事業 【予算：1,000千円、決算：1,000千円】

妊娠期から地域の子育て支援施設を利用するきっかけづくり及び仲間づくりのため、第1子を妊娠している妊婦とそのパートナーを対象に、パートナーも参加しやすい土曜日、日曜日に地域子育て支援拠点、地域ケアプラザで両親教室を実施しました。また、オンライン両親教室も実施しました（年57回、うち、土曜両親教室（対面開催）38回、日曜両親教室（対面開催）6回、オンライン両親教室13回）。

【実施回数・参加人数】

土曜・日曜両親教室（対面開催）

年度	4年度	5年度	6年度	7年度
実施回数	36回	36回	36回	44回
延べ人数	980人	1,116人	1,162人	1,321人

オンライン両親教室

年度	4年度	5年度	6年度	7年度
実施回数	24回	23回	21回	13回
延べ人数	384人	259人	220人	118人

※4年度から事業開始

[こども青少年局再配当予算]

・両親教室【予算：396千円、決算：384千円】

第1子を妊娠している妊婦とそのパートナーを対象に、区役所において、妊娠中の過ごし方や出産・子育てについて学ぶ教室を実施しました。

3 みんなの両親教室事業 【予算：102千円、決算：102千円】

これまでの両親教室の対象者（第1子を妊娠している妊婦とそのパートナー）だけでなく、より多様な方を対象に、出産・子育てに向けた心構えや準備について学ぶ教室を、地域子育て支援拠点で実施しました。

- ・これから父親になる方向け：年3回（土曜日）
- ・第2子以降を妊娠している方及びそのパートナー向け：年6回（平日）

【実施回数・参加人数】

年度		5年度	6年度	7年度
これから父親になる方向け	実施回数	4回	4回	3回
	延べ人数	21人	23人	24人
第2子以降	実施回数	5回	5回	6回
	延べ人数	15人	28人	35人

※5年度から事業開始

4 地域育児教室（赤ちゃん会）【予算：1,957千円、決算：1,839千円】

第1子の0歳児とその保護者を対象に、自治会館やケアプラザ等で、仲間づくり、親子での遊びの体験、育児に関する情報交換等を実施しました（全24会場、年240回、各会場月1回（8月と1月を除く））。

【赤ちゃん会実施回数及び参加者数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
開催回数	226回	229回	240回	240回	240回
実人数	2,209人	2,380人	2,313人	2,307人	2,323人
延べ人数	5,579人	6,661人	6,428人	6,373人	6,103人

5 母乳育児相談 【予算：279千円、決算：277千円】

母乳のことでお困りの方を対象に、助産師が相談支援を実施しました（月2回 全24回）。

【母乳育児相談参加者数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
開催回数	24回	24回	24回	24回	24回
実人数	80人	100人	111人	102人	105人

《参考》

局事業 [こども青少年局事業]

- ・横浜市産後母子ケア事業（訪問型母子ケア）

産後に心身の不調又は育児不安がある、家族等から十分な支援が受けられないなどにより、子どもを連れての外出に不安や困難のある母親を対象に、居宅に直接助産師が訪問して、母乳育児をはじめとする様々な育児のアドバイスをしました。

6 歯つらつ歯みがき教室 【予算：773千円、決算：763千円】

0～1歳児とその保護者を対象に、歯科衛生士によるむし歯予防の話や歯みがきの実習の教室を実施しました。

- 年48回 ①歯みがきをこれから開始する方向け 年24回
 ②歯みがきをすでに開始している方向け 年24回
 （①②とも午前・午後各1回、1月当たり1日で計4回実施）

【歯みがき教室参加者数（児・保護者の合計数）】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
開催回数 (定員)	24回 (240組)	36回 (360組)	48回 (360組)	48回 (720組)	48回 (720組)
実人数	365人	397人	523人	596人	608人

[こども青少年局再配当予算]

- ・乳幼児歯科相談

乳幼児とその保護者を対象に、歯科医師による健診や個別歯みがき指導を実施しました。

7 「窓口対応満足度」向上事業 【予算：2,931千円、決算：2,521千円】

区役所に来所した方をお待たせすることなく、適切な情報を提供し、必要な手続きを円滑に行うため、窓口案内員を配置しました。

また、発達相談のために子どもと一緒に来所した保護者を対象に、落ち着いて相談ができるよう、お子さんを預かる保育協力者を配置しました。

2- (3) 困難な状況にある児童・家庭等への支援事業

事業名・所管課	予算 (A)	決算 (B)	差▲引 (A-B)
2- (3) 困難な状況にある児童・家庭等への支援事業	3,484,000円	3,322,283円	161,717円
こども家庭支援課	差引理由	啓発資料の在庫活用による印刷経費の減	

【事業の概要】

養育環境に課題のある子育て家庭、児童虐待、DVなど、困難な状況にある方々が、見通しを持ち安心して生活していけるよう支援するとともに、それを支える地域づくり及び関係機関の連携の推進等に取り組みました。

【主な内容】

1 児童虐待防止対策事業【予算：1,084千円、決算：923千円】

(1) 区民向けの児童虐待防止啓発

児童虐待防止について広く区民に啓発するため、啓発グッズの配布やふるさと港北ふれあいまつりでの啓発活動を実施しました。

また、区民向けの児童虐待防止啓発講演会を実施しました。

【啓発グッズ】

- ・缶バッジ (1,000個)、ボールペン (1,000本)、シール (1,000枚)、クリアファイル (3,000枚)

【講演会のテーマ及び参加者数】

年度	テーマ	参加者数
3年度	しつけを通して考える子どもを伸ばす関わり方 (オンライン開催)	24人
4年度	①小学生になったこどもへの声かけ ②思春期に入のお子さんとの関わり方	①47人 ②38人
5年度	こどものしつけってどうすればよいの？	63人
6年度	こどもに届くほめ方・しかり方	52人
7年度	こどものゲーム・ネット依存	72人

2 地域で支えあう福祉・保健のまちづくり

(2) 保護者向けの児童虐待予防啓発

児童虐待予防のため、乳幼児期からの切れ目のない支援に向けて、学齢期以降の子を持つ保護者を対象に、グループミーティング（月1回）を実施しました。

また、未就学児の保護者を対象に、体罰によらない子育てについての講座（2回連続講座）を2回に増やして実施しました。

【子育て講座】※R6年度から開始

（R6年度）

10月、11月開催 参加者数 20人（定員20人）

（R7年度）「①ほめ方・しかり方、②保護者のセルフケア」（各回定員20人）

第1回 ①6月（参加者数17人）、②7月（参加者数16人）

第2回 ①10月（参加者数11人）、②11月（参加者数11人）

[こども青少年局再配当予算]

- ・ファミリーサポートクラス（未就学児の子を持つ保護者を対象としたグループミーティング）【予算：176千円、決算：151千円】

支援を必要とする保護者の育児不安の解消を図るため、グループミーティングの手法を活用した支援を実施しました。

【ファミリーサポートクラス参加者数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
回数	12回	12回	12回	12回	12回
実人数	10人	12人	15人	12人	14人
延人数	67人	55人	47人	43人	55人

(3) 港北区要保護児童対策地域協議会関係機関との連携

港北区要保護児童対策地域協議会関係機関との連携を深めるため、全体会（年1回）、地区ごとのエリア別連絡会（6エリア各年1回）や、学校等との専門機関別連絡会（年4回）を実施しました。

2 女性・児童の権利擁護のための法律相談【予算：600千円、決算：600千円】

DV被害女性が、見通しを持ち、迅速かつ自信を持って決断・行動できるよう、DV被害や児童虐待等、専門領域に精通した弁護士による相談を実施しました。また、共同親権など多様化するこども分野の相談に対応するため、弁護士による職員向け研修を実施しました。

・DV弁護士相談：年12回（月1回、各月2名、延べ23名）

・弁護士による職員向け研修：年4回（延べ70名）

《参考》

局事業 [こども青少年局事業]

- ・弁護士法律相談事業

区こども家庭支援課や横浜市DV相談支援センターにおける相談支援の中で法的アドバイスが必要な場合、区こども家庭支援課またはこども青少年局こどもの権利擁護課、もしくは横浜市DV相談支援センターの職員から、担当する弁護士へ電話又はFAXによる相談をしました。

3 港北区版寄り添い型生活支援専門員派遣事業【予算：1,800千円、決算：1,799千円】

養育支援を要する学齢期の児童を対象に、生活支援専門員の訪問による生活支援、学習支援、登校支援などを実施し、個々の児童がさまざまな体験を通じて成長する機会を提供しました。

【港北区版寄り添い型生活支援専門員派遣事業利用者数】(実利用実績)

年度	4年度	5年度	6年度	7年度
実人数	3人	4人	9人	5人
回数	29回	44回	87回	43回

※4年度から事業開始

(1) 生活支援

生活支援専門員が自宅を訪問し、児童及び家庭の課題に合わせた個別の関わりの中で、生活能力の獲得に向けた多様かつ実践的な支援を行いました。

(2) 学習支援

学習環境が整わないなどの理由から、家庭学習の習慣が身につけていない児童に対して、自主的に学習に取り組んでいく姿勢を育む支援を行いました。

(3) 登校支援および児童が安心して過ごせる居場所利用等に繋げる支援

不登校の児童に対し、個別に自宅を訪問し、学校への同行など登校支援を行いました。

また、寄り添い型生活支援事業や寄り添い型学習支援事業等、集団参加の場や、さまざまな学習体験の場を利用できるよう支援を進めました。

[こども青少年局再配当予算]

・寄り添い型生活支援事業【予算：16,377千円、決算：16,212千円】

生活困窮状態にあるなど養育環境に課題があり、支援を必要とする家庭に育つ小・中学生等に対して将来の進路選択の幅を広げ、生まれ育った環境によって左右されることなく、一人ひとりが基本的な生活・学習習慣を身につけ、自立した生活を送れるよう生活支援・学習支援等を実施しました。

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2-(4) 保育所支援・情報提供事業	2,808,000円	2,489,534円	318,466円
こども家庭支援課	差引理由	委託料の入札残	

【事業の概要】

区内保育所を支援するため、保育の質の確保・向上につながる取組を実施しました。また、保育所等の情報を掲載した区独自の利用案内を作成・活用し、保育所利用に関する制度について情報を発信しました。

【主な内容】

1 保育の質確保・向上事業 【予算：1,200千円、決算：999千円】

配慮の必要な子どもとの関わりや、保護者との関わり、職場状況等の課題を解決する一助として、民間の保育所等を対象に臨床心理士等を派遣し、保育士のメンタルヘルスケアや職場環境などについて助言を行いました。

- ・実施時期：5月～2月
- ・対応方法：訪問、オンライン・電話による対応
- ・相談体制：臨床心理士、こどもの発達支援の業務経験者、保育施設の施設長経験者、保育施設の職場環境改善相談対応経験者等
- ・実施状況：訪問8回、オンライン・電話0回

2 保育所等情報提供事業 【予算：1,103千円、決算：1,056千円】

区内の認可保育所や認可外保育所等の情報をわかりやすく記載した港北区版の保育所等利用案内を作成・配付しました。

- ・配布場所：区役所、行政サービスコーナー（新横浜・日吉）、区内認可保育所等、港北区地域子育て支援拠点「どろっぷ・どろっぷサテライト」、親と子のつどいの広場、にて配布
- ・発行部数：8,000部

【港北区版利用案内の発行部数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
実数	13,000部	9,000部	10,000部	10,000部	8,000部

3 民間園向け研修事業 【予算：135千円、決算：74千円】

保育の質の確保や保育の充実を目的とした研修を、保育・教育施設長会の開催にあわせて、外部講師を招き実施しました。

開催時期	内容	参加園数
6月	保育園における防災力向上～施設長の立場から考える～	110園
10月	子どもの人権を守る保育の組織づくり～不適切な保育を防ぐために施設長ができること～	93園
1月	個別配慮の必要な園児とその保護者対応を考える	84園

【民間園向け研修事業への参加園数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
延べ数	98園	274園	233園	279園	287園

4 保育所等による子育て支援促進事業 【予算：370千円、決算：360千円】

保育所が行う子育て世帯に対する育児支援を促進するため、区内市立・私立保育所が連携し、親子が一緒に参加して楽しめる「にこにこ広場」を開催しました。

- ・実施回数：7回
- ・実施内容：お楽しみシアター、手作りおもちゃ、手形スタンプ、身体測定、フォトスポット、育児相談など

【令和7年度実施月】

菊名コミュニティハウス	6月（46人）
日吉本町地域ケアプラザ	7月（122人）
イオン横浜新吉田店	7月（56人）
大豆戸地域ケアプラザ	9月（99人）
樽町地域ケアプラザ	10月（134人）
日吉宮前公会堂	11月（106人）
篠原地域ケアプラザ	11月（64人）



【にこにこ広場（菊名コミュニティハウス）】

【にこにこ広場参加者数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
実施回数	3回	4回	5回	6回	7回
実人数	259人	321人	347人	337人	627人

2 - (5) 港北区放課後児童健全育成強化・情報提供事業

事業名・所管課	予算 (A)	決算 (B)	差▲引 (A-B)
2 - (5) 港北区放課後児童健全育成強化・情報提供事業	370,000円	260,850円	109,150円
こども家庭支援課	差引理由	研修テーマにあわせた講師選定による謝金の残	

【事業の概要】

放課後児童健全育成事業所の運営体制の強化等を図るため、放課後キッズクラブ及び放課後児童クラブ（以下「クラブ」という。）の職員を対象に研修を実施し、職員の能力向上に結びました。研修では、講義やグループワーク等を通じて、日ごろ顔をあわせる機会の少ない各クラブ職員に交流・情報交換の場を提供することで、クラブ間の連携強化も促進しました。

また、クラブの利用を検討している児童と保護者の皆様のクラブ選びを支援するため、クラブの写真や特色等の情報を集約した紹介冊子（電子媒体）を通じて、クラブ情報の周知を図りました。

【主な内容】

1 クラブ職員研修事業 【予算：203千円、決算：110千円】

クラブ職員を対象に、ニーズを踏まえたテーマで研修を実施しました。

研修テーマ	内 容	参加人数	実施時期
防災	火災、地震及び風水害時の備えと対応	39人	6月
障害児対応	障害のある児童、配慮を要する児童等への対応	30人	9月
保護者との信頼関係の構築	保護者との連携・信頼協力関係の構築	15人	11月
怪我の手当	小学生の怪我の予防と手当	29人	12月



【研修会の様子（左：防災、中央：障害児理解と対応、右：保護者との信頼関係の構築）】

2 クラブ情報提供事業 【予算：167千円、決算：151千円】

区ウェブサイトで公開しているクラブ紹介冊子「小学生の放課後の居場所」（電子媒体）の案内やQRコード等を掲載したちらしを作成し、就学時検診等の際に配布しました。

- ・対象経費：ちらし印刷及び配送、紹介冊子の更新
- ・配布数：ちらし5,000枚



【クラブ紹介冊子「小学生の放課後の居場所」】

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2-(6) 高齢者・障害者支え合い推進事業	3,238,000円	3,163,393円	74,607円
高齢・障害支援課	差引理由		

【事業の概要】

誰もが安心して暮らし続けることができるよう、高齢者・障害者等への理解を深める啓発や関係者への支援を行うとともに、「港北MMダンス(港北区フレイル予防体操)」を活用し、早期からフレイル予防に取り組む必要性を啓発しました。また、区役所窓口での来庁者へのサポートを実施しました。

【主な内容】

1 地域包括ケアシステム推進事業 【予算：808千円、決算：675千円】

健康福祉局・医療局からの再配当予算事業と一体的に事業を行い、地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組みました。

(1) 高齢者の社会参加の促進

ア 「きょういく・きょうようガイド」リーフレット作成(1,000部)

港北区の高齢者向け地域活動(サロン・趣味活動の場・生活支援等)情報を更新し、高齢者の社会参加促進を目的に、地域ケアプラザや講座等の事業を通して配布・周知しました。

(2) ネットワークの構築を踏まえた人材育成

ア 地域ケア会議の開催支援等

・地域ケアプラザ職員向け「地域ケア会議※1研修」の実施(6月：14名)。

・区レベル地域ケア会議の開催(11月：31名)。

医療・介護・地域組織等の代表者と区域の課題・必要な取組について検討しました。

イ 「認知症キャラバン・メイトのつどい」の開催(8月)

キャラバン・メイト(認知症の人やその家族を支援する認知症サポーター養成講座の講師)の情報共有、活動支援等を行いました。

ウ 「かえるネット※2」パンフレットの配架・配布(港北警察30部、地域ケアプラザ450部)

エ 様々な場面等を活用した無関心層へ取組の啓発

区役所1・2階・デジタルサイネージ、港北図書館(認知症パネル展示)(9月)、ふれあいまつり出展(11月)、広報よこはま等幅広い世代に向け情報発信を行いました。

オ 「港北MMダンス※3」を活用したフレイル予防の普及啓発

・座位編リーフレット作成(1,000部)

予防に取り組む高齢者の増加を目的にリーフレットと動画を活用し啓発を行いました。

※1 地域ケア会議：多職種協働による事例の検討等を通じて、個別課題の共有と解決、地域包括ネットワーク構築、資源開発、政策形成につなげる会議で、市レベル、区レベル、包括レベル、個別ケース地域ケア会議があります。

※2 かえるネット：認知症高齢者が道に迷っても、早期に帰宅できるよう、連絡先などの登録情報を事前に区・警察・地域ケアプラザで共有する取組

※3 港北MMダンス：フレイル予防を幅広く啓発することを目的に、R6年度に横浜 F・マリノス、及び横浜市総合リハビリテーションセンターの協力を得て作成した、港北区オリジナルのフレイル予防体操。「実践編(座位・立位編)」をYouTubeで動画配信
なお、立位編のリーフレットは令和6年度予算で作成しました。



【「きょういく・きょうようガイド」
地域活動・社会参加促進リーフレット】



【かえるネットパンフレット】



【港北MMダンス リーフレット
立位編（上）、座位編（下）】

《参考》港北区における高齢者の状況

年度(3月末)	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
65歳以上人口	70,289人	70,730人	71,222人 (市内4位)	71,903人 (市内3位)	72,741人 (市内3位)
高齢化率	20.0%	19.9%	20.0%	20.0%	20.1%
認知症 高齢者数※	6,263人	6,696人	7,725人	7,902人	8,014人
要介護 認定者数(1号)	13,189人	13,297人	13,778人	14,172人	14,522人

※要介護認定データを基にした「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の認知症高齢者の人数

【健康福祉局再配当予算】

- ・介護予防関連事業【予算：952千円、決算：829千円】
フレイル予防の普及啓発（講演会等）
介護予防人材育成、地域の活動への専門職の派遣
元気づくりステーションの活動・立ち上げ支援
- ・ケアマネジメント推進事業
【予算：108千円、決算：100千円】
- ・虐待予防関連事業【予算：41千円、決算：0千円】
介護サービス従事者等向けの虐待防止研修会
虐待防止のためのネットワーク、ミーティング開催等

【医療局再配当予算】

- ・医療介護関連事業【予算：250千円、決算：211千円】
在宅医療・介護を担う人材育成研修

港北区地域包括ケアシステムの めざす姿

- は はなれて暮らす家族も安心
- な なかよく、人とのつながりを大事にしよう
- み みんなが自分事のように考えて輝こう
- ず 好きな家で、できる限り過ごせる
- き 気遣い・支え合いのあるまち 港北

はなみずきは、港北区の「木」です。平成3年に区民の一般公募で決定しました。若々しくモダンな印象が好まれました。



2 障害者支援事業 【予算：837千円、決算：899千円】

(1) 支援者向け研修

港北区地域自立支援協議会※において、障害者虐待防止、支援機関の連携強化及び支援技術向上のための研修会等を企画・開催しました。

※自立支援協議会…障害者等への支援の体制の整備を図るため、福祉、医療、教育又は雇用に関連する関係者が参加し、地域における支援体制の課題共有や連携の強化などについて協議を行います（障害者総合支援法89条の3）。

【研修内容】

時期	実施テーマ	部会
9月	施設従事者等による虐待防止について（研修）	全体会議
11月	防災について（研修）	地域で暮らす部会
年6回	グループスーパービジョンについて（講義、グループワーク）	相談支援部会

(2) 講演会・啓発イベントの実施

ア 障害理解の啓発イベント

港北区地域自立支援協議会、港北区社会福祉協議会セーフティネット分科会との連携により、障害理解の啓発イベントを区民向けに実施しました。

【過年度実績】

年度	内容	参加者数
4年度	映画「だってしょうがないじゃない」上映会	111人
5年度	映画「星に語りて」上映会	128人
6年度	映画「梅切らぬバカ」上映会	222人
7年度	映画「どうすればよかったか？」上映会	165人

※4年度から実施

イ 精神保健福祉に関する講座

メンタルヘルス（心の健康）の大切さや障害の理解を目的として、区民向けに講座等を実施しました。

【講座テーマ】

年度	テーマ	参加者数
3年度	アウトリーチ支援を考える	30人
4年度	メンタルヘルスの回復とは ～ピアサポートとリカバリーについて考える～	54人
5年度	生きづらさを抱える本人と家族の体験談 ～まもうよこころ私たちが気づいて、できることって何だろう～	39人
6年度	親亡きあとも安心して精神障害者が地域で暮らすための社会資源 ～医療×保健×福祉～	40人
7年度	多様化する精神疾患の治療の実際 事例を通じて ～基礎知識と家族の関わり方講座	29人

(3) 健康講座等の開催

自身の健康についての理解を促進するため、作業所の利用者等に向けて健康講座等を開催しました。

【健康講座実績】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
実施回数	1回	1回	4回	4回	2回
参加者数	11人	14人	74人	45人	19人

(4) 港北区精神障害者等生活体験事業

一人暮らし経験のない障害者が、実際の一人暮らしと同じ環境での生活体験を通じて、地域生活の具体的なイメージを持つための支援を行いました。

内 容：一人暮らし用の民間賃貸物件にて、見学や家事等の一時体験を実施。

対象者：港北区在住の18歳以上の障害者

(7年度：見学8人、日中体験1人、宿泊5人)

(6年度：見学3人、日中体験1人、宿泊3人)

(5年度：見学3人、日中体験2人 宿泊0人) ※5年度に事業開始

《参考》[健康福祉局再配当予算]

- ・精神障害者の生活教室事業 【予算：208千円、決算：192千円】
精神障害者の対人関係の改善や社会生活への適応促進等を目的とし、創作活動やスポーツなどの集団援助を継続的に実施します。
- ・難病相談事業 【予算：342千円、決算：294千円】
難病患者・家族がよりよい療養生活と社会生活を送ることができるよう、情報提供や相談の場である講演会・交流会を継続的に実施します。

《参考》港北区における障害者の状況

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
身体障害者 手帳所持者数	7,379人	7,294人	7,231人	7,221人	7,263人
精神保健福祉 手帳所持者数	3,151人	3,413人	3,657人	3,952人	4,195人
「愛の手帳」 所持者数	2,494人	2,603人	2,713人	2,832人	2,952人
合計	13,024人	13,310人	13,601人	14,005人	14,410人

※手帳所持者数の統計情報は年度末時点のみ

3 窓口サポート事業 【予算：1,593千円、決算：1,589千円】

福祉保健相談窓口にて窓口サポーターが、高齢者や障害者向けに窓口での手続支援や案内等を行いました。

【福祉保健相談窓口におけるサポート実績】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
件数	1,413件	1,738件	3,393件	2,281件	4,527件

【港北区における福祉保健相談窓口の相談件数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
件数	16,897件	17,717件	17,899件	18,300件	19,410件

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2-(7) 食育推進事業	1,889,000円	1,860,925円	28,075円
福祉保健課	差引理由		

【事業の概要】

子どもの成長段階に応じて、離乳食手帳等の配付や離乳食教室等を実施するとともに、個別相談で一人ひとりの状況に応じた支援を行い、子どものより良い成長につながるよう食育を推進します。

また、食に関する疑問や不安を抱える保護者を地域の身近な場でも支援できるよう、地域の支援者の人材育成を行います。

【主な内容】

1 離乳食手帳及びチラシの配付（離乳初期） 【予算：311千円、決算：311千円】

離乳食の基礎知識を保護者が学び、子どもの成長記録を残せるよう、離乳食手帳をリニューアルし、4か月児健診時に離乳食教室の案内チラシと合わせて配付しました。離乳食教室の案内チラシには、保護者に向けてバランスの良い食事についても掲載し、家族で良い生活習慣を身につけるきっかけを作りました。

- ・作成部数：離乳食手帳 4,500部、離乳食教室案内チラシ 3,500部



【離乳食手帳】



【離乳食教室案内チラシ】



2 離乳食教室 【予算：805千円、決算：804千円】

7～8か月児とその保護者を対象に、安心して離乳を進めていくため、離乳食教室を実施しました。教室では、保護者自身が自宅で再現しやすいように離乳食の一口量や固さ体験を実施しました。

- ・回数：月1～2回、年間20回（予約制）
- ・参加予定者数：1回あたり24人、年間480人
- ・会場：区役所
- ・内容：講話、調理実演、一口量や固さ体験、個別相談

※令和7年度から1回あたりの開催時間を0.5時間延長して指導内容を充実。

【離乳食教室の実施回数及び参加者数】

年度	3年度	4年度	5年度※	6年度	7年度
実施回数	36回	36回	48回	24回	20回
参加者数 (実人数)	379人	394人	419人	401人	376人
一回あたりの 平均参加者数	10.5人	10.9人	8.7人	16.7人	18.8人

※令和5年度から予約制を開始

3 乳幼児期の食育事業（離乳後期以降） 【予算：430千円、決算：406千円】

離乳食から幼児食への移行期の食事に関する疑問や不安を解消するため、1歳前後の子どもとその保護者を対象とした「歯つらつ歯みがき教室」において、子どものむし歯予防や歯みがき実習とともに、食育に関するミニ講座及び希望者への個別相談を実施しました。

また、子どもの食事に関する困りごとや悩みの解消がされるよう、1歳6か月児健診受診時に幼児食のフードモデルの展示や健診待ち時間や受診後に立ち寄れる栄養相談ブースを設けました。

【歯つらつ歯みがき教室内での食育】

- ・回数：月1回、年間12回
- ・会場：区役所
- ・内容：1歳前後の食事ミニ講座及び簡易相談

【1歳6か月児健診内での食育】

- ・回数：月3回、年間36回
- ・会場：区役所
- ・内容：フードモデルの展示及び立ち寄り相談

【乳幼児期の食育相談（離乳後期以降）の実施回数及び相談実施人数】

年度	6年度		7年度	
	歯つらつ 歯みがき教室	1歳6か月 児健診	歯つらつ 歯みがき教室	1歳6か月 児健診
実施回数	12回	36回	12回	36回
実施人数	226人	941人	223人	801人

4 子どもの個別栄養相談 【予算：166千円、決算：166千円】

生後5か月以降の子どもとその保護者を対象に、個々の食事に関する不安や負担感の軽減を図るため、子どもの個別栄養相談を実施しました。

- ・回数：月2～3回、年間32回（予約制）
- ・参加予定者数：1回あたり3人（月2～3回のうち1回は倍の6人）、年間132人
- ・会場：区役所
- ・内容：子どもの個別栄養相談

【子どもの個別栄養相談の相談者数】（健康福祉局再配当予算と合算）

年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7年度
相談者数 (実人数)	103 人	108 人	106 人	110 人	95 人

[健康福祉局再配当予算]

- ・乳幼児食生活健康相談

0～18歳の子どものその養育者に対して食生活健康相談を実施

5 地域の食育サポーター育成事業 【予算：177千円、決算：175千円】

乳幼児期の親子が集まるサロン等において来所者の食事に関する個別相談を実施するとともに、相談内容や支援方法等についてサロン等の子育て支援従事者と共有し、子育て支援従事者の食に関する正しい知識の啓発を行いました。

さらに、参加者がより多く見込める3歳児健診会場においても啓発や相談を行い、子どもやその保護者に食育に関する知識を伝えられる機会を増やしました。

- ・会場：実施希望のある子育てサロン等
- ・内容：個別相談、子育て支援従事者へのよくある相談内容や対応方法に関する情報共有

【地域の食育サポーター実施回数】

年度	6 年度	7 年度
実施回数	4 回	7 回（3 回）
参加人数	122 人	225 人（156 人）

※()内は3歳児健診会場での実施回数



【子育てサロンでの講話】

[illegible][illegible]

【案内ちらし】

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
2-(8) 健康こうほく21事業	3,351,000円	3,155,747円	195,253円
福祉保健課	差引理由	健康経営支援事業の入札残等による減	

【事業の概要】

健康寿命の延伸に向けて、若い世代から健康的な生活習慣を身に付けることや生活習慣病を予防することが重要なため、働き・子育て世代に対して生活習慣の改善や意識、行動の変化を促すよう啓発します。

【主な内容】

1 未来に向かう生活習慣改善事業 【予算：2,332千円、決算：2,290千円】

忙しく自分の健康づくりがおろそかになりやすい20代～40代の働き子育て世代に対して、健康のための基本的な生活習慣（食事、運動、睡眠）を身に付けてもらうために、若い世代が多く集まる商業施設や区民まつりにおいて、口腔ケアや乳がんの早期発見、バランスの良い食事について啓発イベントを行いました。さらに、行動変容のきっかけになりやすい結婚や子育てのタイミングをとらえ、婚姻届の提出や乳幼児健診の来庁者を対象に啓発を実施しました。

《主な取組内容》

時期	取組	ターゲット	実施内容	場所	延べ参加者数
6月	歯と口の健康週間イベント	働き子育て世代	口腔ケア啓発	トレッサ横浜	272人
10月	トレッサ横浜健康ウォーキング	働き子育て世代	YWPアプリスタンプラリー	トレッサ横浜	273人
11月	ふるさと港北ふれあいまつり	主に30～60代の男女	乳がん早期発見・食生活啓発	横浜アリーナ	663人
年5回	来庁者への健康測定イベント 7/15, 8/8, 9/9, 10/1, 10/10	主に婚姻届を出しに来た20～30代の男女	健康測定（ベジチェック・骨密度） 生活習慣改善アドバイス	庁舎内2階 戸籍課フロア	77人
随時	経験談インタビュー動画による啓発	子育て世代	生活習慣を見直した人の経験談	乳幼児健診会場 デジタルサイネージ	36回
随時	健康相談事業でのベジチェック測定	生活習慣病等のハイリスク者	健康測定（ベジチェック・骨密度）	庁舎内	4回
随時	地域行事における健康測定イベント	地域住民	体力測定・ベジチェック測定	各地域行事実施場所	7回



【R7 歯と口の健康習慣イベント】



【R7 トレッサ健康ウォーキング】

2 健康経営支援事業 【予算：1,019千円、決算：866千円】

働き・子育て世代は一日の大半を職場で過ごしているため、事業所が健康経営に取り組み職場環境が改善されることで、20～50代の区民の健康増進を図っています。本事業では健康経営に取り組んでいない区内事業所に対し、動機付けやきっかけづくりを行い、健康経営の取組へとつなげることを目的としています。

令和7年度は、令和6年度に作成した事業所向けリーフレットの配付先に対してアンケートを実施し、効果測定を行うとともに、区内事業所で座談会を実施することで健康経営に係るニーズや課題の把握を行いました。

・令和7年度実績

8月	内部向け「女性特有の健康課題」に関する座談会
9月～10月	事業者向けアンケートの実施：回答数125件（送付先全体の約4割） リーフレットの効果測定及びニーズの調査
11月、12月	区内事業所向けの健康づくりに関する出前講座（区内2事業者） ・区内造園業者 ・区内IT関連企業



【座談会の様子】

3-(1) 育もう「ふるさと港北」事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(1) 育もう「ふるさと港北」事業	9,555,000円	8,713,444円	841,556円
地域振興課	差引理由	小机城址まつり中止による残 など	

【事業の概要】

転入者の多い港北区において、区民の「ふるさと」意識を育み港北区への愛着を深めるために、世代間・地域間交流の場を提供します。

地域資源・歴史的遺産を活用し、区民各層の交流の促進を図るほか、区内を拠点とするプロスポーツチームとの連携・応援等を通じて、港北区の魅力を内外にアピールします。

【主な内容】

1 ふるさと港北ふれあいまつり事業 【予算：5,560千円、決算：5,516千円】

「ふるさと港北」意識の醸成を図るため、ふるさと港北ふれあいまつり実行委員会に補助金を交付し、子ども、高齢者、障害者、外国人といった多くの区民が参加できる「ふるさと港北ふれあいまつり」を開催しました（11月）。また、今年度は横浜グリーンエクスポが開催まで500日前という節目を契機に関係機関との連携を一層強化し、事業を実施しました。

【7年度実績】（秋のヨコアリくんまつりと合同開催）

- ・来場者数 延べ約28,000人
- ・実施内容

メイン会場行事…ステージイベント14団体、各種ブース出店89団体、抽選会、
分会場行事…地区連合町内会が開催する盆踊り大会、健民祭等（7月～）



【ふるさと港北ふれあいまつり（令和7年度）】

2 大倉山観梅会事業 【予算：1,150千円、決算：899千円】

港北区の観光及び商店街振興を図るため、大倉山観梅会実行委員会に補助金を交付し、「大倉山観梅会」を開催しました。（2月）

- ・来場者数 延べ約95,000人
- ・実施内容 舞踊・三曲演奏・地元団体のステージ・野点・梅酒の販売、
横浜グリーンエクスポ PRブース

3 活気にあふれるまちづくり



【大倉山観梅会（令和7年度）】

【みどり環境局再配当予算】

- ・各区における地域に根差した緑や花の楽しみづくり事業【予算：2,768千円、決算：2,768千円】
- 観梅会実行委員会への補助金

3 小机城址魅力プロモーション事業 【予算：1,450千円、決算：965千円】

小机城址が続日本100名城に選定され全国的にも注目が集まっていることを契機に、小机城址の魅力プロモーションに取り組むことで「ふるさと港北」の意識を育みました。

(1) 小机城址まつり

港北区の観光及び商店街振興を図るため、小机城址まつり実行委員会に対し、補助金を交付し、まつりの開催を支援しました（4月、雨天中止）。

(2) 小机城址の歴史の魅力発信

小机城址を紹介する案内冊子を配布し、港北区の魅力を発信しています。また、動画を活用し、区内小・中学校等での啓発を行うことで地元港北への愛着を深めました。

(3) 北条五代観光推進協議会参画

小机城址の効果的なプロモーションを行うため、北条氏ゆかりの城や史跡が存在する自治体で構成し、共同でPRしている「北条五代観光推進協議会」に参画し、協議会の活動を通して小机城址の魅力を発信しました。

4 わがまち港北映像ライブラリ事業 【予算：525千円 決算：525千円】

市民団体「わがまち港北映像プロジェクト」と協働し、港北区の歴史や地域資源等を題材とした映像作品の制作およびウェブサイト「港北映像ライブラリ」での配信を通じて、区民の地域への愛着やふるさと意識の醸成を図りました。

また、港北図書館に設置しているデジタルサイネージにおいて、季節のイベントに合わせた「港北映像ライブラリ」の映像作品を放映することで、多くの区民が視聴できる機会を創出し、ライブラリの認知度向上につなげました。

- ・配信用映像作品の制作、映像作品の活用（通年）
- ・ウェブサイト「港北映像ライブラリ」の管理運営（通年）
- ・港北図書館デジタルサイネージのコンテンツ更新（毎月）

5 まちの魅力発信ショートムービー事業 【予算：600千円、決算：548千円】

区の魅力撮影したショートムービーコンテストを開催し、区の更なる魅力創出を行いました。入賞作品は、区のウェブサイトやデジタルサイネージを活用し配信を行いました。

応募期間：10月から1月

応募数：小中学生部門…13点（小学生13点）、一般部門…10点

入賞数：小中学生部門…最優秀賞1点、小学生部門賞5点

一般部門…最優秀賞1点、優秀賞5点



【最優秀賞作品サムネイル】

6 「スポーツのチカラで港北を元気に！」事業 【予算：270千円、決算：260千円】

港北区における全国ブランドでもある「横浜F・マリノス」及び2年度からアジア最高峰のアジアリーグアイスホッケーに加盟している「横浜GRITS」と連携し、「ふるさと港北」の意識を育む大切なシンボルとして港北区のプロモーションに取り組みました。

- ・横浜F・マリノス及び横浜GRITSとのタイアップ物品の配布（通年）
- ・横浜GRITSによるホッケー体験含む試合観戦の区民招待（1月）
- ・横浜F・マリノスの選手による「一日区長」イベントなどの開催



【横浜F・マリノスによる一日区長】

【横浜 GRITS による試合観戦の区民招待】

3-(2) 地域スポーツ推進事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(2) 地域スポーツ推進事業	3,350,000円	2,862,161円	487,839円
地域振興課	差引理由	委託契約の入札残 など	

【事業の概要】

スポーツ活動を行う団体が実施する、広く区民を対象とした事業の開催を支援することで、地域スポーツの活性化を図りました。

また、区内大学と連携して、港北区にゆかりのあるスポーツ、ラグビー競技※1に親しむ機会を小学生へ提供することで、地域スポーツ活動の推進を図りました。

令和7年度は、新たに港北区に存するスポーツ・リソース※2を活用した事業に取り組みました。また、環境への関心が高まる中、環境と健康増進を融合化させた取組を「スポーツ・クリーンアップ事業」として実施しました。

※1：日産スタジアム（ラグビーワールドカップ2019TM決勝会場、横浜キャノンイーグルスホームスタジアム）、慶応義塾大学（日本の大学ラグビーのルーツ校）

※2：例《ハード面》 日産スタジアム/日産ウオーターパーク/新横浜公園（スケボー広場）/横浜ラポール/KOSE新横浜スケートセンター 《ソフト面》 港北区ゆかりのスポーツパートナーズ（横浜F・マリノス/横浜GRITS/横浜キャノンイーグルス）

【主な内容】

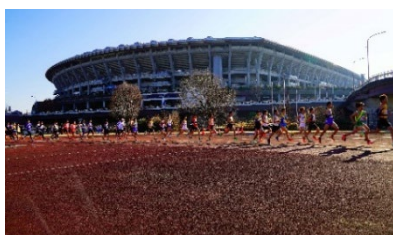
1 港北区スポーツ振興事業補助金 【予算：450千円、決算：338千円】

＜港北区スポーツ振興事業補助金の概要＞

目的	区内のスポーツ活動をより効果的に推進し、充実させる活動を行う団体を支援することにより、区内のスポーツの振興を図ること。
補助対象事業	港北区スポーツ協会に加盟するスポーツ活動団体や要綱に定める団体が行う、地域のスポーツ振興、区民の健康増進及び体力づくりを目的とする事業。
補助金額	上限22,500円（ただし、補助対象経費の2分の1以内）
交付団体	15団体

2 港北駅伝大会 【予算：1,000千円、決算：1,000千円】

地域スポーツの推進に寄与するとともに、地域における世代間交流を図るため、港北駅伝大会実行委員会に補助金を交付し、港北駅伝大会の開催を支援しました（1月）。



【駅伝大会】

3 活気にあふれるまちづくり

【参加チーム数】

年度	3年度※ ¹	4年度	5年度※ ²	6年度	7年度
チーム数 (参加者数)	中止	154 (913人)	141 (874人)	193 (1,143人)	210 (1,273人)

※1 2年度及び3年度は新型コロナウイルスの影響で開催中止。

※2 5年度は当日の降雨の影響を受けた参加者数。(参考) 申込192チーム《1,167人》

3 大学とのスポーツ連携事業 【予算：500千円、決算：302千円】

慶應義塾大学等と連携して、小学校ラグビー授業へのサポート講師(学生)派遣や、ラグビー・スポーツ体験会を実施することにより、区内のスポーツ活動の推進を図りました。

(1) 小学校ラグビー授業サポート派遣

たいいくかいしゅうきゅうぶ

区内の小学校(全26校)に希望を募り、慶應義塾大学体育会蹴球部(ラグビー部)の学生を講師として派遣し、ラグビー授業を実施しました(5月～翌2月)。

【実施実績】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
実施校数	7校	7校	12校	12校	12校

(2) 港北区&慶應ラグビー・スポーツ体験会

対象：小学生

会場：慶應義塾大学日吉ラグビーグラウンド(6月)

【実施実績】

年度	3年度※ ¹	4年度	5年度※ ²	6年度	7年度※ ³
参加人数	中止	52人	69人	65人	51人

※1 3年度は新型コロナウイルスの影響で開催中止

※2 5年度は降雨による参加者減を受け、10月に追加実施した2回の延べ人数

※3 7年度は小雨による参加者減



【小学校ラグビー授業サポート派遣】



【ラグビー・スポーツ体験会】

4 スポーツ・リソース活用事業【予算：400千円、決算：330千円】《新規》

港北区に存する多くのスポーツ資源を活用したイベントの開催により、区民の皆様身近なスポーツ施設やプロスポーツ団体等の資源を広く認識していただくことを目的とします。

令和7年度は、市内4箇所のスケートボード公園のうち、最大規模を誇る港北区内のスケートボード施設を活用したイベントを開催しました(10月、12月)。

<実施概要>

実施回	①10月	②12月
参加人数 ※定員人数：どちらも60人	35人	45人
実施場所	新横浜公園スケボー広場	
対 象	港北区内在住または在学の小学生	
プログラム内容	スケートボードの体験会、マナー啓発及び プロスケーターによる演技	



【スケートボード体験会】

5 スポーツ・クリーンアップ事業【予算：1,000千円、決算：892千円】《新規》

区内市街地において、プロギングイベント：港北区プロギングを実施しました。

※プロギングとはウォーキング及びジョギングとごみ拾いをかけ合わせた、スウェーデン発祥の新しいフィットネスで、老若男女がご自身のペースで楽しめるものになっています。

<実施概要>

実施回	①10月	②2月
参加人数／定員人数	14人／20人	32人／50人
開催時間	9時～11時	
実施場所	新横浜駅前公園周辺	
対 象	港北区内に在住・在学・在勤の方	
プログラム内容	ウォーキング等を実施しながらのごみ拾い	



【港北区プロギング】

[統合事業費]

スポーツ推進委員支援事業 【予算：2,500千円、決算：2,500千円】

- ・スポーツ推進委員地区活動補助金
- 委嘱年度によるユニフォーム購入費増

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3－(3) 港北区商店街活性化事業	2,000,000円	1,998,613円	1,387円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

区内商店街及び商店街店舗の話題提供につながるイベント等の開催を通して、消費者の関心・認知度の向上を図るとともに、商店街の活性化を支援しました。

【主な内容】

1 商店街活性化事業 【予算：1,800千円、決算：1,810千円】

商店街を利用するきっかけとなるイベント等（「こうほくの商店街 ちょいより散歩」スタンプラリー）を開催しました。（10月から12月まで）

【「こうほくの商店街 ちょいより散歩」の賞品抽選応募件数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
実施方法	デジタル	紙	紙	紙	紙	デジタル
実施期間	1か月間	1か月間	2か月間	2か月間	2か月間	1か月間
参加店舗数	92店舗	82店舗	119店舗	107店舗	108店舗	108店舗
応募件数	552件	179件	381件	606件	621件	347件



【紙のスタンプラリー】



【デジタルスタンプラリー】

※参加者の声（7年度イベント参加者アンケートより）

- ・普段通るが入ったことがないお店があり、このイベントをきっかけに知ることはできてよかったです。
- ・実は身近に素敵なお店がたくさんあることを知るきっかけとなりました。
- ・スタンプラリー楽しく参加できました。また、商店街をまわってお店の方と話したいです。
- ・新しい店を利用する機会になって楽しかったです。
- ・参加店のマップがあり今後のちょいより散歩に利用します。
- ・冊子がマップ付きで分かりやすかったです。
- ・参加店舗数がより増えると嬉しい。
- ・デジタルスタンプラリーだとスタンプ台紙を忘れても参加ができるので良かった。

2 商店街魅力発信事業 【予算：200千円、決算：188千円】

商店街の魅力発信を目的に、ニーズに合った講座を開催し商店街自らが情報を発信できるようSNS講座を実施しました。(3月 19名参加) また、経済局商業振興課のホームページ、港北区公式X及びチラシの配架等により、商店街のイベントの広報を支援しました。



【SNS 講座】



【区公式 X での広報】



《参考》[経済局再配当予算]

- ・港北区商店街活性化イベント事業補助金【予算：1,661千円、決算：1,627千円】
商店街が主催して行うイベント開催経費に対して補助金を交付しました。

(7年度補助金交付団体)

- ・菊名東口商栄会「毘沙門天祭りチャリティー縁日」
- ・つなしまオータムフェスティバル実行委員会「つなしまオータムフェスティバル」
- ・大倉山商店街振興組合「大倉山クリスマス2025」
- ・小机商店街協同組合「夏の大売り出し&盆踊り」
- ・妙蓮寺ニコニコ会「妙蓮寺ニコニコフェス2025」
- ・綱島モール商店会「綱島モール商店街フリーマーケット2025」
- ・メイルロード商店会「メイルロード商店会セタまつり」
- ・箕輪町商工会「箕輪商工フェア」

3-(4) 地域のチカラ応援事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(4) 地域のチカラ応援事業	3,491,000円	3,312,278円	178,722円
地域振興課	差引理由	補助金の戻入による減	

【事業の概要】

地域住民による地域課題の解決や魅力づくりに向けた主体的な取組を支援するため、市民公益活動を行う団体に対して、補助金交付や広報支援、活動に対する有識者による助言を行いました。
また、交流の場の提供など団体間及び自治会・町内会との連携促進の取組を行いました。

【主な内容】

1 地域のチカラ応援事業補助金の交付等 【予算：3,197千円、決算：3,019千円】

(1) 連携コース（自治会・町内会と連携して実施する事業に対する団体への補助金）

区内で活動実績がある団体が自治会・町内会と連携して実施する、地域の課題解決や魅力づくりにつながる公益的事業を対象に、1団体最長3年間、年度当たり上限30万円の補助金を交付しました。また、自治会町内会と活動団体の連携が円滑に進み、地域の新たな担い手発掘及び顔の見える関係づくりにつながる取組となるよう専門家による伴走支援を行いました。

【令和7年度連携コース実施内容】

団体名	連携先自治会町内会	事業内容
大倉山プラチナヒップホップダンス実行委員会	大倉山地区連合町内会	60～80代のシニア世代がダンスレッスンを受け、町会のイベントで披露 ⇒ <u>シニア層の健康増進や町会の活性化</u>
熊野の森もろおかスタイル	師岡地区連合町内会	「師岡梅の丘公園」への梅の植樹など、 <u>子ども向けイベントを開催</u> ⇒ <u>子育て世代の地域活動への参加を促進</u>
NPO法人タネとスプーン虹色畑クラブ	新吉田第四自治会	地域住民と引きこもり等の当事者がともに麦踏み作業を行う <u>交流型援農イベントを開催</u> ⇒ <u>住民同士のつながりづくり</u>
キッズスマイルみのわ	箕輪町町内会	子どもたちが地域で活躍する大人にインタビューし、 <u>動画配信を行う</u> ⇒ <u>町内会の活動内容等を広く発信</u>
綱島の防災、減災を考える会	綱島地区連合自治会	転入世帯や若い世帯に対し、防災講習会を開催 ⇒ <u>防災を通じて地域活動への参加を促進</u>

(2) チャレンジコース

区内で活動実績がある団体による公益的事業を対象に、1団体最長5年間、年度当たり上限30万円の補助金を交付しました（令和6年度から新規申請の募集停止）。

【交付団体数・交付金額】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
団体数	7団体	15団体	17団体	11団体	9団体
金額	1,517千円	2,737千円	2,489千円	2,123千円	1,883千円

(3) パートナシップコース

区全域より小さなエリアで実施される事業に対し、港北区役所の名義使用承諾及び広報などの活動支援を行いました。

【承諾団体数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
団体数	8団体	3団体	5団体	7団体	6団体

【市民局再配当予算】 【予算：250千円、決算：0円】

地域の担い手応援事業（令和5年度から新規募集停止）

地域元気づくりコース：自治会町内会を含む2つ以上の団体が連携して取り組む事業

1団体最長5年間上限25万円 ※令和7年度は申請がなかったため、交付なし

2 団体間の連携促進の取組 【予算：294千円、決算：293千円】

地域のチカラ応援事業補助金交付団体による報告会・市民活動交流会を開催し、団体の活動について有識者（地域のチカラ応援事業推進懇話会※委員）からの助言を行うとともに、団体間の連携を促進しました。

- ・自治会・町内会と市民活動団体による交流会（11月 参加17団体）
- ・市民活動交流会（3月 参加11団体）

※地域のチカラ応援事業推進懇話会

市民活動の経験者、学識経験者など5名で構成。

補助金申請団体の活動に関して助言を行いました。



【市民活動交流会（7年度）】

3 - (5) 港北オープンファクトリー事業

事業名・所管課	予算 (A)	決算 (B)	差▲引 (A-B)
3 - (5) 港北オープンファクトリー事業	677,000円	689,225円	▲12,225円
区政推進課	差引理由		

【事業の概要】

港北区には、市内18区で最多の1,100か所以上の工場があります。「ものづくりの現場が生活の身近なところにある」という区の特徴を生かし、地域の魅力やものづくりの面白さを伝えるため、普段は入ることのできない工場の見学ツアーを中心としたイベント「港北オープンファクトリー」を開催しました。

【主な内容】

1 港北オープンファクトリー 【予算：677千円、決算：689千円】

区内で製造業を営む企業と連携して、工場見学を中心としたイベント「第14回 港北オープンファクトリー」を開催しました。



【第14回イベントチラシ】

【第14回イベントの様子】

《参考》【港北オープンファクトリーの開催状況】

年度 (回数)	開催日数	協力企業数	延べ参加者数	備考
3年度 (第10回)	—	8	468人	区内の小学校の児童を対象にオンライン形式で開催
4年度 (第11回)	1日	12	286人	4年ぶりに現地開催
5年度 (第12回)	1日	15	451人	現地開催では過去最大規模
6年度 (第13回)	1日	15	450人	過去最多の申込者数を記録
7年度 (第14回)	1日	18	494人	過去最多の協力企業数

【第14回 港北オープンファクトリーの協力企業 計18社】

(株)オースズ、(株)キョーワハーツ、(株)互省製作所、(株)さくら樹脂、(有)鈴木機械彫刻所、(株)第一鉸製作所、(株)田島精研、(株)宮川製作所、ユニオンソーシャルシステム(株)、石山ネジ(株)、(株)バネックス、ヤマセ精機(株)、(株)シルファー、(株)東京ダイス、東洋測器(株)、日本軸受加工(株)、(株)ヒートエナジーテック、横浜高周波工業(株)

【経済局再配当予算】

・ものづくり魅力発信事業【予算：400千円、決算：400千円】

港北オープンファクトリー開催に係る運營業務委託費として活用しました。

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(6) 芸術文化振興事業	1,800,000円	1,800,000円	0円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

区内の芸術文化を振興するため、港北芸術祭実行委員会に補助金を交付し、質の高い芸術に触れる機会を提供する鑑賞型事業や、区民の文化活動の発表の場を提供する参加型事業等の港北芸術祭を開催しました。

【主な内容】

1 港北芸術祭実行委員会主催事業 【予算：1,800千円、決算：1,800千円】

(1) 鑑賞型事業

- ・「北川記念ロシア民族楽器オーケストラ特別公演～バラライカ・オーケストラの響き～」
(9月 港北公会堂)

来場者数：338人



【バラライカ・オーケストラの響き】

- ・「東京キューバンボーイズ ニューイヤーコンサート2026」(1月 港北公会堂)
来場者数：501人



【東京キューバンボーイズ ニューイヤーコンサート 2026】

(2) 参加型事業

- ・ さわってみよう！箏・尺八（8月 港北区役所） 参加者数：13人
- ・ 夏の親子コンサート（8月 港北公会堂） 来場者数：391人
- ・ 港北区中学校生徒音楽会（10月 港北公会堂） 来場者数：600人
- ・ 港北芸能大会（11月 港北区民文化センター） 来場者数：300人
- ・ 港北三曲会演奏会（11月 港北公会堂） 来場者数：200人
- ・ 筆文字で遊ぼう（書道体験教室）（12月 港北区民文化センター） 参加者数：8人
- ・ 港北美術展（2月～3月 大倉山記念館） 来場者数：3,625人
- ・ オーケストラ体験教室（3月 港北公会堂） 参加者数：23人

【港北芸術祭実行委員会主催事業への来場者数と実施事業数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
延べ数	1,794人	6,232人	9,980人	7,714人	5,999人
実施事業数	3事業	9事業	11事業	10事業	10事業

※3年度 新型コロナウイルスの影響でイベント開催を中止したことによる減

【港北芸術祭実行委員会名簿（敬称略・五十音順）】

氏名	職業等
青 博孝	港北区連合町内会長
岡 幹絵	コンサートの企画・構成・マネジメント
鎌田 悠紀子	書道家
五大 路子	俳優
竹下 幸紀	港北区長
平賀 三男	ジャズトロンボーン奏者
堀 了介（会長）	チェロ奏者
三橋 貴風	尺八演奏家

《参考》各種団体主催事業

港北芸術祭に参加している後援行事について、広報よこはま港北区版への記事掲載や文化情報ホームページへの情報掲載など広報支援を行いました。

- ・ 港北区民俗芸能のつどい（6月）
- ・ 大倉山秋の芸術祭（10月～11月）
- ・ 港北区合唱の集い（11月）
- ・ 生誕130年 人間国宝芹沢銈介と緞帳（11月）
- ・ 港北童謡の会「ニューイヤーコンサート」（1月）
- ・ 港北ダンスフェスティバル（2月）

【各種団体主催事業への来場者数と実施事業数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
延べ数	5,237人	10,805人	8,388人	5,637人	6,462人
実施事業数	4事業	7事業	5事業	5事業	6事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(7) 区民活動支援事業	1,287,000円	1,273,002円	13,998円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

区域の中間支援組織として、地域課題の解決や魅力づくりを目指し、市民公益活動と生涯学習を支援しました。

【主な内容】

1 区民活動支援センター事業 【予算：135千円、決算：151千円】

区民の地域活動や学習に関する情報提供、相談対応、機材の貸出しなどを行いました。



【区民活動支援センター】 【イベント等のチラシの配架】

【ホームページでの活動情報紹介】

2 情報誌「楽遊学」の発行 【予算：752千円、決算：726千円】

団体の活動や活動の場、支援情報の紹介などを掲載した情報誌「楽遊学」を区ウェブサイトに掲載したほか、区内の区民利用施設や地域住民の交流の場であるコミュニティカフェ等において配布しました。

・年6回発行、11,400部（1,900部/回）

3 市民グループ・団体支援事業 【予算：340千円、決算：344千円】

地域の活動者や、新たな担い手となる若年層に向けた講座を開催したほか、団体の活動拠点となる区内施設の施設管理者間の連携を促進するため、施設間連携会議を開催しました。

【講座一覧】

講座名	参加人数
【ICT講座】地域活動をサポート！公式LINE入門講座	26
【つながるカフェ①】多世代に活動の思いを伝えるコツ	47
【つながるカフェ②】いまどきの若者とつながるコツ	13
【港北地域学①】外国人住民の声から学ぶ港北の今	22
【港北地域学②】まちと生きる本屋のカタチ	32
【港北地域学③】人がつながる地域の居場所づくり	12
【港北地域学④】新横浜発！まちの魅力の高め方	15

4 区民活動支援センターＩＣＴ化事業 【予算：60千円、決算：51千円】

- ・窓口相談の際にタブレットＰＣ及び無線ＬＡＮ（Wi-Fi）を活用し、ウェブサイト案内しました。
- ・窓口配架チラシを区ウェブサイトに掲載しました。

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(8) 地域振興活動事業	3,000,000円	2,935,360円	64,640円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

自治会町内会の活動を支援するとともに、自治会町内会の永年在職者の表彰や研修会等の実施を通じて、住みよい地域づくりの推進を図りました。

【主な内容】

1 自治会町内会への支援・連携事業【予算：1,443千円、決算：1,611千円】

「自治会町内会掲示板への掲示物」等を各自治会町内会へ送付しました。
庁舎2階戸籍課の待合で転入者向け自治会町内会加入キャンペーンを通年実施し、宅建協会を通じて不動産事業者にチラシを配架するなど、加入促進に取り組みました。

- ・送付回数：年10回（定例会が休会となる8月と12月を除く毎月）
- ・送付先：自治会町内会 149 団体
- ・送付数：議題1件につき掲示物約1,200 部

2 自治会町内会長永年在職者表彰の実施【予算：1,307千円、決算：1,127千円】

自治会町内会長の日々の活動に対して感謝の意を表するため、区内式場にて永年在職者表彰及び記念品の贈呈を行いました（3月）。

- ・令和7年度港北区自治会町内会感謝会（表彰者19名うち当日表彰者17名）

会場：ソシア21

参加者：88名

表彰者：単会表彰者 計18名 20年表彰3名 15年表彰1名 10年表彰5名 5年表彰9名
連合表彰者 5年表彰1名



【表彰者記念写真】



【表彰式】



【感謝会】

3 自治会町内会のICT化【予算：250千円、決算：197千円】

会費のキャッシュレス徴収や電子回覧板の導入等、デジタル化に向けた自治会町内会向け出張講座を計3回、区役所講座を計2回開催し、計約30名が参加しました。



【出張講座】

〔市民局再配当予算〕

- ・地域活動推進費【予算：121,031千円、決算：118,390千円】
区連合町内会、地区連合町内会、自治会町内会への補助
- ・防犯灯維持管理費補助金【予算：880千円、決算：838千円】
自治会町内会所有の防犯灯に対する維持管理費の補助
- ・自治会町内会会館脱炭素化推進事業費【予算：14,676千円、決算：10,276千円】
LED照明器具やエアコンの設置など、自治会町内会館の脱炭素化に対する費用の補助

〔市民局再配当予算〕【予算：2,000千円、決算：1,852千円】

- ・地域活動推進事業
- ・区連会ホームページの更新
- ・自治会町内会案内チラシ、加入促進啓発グッズの作製と配布
- ・自治会町内会区域図の提供
- ・区役所に申し出のあった加入希望者の自治会町内会への取り次ぎ
- ・建築局に提出されたマンション計画の地元自治会町内会への情報提供
- ・広報よこはまへの記事掲載
- ・「自治会町内会活動のしおり」配布
- ・イベントへの広告掲載 / 動画の放映
- ・デジタルサイネージでの自治会町内会への加入促進動画の放映



【区連会ホームページ更新】



【自治会町内会案内チラシ】



【加入促進啓発災害用トイレキット】



【加入促進動画】

3－(9) 読書活動推進事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3－(9) 読書活動推進事業	1,653,000円	1,506,529円	146,471円
地域振興課	差引理由	読書情報発信事業による使用料の減	

【事業の概要】

読書活動を推進する取組として、紙芝居制作イベントやふるさと港北ふれあいまつり・ヨコアリくんまつりにおける読書関連ブース出展等を行うとともに、日吉図書取次所「日吉の本だな」での図書企画展示や朗読会、作家等による講演会等を開催しました。

あわせて、地域全体で読書活動を推進するため、区内読書関連施設や団体等と連携して、情報交換や交流会等を実施しました。

また、令和7年度は、第三次港北区読書活動推進目標の策定を行いました。

【主な内容】

1 本とであおう事業 【予算：205千円、決算：174千円】

子どもたちの成長段階に応じ、本に親しみ、楽しむきっかけづくりを推進しました。

(1) 紙芝居制作イベント

・こども「紙芝居づくり」教室（7月、8月）

物語を作る楽しさを体験できる、小学生対象の手づくり紙芝居制作講座を開催しました。

【参加者数】（元年度から実施）

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
人数	中止	14人	24人	22人	33人

※3年度は、新型コロナウイルスの影響で開催を中止



【こども「紙芝居づくり」教室】

(2) 本とであおうイベント

- ・ふるさと港北ふれあいまつり／ヨコアリくんまつり（11月横浜アリーナ）

読書活動推進月間に、読書フェスティバル「本とであおう！読書バリアフリーの世界」コーナーを出展しました（港北図書館等と連携した各種図書展示、こども「紙芝居づくり教室」参加小学生や区内活動団体による紙芝居上演など）。



【港北図書館の児童書展示】



【小学生の手作り紙芝居上演】

(3) ブックガイド配布

絵本を介して親子がふれあうきっかけを作るブックガイド「おひぎにだっこで楽しむ絵本」（中央図書館発行）を戸籍課窓口及び乳幼児健診会場に配布しました。

2 読書情報発信事業 【予算：300千円、決算：215千円】

誰もが読書に親しみ楽しむきっかけづくりを推進するため、多様な区民ニーズに合わせた区内の読書関連情報の発信を強化しました。

(1) 図書取次サービス拠点（日吉の本だな）における情報発信等

- ・図書の取次機能に加えた読書関連情報等の発信（図書の企画展示やパネル展示等）
- ・地域交流、多世代交流の場として、区内活動団体と連携した企画等の実施（まちの先生等による朗読会やおはなし会等、区民活動支援センターの出張相談会など）



【大人のための朗読会】

(2) 各施設からの情報発信等

- ・図書館や地区センター等の読書関連施設で、新着図書やテーマごとの蔵書を紹介しました。
- ・区内の図書貸出・閲覧施設等を紹介する「港北区本との出会いマップ」（3年度改訂発行）を配布しました。

(3) 蔵書情報等の発信

区内の図書貸出施設や蔵書等に関する情報を集約し、区ウェブサイトやSNS等で発信しました。

(4) 港北区読書講演会

港北区にゆかりのあるテーマでの講演会を開催し、区民が本と親しむ機会を創出しました。
(5月 菊名地区センター)。



【講演概要】

「横浜・港北の鉄道の昭和時代」 (講師:岡田 直 氏)

【参加者数】(5年度から実施)

年度	5年度	6年度	7年度
人数	48人	47人	44人

【港北区読書講演会】

3 読書団体連携事業 【予算：30千円、決算：10千円】

図書館・関連施設・地域が協働した読書活動を推進するほか、第三次港北区読書活動推進目標の検討を行うため、区内の図書関連施設や読み聞かせ等の活動団体と連携して、情報交換や交流会等を実施しています。

(1) 読書活動推進関係機関連絡会

2年度に第二次港北区読書活動推進目標を策定した際のメンバー等(小・中学校、保育園、地区センター等、図書館、区)で構成する連絡会を実施しました(7月)。

(2) 読み聞かせボランティア交流会

学校や地域で読み聞かせの活動を行う団体の支援及び情報交換を目的とした交流会を実施しました(6月)。



【小学生向けの読み聞かせボランティア交流会】

年度	5年度	6年度	7年度
人数	14人	18人	16人

(3) 読書フェスティバルイベントカレンダー

読書活動推進月間に、区内公共施設等で開催される行事をまとめたイベントカレンダーを区ウェブサイトに掲載しました(10～11月)。

4 第三次港北区読書活動推進目標策定事業 【予算：1,118千円、決算：1,108千円】

令和6年度に第三次横浜市読書活動推進計画が策定されたことに伴い、令和7年度に第三次港北区読書活動推進目標を策定しました。

(1) 第三次港北区読書活動推進目標の周知・啓発

第三次港北区読書活動推進目標を策定し、広く区民に周知するため、リーフレット等の作成及びホームページ等を活用した広報を行いました。

(2) バリアフリー図書の啓発

多様な読書活動を推進するため、区内各施設等と連携したバリアフリー図書の普及・啓発を行いました。



展示期間	展示場所
10月10日（金）～ 11月6日（木）	篠原地区センター
11月8日（土）～ 11月8日（土）	横浜アリーナ（ヨコアリくんまつり）
11月11日（火）～ 11月30日（日）	菊名地区センター
12月2日（火）～ 1月5日（月）	城郷小机地区センター
1月7日（水）～ 2月2日（月）	新田地区センター
2月4日（水）～ 3月2日（月）	綱島地区センター
3月4日（水）～ 3月30日（月）	日吉地区センター

【りんごの棚巡回展示】

[教育委員会事務局再配当予算]

・横浜市民の読書活動推進事業

区づくり推進費と合算して、第三次港北区読書活動推進目標の周知・啓発物品等を購入

【予算：250,000円、決算：246,899円】

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(10) こうほく プラ5.3推進事業	941,000円	907,378円	33,622円
地域振興課	差引理由		

【事業の概要】

横浜市一般廃棄物処理基本計画（ヨコハマ プラ5.3計画）に基づき、広報・啓発・支援等を行い、市民・事業者・行政が協働して環境行動の推進に取り組みました。

世界的に問題となっている食品ロスや特に新計画で重点課題となっているプラスチックごみ問題等について、積極的に啓発等を行いました。また、ポイ捨てや不法投棄のない、清潔できれいな街づくりを推進しました。

【主な内容】

1 環境行動の推進 【予算：811千円、決算：667千円】

(1) 環境行動・清潔できれいな街づくり推進者表彰

環境行動の推進及び清潔できれいな街づくりの推進に功労のあった個人又は団体等を表彰しました（2月）（個人：6名、団体：5団体）。

(2) 環境行動普及啓発事業

・「ヨコハマ プラ 5.3 計画」の取組

プラスチック製容器包装の分別率アップ、新分別ルール周知、地域イベントや大型商業施設店頭での分別啓発（19回）、新分別ルールの地域説明会（随時）（12回）、ふるさと港北ふれあいまつり（11月）、転入者向け分別相談ブースの設置（3月）

・食品ロス削減の取組

生ごみ減量化の土壌混合法説明会（5月、6月、9月、10月）

フードドライブの受付及び啓発（随時）（2,012点、531kg）



【ふるさと港北ふれあいまつり】



【土壌混合法説明会】



【港北 AUTUMN 消防フェスタ 2025】

(3) 環境学習事業

・区民向け啓発講座（随時）（13回）

・動画やSNSを活用した啓発（随時）（7月～戸籍課モニターで外国籍の方向け分別啓発）

・保育園・小中学校等への出前教室、資源循環局港北事務所と連携した環境学習（随時）（17回）



【プラスチックごみ分別啓発】



【保育園での出前講座】

(4) こうほく3R活動助成金

- ・区内の地区連合町内会に対し、環境行動の推進と街の美化活動の促進のための活動助成金を交付しました（360千円（年額30千円×12地区連合町内会））（8月）。
- ・環境事業推進委員に対し、啓発物品の配付やイベント開催時のサポート等の活動を支援しました（随時）。

[資源循環局再配当予算]

- ・ヨコハマ プラ5.3 計画広報啓発事業 【予算：100千円、決算：90千円】
啓発物品の購入費

《参考》【港北区の家庭ごみ収集量（単位：トン）】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度（※）
燃やすごみ・缶・びん・ペットボトル・プラスチック資源の総量	57,580	56,123	54,071	52,729	51,766
燃やすごみ	48,362	47,275	45,549	44,203	42,754
缶・びん・ペットボトル	4,765	4,542	4,323	4,211	4,122
プラスチック資源	4,453	4,306	4,199	4,315	4,890

※7年度は速報値

2 街の美化の推進 【予算：130千円、決算：240千円】

(1) キャンペーン活動の実施

- ・ポイ捨て・歩行喫煙防止啓発
啓発キャンペーン(日吉駅など)(10月、3月（中止）)
- ・地域清掃活動支援
自治会町内会や学校・企業等の地域清掃（通年）（4月区内企業、6月矢上小学校、12月交通事業者、1月自治会町内会・新成人、3月大綱中学校）
不法投棄地域清掃(新羽大熊農業専用地区)(年1回)
新横浜駅前周辺清掃(月1回)（6月（中止）、7月・8月・12月除く）、
横浜アリーナ周辺清掃(月1回)（6月・10月・2月（中止）、7月・8月・12月除く）
日吉駅周辺一斉清掃（年2回）（10月、3月（中止））

(2) 不法投棄防止対策

- ・ポイ捨て防止看板作製・設置（随時）
- ・不法投棄監視システムの維持管理（通年）

[統合事業費]

クリーンタウン横浜事業 【予算：842千円、決算：812千円】

ごみの散乱や不法投棄のない、清潔できれいな街づくりが特に必要と認められた美化推進重点地区での美化活動を推進しました。

港北区内では、新横浜駅周辺と日吉駅周辺を美化推進重点地区に指定しています。

- ・新横浜駅周辺（美化推進重点地区及び喫煙禁止地区）
港北区美化推進員活動（週3回、通年）
- ・日吉駅周辺（美化推進重点地区）
港北区美化推進員活動（週2回、通年）

3 - (11) 港北ガーデンシティ推進事業

事業名・所管課	予算 (A)	決算 (B)	差 ▲引 (A-B)
3 - (11) 港北ガーデンシティ推進事業	4,770,000円	4,271,521円	498,479円
区政推進課	差引理由	補助金の戻入および区内小学生向け講座実施回数の減	

【事業の概要】

多様な恵みをもたらす花・緑・農・水を生かした「ガーデンシティ横浜」の推進、生物多様性保全への理解と行動の促進、地域の農や食・人とのつながりを実感する地産地消を推進することで港北区ならではの魅力とにぎわいを創出し、自然共生による豊かな暮らしの実現を目指します。

また、本事業を通じて、多世代に対して横浜グリーンエクスポへの区民参画を促進するとともに、一人ひとりの脱炭素行動につなげました。

【主な内容】

1 港北オープンガーデン事業 【予算：2,160千円、決算：1,850千円】

区民が個人の庭やグループで育てている花壇等を公開し、互いに見学することで港北区の魅力を再発見し、花や緑を通じた区民の交流を促進することを目的として、第13回港北オープンガーデンを実施するとともに、第14回イベントに向けた企画を行いました。

- ・特設案内所や対象となる会場でスタンプマークを集めると、個数により景品がもらえるスタンプラリーを行いました。
- ・地域ボランティアが参加会場を案内する「ルート案内ツアー」を、日吉、綱島、大倉山、菊名の4つのエリアで実施しました。
- ・イベント期間にあわせて野菜・花きの直売会を実施しました。
- ・横浜グリーンエクスポの連携を一層強化し、機運醸成と区民参加の促進を通じて会場への来場につなげていきます。

【第13回港北オープンガーデン開催概要】

- ・日時：令和7年4月18日（金）～20日（日）、5月16日（金）～18日（日）
- ・会場数：144会場
- ・特設案内所：日吉駅・りそな銀行綱島支店横・大倉山駅

【イベント実施状況】

年度（回数）	開催日数	公開箇所	来場者数※1
3年度（第9回）	42日	114※2	※3
4年度（第10回）	6日	122	約29,646人
5年度（第11回）	6日	126	約35,757人
6年度（第12回）	6日	138	約42,973人
7年度（第13回）	6日	144	約42,936人

※1 標本抽出方法で計算（カウント可能な会場を基に推計）

※2 現地公開（動画配信あり）91、現地公開（動画配信なし）20、動画配信のみ3

※3 参考数値：約4,104人（25か所でカウント・2日間）、動画再生回数：43,834回（3年6月21日時点・全94動画合計）



【第13回イベントルート案内ツアーの様子】

〔脱炭素・GREEN×EXPO 推進局再配当予算〕【予算：5,000千円、決算：4,989千円】

・GREEN×EXPO 推進事業

横浜グリーンエキスポの開催に向け、啓発物品の作成・配布やイベント実施等を通じた認知度向上、機運醸成、コンテンツ認知拡大

- ▶ 地域イベント配布用グッズの購入（ウェットティッシュ、サンバイザー等）
- ▶ 「相鉄・東急新横浜沿線花みどりスポットマップ」更新・増刷
- ▶ 「小田原オープンマルシェ」でのPRブース出展
- ▶ 「ふるさと港北ふれあいまつり」・「大倉山観梅会」でのPR
- ▶ 870日前応援企画 資源循環局 港北事務所前花壇の整備
- ▶ 環境事業推進委員全体研修会でのPR
- ▶ 「公園愛護のつどい」でのPR
- ▶ オリジナル横断幕の作成及び区内歩道橋への横断幕の設置
- ▶ 区庁舎前花壇の整備、縦型案内板の装飾、風除室壁面フォトスポットのリニューアル



【小田原オープンマルシェ】



【ふるさと港北ふれあいまつり】



【大倉山観梅会】



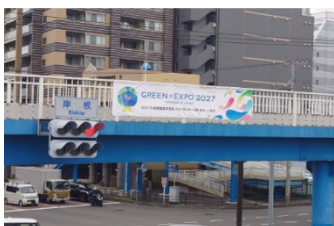
【資源循環局 港北事務所前花壇】



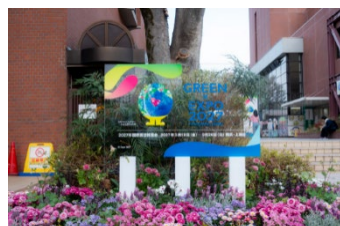
【環境事業推進委員全体研修会】



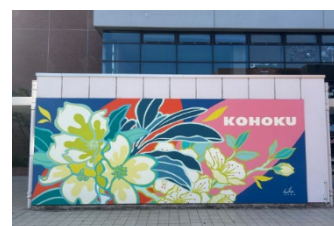
【公園愛護のつどい】



【横断幕の掲示】



【区庁舎前花壇】



【風除室壁面フォトスポット】

2 港北水と緑の学校事業 【予算：1,860千円、決算：1,656千円】

- ・環境活動や防災活動が地域に根付くことを目指し、区内小学生向けに鶴見川流域の自然環境と防災等について学習する体験型講座を実施しています。また、令和6年度から開始した広告協賛を引き続き実施しました。

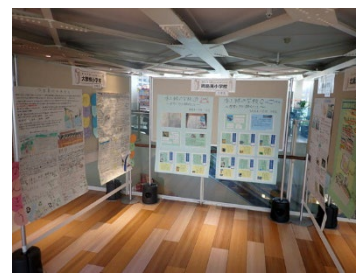
▶区内小学校向け講座（5～11月）12回

▶小学生の学習成果の展示会（2～3月）

- ・事業の重要性・必要性に共感をいただいた7社に広告協賛をいただきました。

▶広告協賛企業

株式会社富川写真、株式会社横浜アリーナ、株式会社ウチムラ、グローバルゴルフネット株式会社、株式会社 Syonan Tonbi Project、綱島商店街協同組合、NOSIGNER株式会社



【講座・展示会の様子】

【港北水と緑の学校事業 講座の実施回数及び参加者数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
実施回数	18回	20回	20回	14回	12回
小：小学校向け講座	(小18回)	(小18回、	(小18回、	※2	※3
一般：一般向け講座	※1	一般2回)	一般2回)		
延べ参加者数	1,702人	1,301人	1,449人	968人	922人

※1 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3年度一般向け講座については、動画による講座に変更しました。

※2 みどり環境局が実施する「横浜市環境教育出前講座」を活用することで、本事業では鶴見川での活動に特化した区内小学校向け講座のみを実施しました。

※3 天候による延期等で学校との日程調整がつかず、実施回数が減少しました。

3 屋上緑化推進事業 【予算：250千円、決算：250千円】

区庁舎及び太尾小学校屋上庭園の維持管理を区民ボランティアと連携して行うことで、区民が身近な自然に親しむ機会を創出するとともに、脱炭素行動を推進します。また、広報よこはま等を活用し、脱炭素化・温暖化対策や地産地消等の普及啓発を行いました。

4 港北育苗プロジェクト《新規》 【予算：500千円、決算：515千円】

子どもたちが花や緑に触れ、自然を大切にする気持ちを育むために、自分が育てた花で地域花壇を彩る「港北育苗プロジェクト」を実施しました。

- ・区内全小学校（26校）にチューリップの球根50球とワイルドフラワー50苗を配布（10月下旬）
- ・区内全小学校で花苗を育苗（11月～2月上旬）
- ・区内地域事業者やボランティアが新横浜公園に定植（2月上旬）
- ・横浜グリーンエクスポ開催1年前を記念し、お披露目（3月～4月下旬頃）



【小学校での育苗・定植後の様子（7年度）】

【みどり環境局再配当予算】

- ・市民が森に関わるきっかけづくり事業 【予算：150 千円、決算：55 千円】
区内イベントにおける市民が森に親しむブースの出展や親子向けイベントの実施
- ・身近に農を感じる地産地消推進事業 【予算：190 千円、決算：60 千円】
企業連携等による地産地消イベントの開催等を実施



新横浜公園ピクニックパークの様子



収穫体験・直売会の様子

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(12) 港北脱炭素みらい推進事業	3,200,000円	2,315,307円	884,693円
区政推進課	差引理由	実施手法の見直し等による委託費の残	

【事業の概要】

2050年の脱炭素社会の実現に向け、区民が自主的・主体的に自然環境を守り、温暖化対策・脱炭素化に向けた行動変容を促すことができるよう、区民・事業者・区役所が連携し、脱炭素の推進を通じた港北区の更なる成長につながる取組を行いました。あわせて、横浜グリーンエクスポに向けたあらゆる取組により、区民の認知度及び参加意欲の向上につなげました。

【主な内容】

1 港北脱炭素みらい推進事業 《新規》 【予算：3,200千円、決算：2,315千円】

地域の最前線である区役所では、脱炭素社会の実現に向けて、自らが実践していくだけでなく、区民の行動変容を促進していくことが求められています。区民一人ひとりが日ごろから脱炭素行動を実践し、家庭や日常生活において排出削減を進めていくためには、幼少期から脱炭素行動を学び、自然と実践できるようにしていくことが重要です。また、子どもたちへの啓発等を通じて、親世代や地域へも波及させていくことで、より一層効果的な取組となることを目指します。

そこで、横浜グリーンエクスポの開催も契機として、港北区内の企業と連携した脱炭素イベントの実施など、あらゆる機会を通じて、子どもたちが楽しみながら脱炭素社会を考えるきっかけを身近なところで創出しました。

<実施内容>

・子ども向け脱炭素イベントの実施

夏休み期間に合わせ、区内企業の取組紹介等を通じて脱炭素について学べる親子向けの脱炭素イベントを実施しました（8月 綱島SST）。

・子どもたちやプロスポーツチームと共に進める脱炭素な暮らしの推進

区内の小学生及び港北区を拠点とするプロスポーツチームと連携し、区民の行動変容を促し、脱炭素な暮らしを定着させるための脱炭素講座を実施しました（8月・9月 全2回）。



【子ども向け脱炭素イベント】



【区内小学校向け脱炭素講座】

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
3-(13) まちづくり調整費	3,077,000円	2,572,966円	504,034円
区政推進課	差引理由	周知に関する委託内容の見直しによる残	

【事業の概要】

区内のまちづくりの円滑な推進や地域の課題の解決のため、必要な調査や関係機関との調整を行いました。

【主な内容】

1 まちづくり調整費・まちづくり調査費 【予算：3,077千円、決算：2,573千円】

(1) 地域課題の解決に向けたまちづくり

地域課題解決のため、区内における様々な機関と連携しながら必要に応じて随時適切な調査・対応を実施します。令和7年度は、日吉駅西口周辺の交通空間改善を目的とした車両一方通行化を本格実施するため、その周知や啓発活動に取り組みました。



▲普通部通り



▲浜銀通り

【まちづくり調査等の実績】

年度	実施内容
3年度	港北区データ整理検討
4年度	—
5年度	日吉駅西口周辺交通空間改善検討
6年度	日吉駅西口周辺交通空間改善検討
7年度	日吉駅西口周辺の車両一方通行化実施に関する周知・啓発

(2) 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科（慶應SDM）との連携

慶應SDMと連携し、横浜グリーンエクスポも見据えた「暑さ対策」に関する取組を令和6年度に引き続き実施しました。

【連携協定の概要】

港北区と慶應SDMは、平成29年5月に、「教育研究成果を活用した地域の課題についての調査・事業の実施、スポーツに関する取組やデータの活用検討等を通じて、相互のさらなる発展に寄与すること」を目的とした連携協定を締結しています。

【連携事業の実績】

年度	実施内容
3年度	・スポーツプロジェクト ・港北オンラインラジオ体操
4年度	「システム×デザイン思考」の実践を通じて、地域課題の解決を学ぶワークショップ
5年度	「システム×デザイン思考」の実践を通じて、「防災の自分ごと化」に繋がるアイデア創出を図るワークショップ
6年度	横浜グリーンエキスポも見据えた「暑さ対策」における実証実験
7年度	横浜グリーンエキスポも見据えた市民ボランティアを想定した「暑さ対策」における実証実験



【7年度実証実験】

4 - (1) 区民サービス向上・環境改善促進事業

事業名・所管課	予算 (A)	決算 (B)	差 ▲引 (A-B)
4 - (1) 区民サービス向上・環境改善促進事業	6,941,000円	8,265,928円	▲1,324,928円
総務課	差引理由	実績による増	

【事業の概要】

区庁舎について、快適に過ごせる環境づくりや施設の機能強化を行いました。

【主な内容】

1 区庁舎等の環境改善・機能強化【予算：6,941千円、決算：8,266千円】

- ・窓口受付システム使用料
- ・旧売店スペース改修
- ・総合庁舎入口前タイル及び公会堂前スロープの滑り止め施工
- ・2階戸籍課のレイアウト変更
- ・2階待合フロアの公衆無線LAN (Wi-Fi) 通信費
- ・AEDの購入



【窓口受付システム】



【旧売店スペース改修】



【入口前タイル及びスロープの滑り止め施工】



【2階戸籍課レイアウト変更】

[脱炭素・GREEN×EXPO推進局再配当予算]

- ・港北区総合庁舎等LED改修工事【予算：165,978千円、決算：133,050千円】
港北区総合庁舎、港北消防署及び港北公会堂における照明器具のLED化工事。

4－(2) 区民利用施設環境改善事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
4－(2) 区民利用施設環境改善事業	3,120,000円	4,518,887円	▲1,398,887円
地域振興課	差引理由	子供の遊び場遊具の安全性確保等による増	

【事業の概要】

区内の区民利用施設について、保守改善を行い、利用者が快適に過ごせる環境づくりを進めました。

【主な内容】

1 区民利用施設の環境改善・機能強化 【予算：2,220千円、決算：1,938千円】

区民利用施設の環境改善に伴う消耗品の購入や、委託等を実施しました。

- ・立て看板（菊名地区センター）、麻雀卓（大綱中学校コミュニティハウス）の購入
- ・下田小学校コミュニティスクール 複写サービス
- ・城郷小机地域ケアプラザ・地区センター高圧ケーブル更新
- ・小机スポーツ会館給水設備更新

2 子供の遊び場等の樹木保全 【予算：630千円、決算：618千円】

子供の遊び場の安全確保のため、樹木管理を実施しました。

- ・太尾市之坪町会子供の遊び場 サクラ越境枝剪定、樹木診断
- ・大曽根子供の遊び場 樹木伐採剪定

3 子供の遊び場安全規準不適格遊具の撤去等 【予算：270千円、決算1,962千円】

子供の遊び場の遊具の安全性確保等を実施しました。

- ・下田上子供の遊び場 砂場補修、鉄棒撤去
- ・親和会子供の遊び場 うんてい基礎補修、ブランコ境界柵更新、幼児用動物型遊具（カバくん）撤去
- ・綱島東町自治会子供の遊び場 スプリング遊具撤去
- ・太尾市之坪町会子供の遊び場 シーソー撤去

4-(3) 戸籍課案内サービス向上事業

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
4-(3) 戸籍課案内サービス 向上事業	3,092,000円	2,978,445円	113,555円
戸籍課	差引理由	広報手段見直しによる残	

【事業の概要】

来庁者の待ち時間短縮や待合フロアの混雑緩和のため、戸籍課登録担当内の電話対応オペレーターの活用及びweb発券システムの運用を実施しました。

また繁忙期対策として、web発券システムの利用促進に向けて広報を実施しました。

【主な内容】

1 窓口混雑対策事業 【予算：2,092千円、決算：2,075千円】

(1) 電話案内業務

窓口の繁忙期において、職員を来庁者の窓口案内業務に充て、区民サービスの向上を図るために、電話対応の一部にオペレーターを活用しました（7年4月から8年3月まで）。

【オペレーター稼働実績】

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
電話受付件数 (実件数)	16,029件	15,899件	15,336件	11,575件	22,318件
オペレーター配置 日数(実日数)	252日	251日	206日	177日	240日
オペレーター配置 人数(延べ人数)	309人	288人	276人	240人	403人

(2) web発券システムの運用

窓口混雑緩和を図るため、令和4年度に導入した区役所に来庁しなくても番号札をweb上で取得できるシステム(web発券)を引き続き、運用しました。

【住民異動受付等件数】 令和8年3月25日から3月27日、3月30日及び3月31日まで

	25日	26日	27日	30日	31日	平均
受付件数(件)	364	400	451	647	599	492
web発券受付件数(件)	65	68	97	250	225	141
最大待ち時間(分) web発券なし	59	55	48	314	277	151
最大待ち時間(分) web発券あり	35	32	25	303	261	131
平均待ち時間(分) web発券なし	23	26	29	216	219	103
平均待ち時間(分) web発券あり	6	3	15	106	89	44
最大待ち人数(人)	32	38	89	244	206	122
web発券割合(%)	17.9	17.0	21.5	38.6	37.6	26.5
前年度web発券割合(%)	19.6	16.6	15.7	20.3	20.0	18.4
前年度比(%)	-1.7	+0.4	+5.8	+18.3	+17.6	+8.1

4 区民サービス向上に向けた取組

【最繁忙期における1日あたり発券数】

(令和8年3月25日から3月27日、3月30日及び3月31日まで)

- ・ 平均値 web発券数 141件 web発券の割合 26.5%
 - ・ 最高値 (A) web発券 250件 (B)全体 647件 web発券の割合(A/B) 38.6%
- ※最高値は令和8年3月30日の件数

(3) 最繁忙期対策(3月30日、3月31日)

最繁忙期日対策として、こども家庭支援課健診会場を臨時的待合とし、スマートフォンをお持ちでない方も呼び出し状況がわかるよう、受付番号表示モニターを臨時増設しました。

2 繁忙期向け広報事業【予算：1,000千円、決算：903千円】

春の引越しシーズンに伴う窓口繁忙期にあわせ、窓口の分散利用誘導、web発券利用促進及び転出届出・証明発行におけるマイナンバーカードの利用促進に向けた広報を行いました。このため、web発券利用率は38.6%となりました(前年度比18.3%増)。

- ・ インターネットを活用したリスティング広告(3月)



【車止めポールに貼付したweb発券周知シール】



【民間事業者敷地に掲出したweb発券周知ポスター】



【区内各所に配架したweb発券チラシ】

【港北区の人口、世帯数、平均世帯人員(住民基本台帳人口)】

	3年3月末	4年3月末	5年3月末	6年3月末	7年3月末
人口(A)	352,694人	355,442人	356,788人	359,274人	361,356人
世帯数(B)	176,636世帯	179,337世帯	181,250世帯	183,844世帯	186,227世帯
平均世帯人員(A/B)	2.00人	1.98人	1.97人	1.95人	1.94人

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
4-(4) 港北区PR情報発信事業	1,523,000円	1,520,043円	2,957円
区政推進課	差引理由		

【事業の概要】

区民が即時に有用な情報サービスが得られるようSNS等を運営しました。

また、区のキャラクターを有効活用し、SNSのフォロワー獲得に繋がる啓発物品の製作や企画を実施し、区のPRを行いました。

【主な内容】

1 情報発信事業 【予算：1,523千円、決算：1,520千円】

スマートフォン等の普及により区民の区政情報の入手手段が多様化していることを踏まえ、タイムリーかつターゲットを意識した有効な情報発信を行いました。

また、区のキャラクターである港北区ミズキーを子ども向けの携帯用防災カードの新規作製に活用するなど、区の魅力発信に取り組みました。

【港北区ウェブサイトアクセス件数・Xフォロワー数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
アクセス件数	約300万件	約250万件	約250万件	約340万件	約330万件
フォロワー数	約10,200人	約10,700人	約10,900人	約11,500人	約12,100人

【港北区ミズキー着ぐるみ利用件数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
利用件数	7件	21件	30件	32件	34件



【港北区ミズキーの携帯用防災カード】



【港北区ミズキーシール】



【港北区ミズキー着ぐるみ】

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
4-(5) 「仕事力向上」職員育成事業	620,000円	505,693円	114,307円
総務課	差引理由	職員向け研修契約残	

【事業の概要】

適正な業務執行や業務スキルの向上を図るため、CS・ES向上研修やスキル向上研修を実施します。加えて、人権感覚を育み、正しい理解及び認識を身につけるため、人権啓発講演会を実施しました。

【主な内容】

1 職員向け研修 【予算：320千円、決算：165千円】

(1) 新採用・転入職員・会計年度任用職員向けCS・ES向上研修

CS・ESの向上を図るため、新採用・転入職員・会計年度任用職員を対象として実施しました（4月、5月 参加人数：80名）。

(2) スキル向上研修

業務スキルの向上を図るため、職員、会計年度任用職員を対象とし、「レジリエンス研修」を実施しました（9月 参加人数：35名）。

2 人権啓発講演会等 【予算：300千円、決算：341千円】

人権感覚を育み、人権に対する正しい理解及び認識を身につけるため、市民・職員向けの人権啓発講演会や、職員向けの人権啓発研修を実施しました。

【人権啓発講演会の実施状況】

年 度	テーマ	講師	参加者
3 年度	横浜F・マリノスと連携して、SNS等の正しい利用方法をテーマに動画を撮影し、区ウェブサイトに掲載するとともに、区及びマリノスのTwitterに投稿		
4 年度	「いじめって何ですか？」 ～いじめに対する大人の認識を考える～	小森 美登里（NPO法人ジェントルハートプロジェクト理事）	約250人
5 年度	多様性を認め自分らしく生きられる社会づくり ～20人に1人いるかもしれないLGBTQ～	星野 慎二（定非営利活動法人SHIP理事長）	約100人
6 年度	僕の宝物（障害を受容できるきっかけとなった出来事や東京2020パラリンピックについて）	嵯峨根 望（東京2020パラリンピック日本代表）	約120人
7 年度	男らしさ、女らしさより自分らしさが社会を変える ～LGBT・男性・女性とは～	ブルボンヌ（女装パフォーマー・ライター）	約320人



【7年度人権啓発講演会】

事業名・所管課	予算 (A)	決算 (B)	差▲引 (A-B)
《参考》統合事業費 広報よこはま区版発行事業	14,665,000円	13,736,323円	928,677円
区政推進課	差引理由	印刷費及び編集デザイン業務委託料の入札残	

【事業の概要】

区民の生活に必要な行政情報等を提供し周知するため、広報よこはま港北区版を発行しました。

【主な内容】

1 広報よこはま区版作製 【予算：14,665千円、決算：13,736千円】

広報紙は原則、自治会町内会を通じて各戸へ配布しているほか、区ウェブサイトへの掲載やX（旧ツイッター）等で情報を発信しました。

(1) 発行

毎月1日、年12回

176万部（14.7万部/月）発行

(2) 仕様

タブロイド判、4色刷り、

8ページ



(3) 紙面構成

【広報よこはま区版5月号 特集ページ】

- ・特集、トピックス記事

区の施策で特に力を入れて取り組んでいる事業やイベント等を紹介する紙面

- ・お知らせ記事

区役所や区内施設等が実施する催事等を紹介する紙面

【参考】

港北福祉保健センターからのお知らせ
発行：年1回（7年4月号に挟み込み）
仕様：4色刷り、4ページ
内容：検診日程等

【広報よこはま区版発行部数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
年間部数	172万部	172万部	174万部	175万部	176万部
月平均部数	14.3万部	14.3万部	14.5万部	14.6万部	14.7万部

事業名・所管課	予算 (A)	決算 (B)	差 ▲引 (A-B)
《参考》統合事業費 広聴相談事業	2,016,000円	2,010,217円	5,783円
区政推進課	差引理由		

【事業の概要】

サービス改善等に関する区民の意見・提案等の把握や、来庁者への的確な案内や行政情報の提供のほか、区民が日常生活で直面する問題対処のための専門相談を行いました。

【主な内容】

1 特別相談事業 【予算：2,016千円、決算：2,010千円】

区民が日常生活で直面する問題に対処するため、専門家による無料相談事業を行いました。

【特別相談実施概要】

相談名	内 容	相談員	実施日時
法律相談	離婚、相続、金銭、近隣問題など 法律問題全般について	弁護士	水曜日及び (8月を除く) 第1・3木曜日 13:00～16:00
司法書士 相談	債務整理 (140万円以下)、 不動産登記、相続、成年後見など	認定司法書士	第1火曜日 13:00～16:00
公証相談	遺言、任意後見、賃貸借契約など の公正証書について	公証人	第2木曜日 13:00～15:00
交通事故 相談	示談の方法、保険金請求など	交通事故相談員	第3金曜日 9:00～12:00 13:00～16:00
行政相談	国の仕事・制度についての苦情・ 要望など	行政相談委員	第2火曜日 13:00～15:00

【特別相談・広聴・窓口案内件数】(単位：件)

年度		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
特別 相談	法律相談	420	448	460	456	465
	司法書士相談	57	70	103	68	67
	公証相談	8	14	20	15	26
	交通事故相談	6	4	2	2	2
	行政相談	0	5	13	13	8
広聴事業		1,049	800	729	721	908
窓口案内		61,006	57,908	46,757	52,517	58,189

事業名・所管課	予算(A)	決算(B)	差▲引(A-B)
《参考》統合事業費 青少年活動支援事業	3,083,000円	2,843,306円	239,694円
地域振興課・こども家庭支援課	差引理由	交付申請額の減	

【事業の概要】

青少年の健全育成のため、地域における青少年指導員の活動を支援し、青少年が健やかに育つ環境をつくるため、社会環境健全化活動を行いました。

【主な内容】

1 青少年指導員事業 【予算：2,273千円、決算：2,273千円】

- ・自然体験教室（6月）
- ・全市一斉統一行動パトロール活動（7月）
- ・社会環境実態調査（7月～9月）
- ・全市統一行動キャンペーン活動（11月）
- ・広報紙の発行（9月・3月）



【自然体験教室】



【全市一斉統一行動パトロール活動】

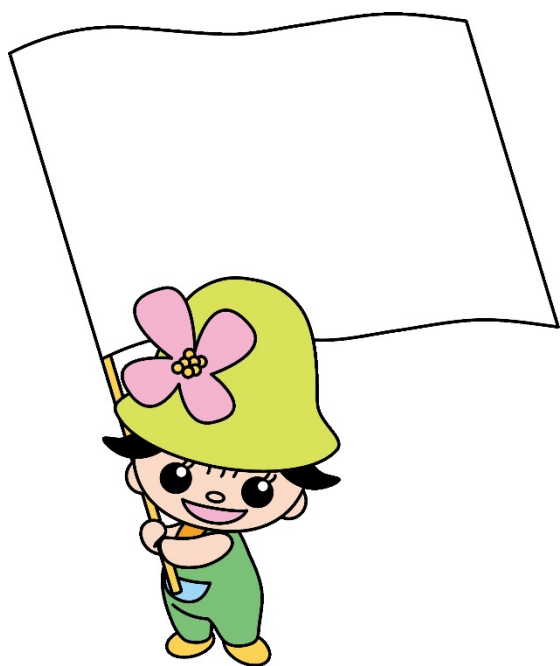
【自然体験教室への参加人数】

年 度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
人 数			66人	24人	37人
実施場所	中止	天候不良により中止	ソレイユの丘	新横浜公園 鶴見川流域センター	三ツ沢公園青少年 野外活動センター
実施内容			クラフト体験 (万華鏡づくり) フォトラリー	ウォークラリー	焼きそば作り ネイチャービンゴ

※3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

2 学校・家庭・地域連携事業 【予算：810千円、決算：570千円】

中学校区ごとに設けられている学校・家庭・地域連携事業実行委員会（9団体）へ補助金を交付しました。学校・家庭・地域が一体となり、青少年の問題行動等の防止及び健全育成を図りました。



資料2

令和8年第3回
区づくり推進横浜市議員会議資料
令和8年9月3日
港 北 区

令和8年度 個性ある区づくり推進費 執 行 状 況



©横浜市港北区ミズキー

港 北 区

令和8年度個性ある区づくり推進費 予算総括説明書

1 総括表

(単位:千円)

	予算額	執行額	執行率 ※7月末時点
(1) 自主企画事業費	109,372	58,975	53.9%
(2) 統合事務事業費	52,011	34,808	66.9%
統合事務費	27,836	11,796	42.4%
統合事業費	24,175	23,012	95.2%
(3) 区庁舎・区民利用施設管理費	817,137	771,837	94.5%
合 計	978,520	865,620	88.5%

2 内訳

(1) 自主企画事業費

※詳細は3ページ以降に記載

(単位:千円)

区 分	予 算 額	執行額	執行率	主な事業名
1 安心・安全なまちづくり	29,534	15,836	53.6%	・災害に強いまちづくり推進事業 ・交通安全 無事故でカエル事業
2 地域で支えあう 福祉・保健のまちづくり	25,147	15,265	60.7%	・地域子育てサポート事業 ・困難な状況にある児童・家庭等への支援事業
3 活気にあふれるまちづくり	38,216	24,024	62.9%	・育もう「ふるさと港北」事業 ・地域のチカラ応援事業
4 区民サービス 向上に向けた取組	16,475	3,849	23.4%	・区民サービス向上・環境改善 促進事業 ・戸籍課案内サービス向上事業
合 計	109,372	58,975	53.9%	

注) 各項目で千円未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

(2) 統合事務事業費

(単位:千円)

区 分	予算額	主な事業内容
統合事務費	27,836	・区役所業務の事務経費
統合事業費	24,175	・広報よこはま区版発行事業 ・青少年活動支援事業
合 計	52,011	

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位:千円)

区 分	予 算 額	施設、事業内容
区庁舎等	154,259	・港北区総合庁舎 ・行政サービスコーナー(2か所) ・港北区区民活動支援センター ・港北土木事務所
公会堂	28,870	・港北公会堂
地区センター・スポーツ会館	261,766	・地区センター(6か所) ・小机スポーツ会館
ログハウス	10,409	・綱島公園こどもログハウス
区民文化センター	150,050	・港北区民文化センター
老人福祉センター	48,147	・老人福祉センター菊名寿楽荘
コミュニティハウス	115,424	・コミュニティハウス(4か所) ・学校施設活用型コミュニティハウス(3か所)
スポーツセンター	30,588	・港北スポーツセンター
広場・遊び場	1,011	・遊び場等(13か所)
国際交流ラウンジ	15,210	・港北国際交流ラウンジ
区民利用施設修繕費	1,403	・小破修繕等
合 計	817,137	

注) 各項目で千円未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

事 業 名	掲載頁
自主企画事業	
1 安心・安全なまちづくり	
(1) 災害に強いまちづくり推進事業	4
(2) 災害時医療整備事業	11
(3) 地域における災害時要援護者支援推進事業	12
(4) 港北AAA(安全で安心な明日を) 地域防犯力向上作戦	14
(5) 交通安全 無事故でカエル事業	17
(6) 放置自転車対策事業	19
(7) 快適な暮らしの衛生応援事業	20
2 地域で支えあう福祉・保健のまちづくり	
(1) 「ひととプラン港北」推進事業	21
(2) 地域子育てサポート事業	22
(3) 食育推進事業	26
(4) 保育所支援・情報提供事業	28
(5) 港北区放課後児童健全育成強化・情報提供事業	30
(6) 困難な状況にある児童・家庭等への支援事業	31
(7) 高齢者・障害者支え合い推進事業	34
(8) 健康こうほく21事業	38
3 活気にあふれるまちづくり	
(1) 育もう「ふるさと港北」事業	39
(2) 地域振興活動事業	42
(3) 地域のチカラ応援事業	44
(4) 区民活動支援事業	46
(5) 読書活動推進事業	47
(6) 地域スポーツ推進事業	50
(7) 芸術文化振興事業	53
(8) 港北区商店街活性化事業	55
(9) 港北オープンファクトリー事業	57
(10) まちづくり調整費	58
(11) GREEN×EXPO 2027・脱炭素推進事業	60
(12) こうほく プラ5.3推進事業	63
(13) 港北オープンガーデン事業	66
4 区民サービス向上に向けた取組	
(1) 区民サービス向上・環境改善促進事業	68
(2) 区民利用施設環境改善事業	69
(3) 戸籍課案内サービス向上事業	70
(4) 港北区PR情報発信事業	72
(5) 「仕事力向上」職員育成事業	73
《参考》統合事業費	
広報よこはま区版発行事業	74
広聴相談事業	75
青少年活動支援事業	76
緊急時情報伝達システム運用事業 ※災害に強いまちづくり推進事業の頁に掲載	10
スポーツ推進委員支援事業 ※地域スポーツ推進事業の頁に掲載	52
クリーンタウン横浜事業 ※こうほく プラ5.3推進事業の頁に掲載	64
学校・家庭・地域連携事業 ※青少年活動支援事業の頁に掲載	76

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
1 - (1) 災害に強いまちづくり推進事業	18,131千円	9,544千円	52.6%
総務課			

【事業の概要】

令和7年度に策定された横浜市地震防災戦略をふまえながら、災害発生時の被害を最小限に留めるための各種取組を行います。

地域向けの啓発事業を実施し、一人ひとりの自助・共助による備えの重要性を伝え、具体的な行動に結びつけるほか、地域防災拠点の円滑な運営を支援するため、資機材の配備・更新や取扱講習を行います。

また、区災害対策本部の運営体制を強化するため、通信手段や電源の確保、訓練・研修等を行います。

【主な内容】

1 自助・共助の啓発事業 【(8) 10,755千円、(7) 10,075千円】

(1) ローリングストックの啓発リーフレットの作成《新規》

発災時に自宅が倒壊や焼損、浸水の危険がない場合、在宅避難ができるよう、個人での備えを促進するため、気軽に始められる水や食料を中心としたローリングストックの始め方を周知するリーフレットを作成し、大規模商業施設等のイベントでの配布や防災キャラバン等でリーフレットを活用した啓発を実施します。あわせて、外国人向けに英語版のリーフレットを作成します(10月)。

(2) 中学生向け防災啓発資料の作成・配付《新規》

中学生を対象に、災害のリスクや発災時の身の守り方を伝えるとともに、発災時に地域防災拠点や地域を支える担い手となる意識を育むことを目的とした冊子を作成します。冊子は、区内の公立中学校へ配付するほか、中学校での出前授業等で活用し、若年層の防災意識の向上につなげます(10月)。



【小学生向け防災ハンドブック (R7 作成)】

(3) 両親教室での妊産婦・子育て世代向け防災講話の実施《新規》

妊婦とそのパートナーを対象に、妊娠・出産・子育てについて学ぶことのできる両親教室において、日ごろから必要な備えや発災時の適切な避難行動を伝える講話を実施します(毎月1回、計12回)。また、参加者へ啓発グッズ(使い切り授乳カップ)を配布し、備蓄を促すきっかけとします。

【両親教室における防災講話】

参加者数：計 157 人

4 月 28 人

5 月 23 人

6 月 38 人

7 月 23 人

8 月 45 人



(4) 帰宅困難者抑制に向けた広報活動の実施《拡充》

区内主要駅（日吉駅、新横浜駅、菊名駅）において、防災月間（9月）や東日本大震災の日（3月）に合わせて、駅の広告掲示を活用した災害時における一斉帰宅の抑制や職場での備蓄等を勧める広報活動を行います。

また、新横浜駅では、横浜グリーンエキスポの開催に伴う観光客等の増加を見据え、災害時に、帰宅困難者一時滞在施設の開設情報等を駅の滞留者に速やかに発信するためのデジタルサイネージを交通広場に設置し、駅周辺の混乱防止を図ります。なお、平常時は備蓄促進に関する啓発や各課の区政情報の発信に活用しています（4月）。

(5) 防災キャラバンの実施

区民の防災意識向上につなげるため、地域のニーズに応じた啓発活動を行い、自治会町内会や区内小学校等の希望する団体に、専門家による講演を行う防災キャラバンを実施します（6～12月、12回程度）。

【防災キャラバンの実施テーマ（令和8年度）】

	テーマ	内容	8年度申込数(7月末時点)
1	在宅避難に備えるトイレ対策（新）	災害時のトイレ対策や、安心して自宅で過ごすための工夫について、自分事として考える講義	5回
2	防災食	災害時の食品のローリングストックや備蓄食料の調理法の講義、体験	2回
3	発災時のトイレ問題	災害時に安心して使用できるトイレ環境の確保についての講義	2回
4	マンション防災	マンション特有の防災対策についての講義	1回
5	神奈川県に想定されている地震と自助・共助による対策（新）	神奈川県に想定される地震の概要や備えについての講義	1回
6	風水害について（新）	近年の気象現象、気象災害及びいざというときの避難行動に関する講義	1回
7	河川防災	鶴見川水系の河川防災に関する基礎知識についての講義	0回
8	建築物の防災	①木造住宅の危険性の正確な理解と安全対策についての講義 ②既存ブロック塀等の安全点検についての講義	0回
9	首都直下型地震や風水害を克服するまちづくり	地域の地質と災害リスクの読み取りから、被害を最小限にする防災組織と連携づくり、地区防災計画の作成等を講義・助言	0回
10	知的障害や自閉症の方への支援	災害時の知的障害や自閉症の方向けの支援について、当事者からの講義やコミュニケーションボードの使用方法説明等	0回
合 計			12回

《参考》防災講話の実施

区内の団体等からの希望により、区防災担当職員が防災講話を実施します。講話のテーマは地震・風水害への備えを中心に、団体の希望する内容を伺ったうえで調整します（通年）。

【防災キャラバン及び防災講話の参加人数】

年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度※ (7 月末時点申込数)
防災キャラバン	296人	468人	758人	491人	400人
防災講話	1,008人	1,018人	1,529人	1,200人	155人
合計	1,304人	1,486人	2,287人	1,691人	555人



【防災キャラバン】

(6) 港北支えあい防災教室の実施

要援護者に関わるケアマネジャーや要配慮者施設（高齢者施設、保育所等）の職員が防災に関する基礎知識に加えて、職種や施設の特徴に応じた知識を得ることができるよう、研修会を実施します（1回目：7月31日参加者29人、2回目：10月、計2回）。



【港北支えあい防災教室】

(7) 区内の事業者や大規模商業施設等と連携した防災啓発の実施

区内の大規模商業施設等と連携し、啓発イベントへの参加や訓練等を行っています。

・「港北シェイクアウト！」の実施

大地震発生時に一人ひとりの命を守るための初動対応訓練を、区民や区内事業者の参加を募り、大規模商業施設等と連携して実施します。

・防災イベントへの出展等

大規模商業施設が開催する防災イベント等に出展し、来場者に啓発を行います。

【参加する防災啓発イベント】

時期	施設等名称	イベント名	啓発実施内容
9月2日(水) ～6日(日)	トレッサ横浜	トレッサ防災フェア	パネル展示、 啓発資料配布、 ワークショップ 等
11月23日(月)	横浜アリーナ	ふるさと港北 ふれあいまつり	
1月	イオン横浜新吉田店	名称調整中	
3月	アピタテラス 横浜綱島	こども防災フェア	



【トレッサ防災フェア】



【こども防災フェア】

(8) まるごとまちごとハザードマップの設置

生活する地域における洪水の危険性を実感し、適切な避難行動につなげるため、想定浸水深や避難場所を示した看板等を、菊名地区、高田地区、師岡地区及び篠原地区の洪水浸水想定区域内の「まちなか」の電柱に設置します。地区内の設置場所は地区定例会を通じて地域と調整しながら決定します(1～3月)。

【看板の設置状況及び今後の予定】

年度	地区	設置箇所数	
4年度	大倉山	50	100
	綱島	50	
5年度	城郷	50	99
	新羽	49	
6年度	新吉田	60	90
	新吉田あすなろ		
	樽町	30	
7年度	日吉	60	80
	大曽根	20	
8年度 (予定)	菊名	55	90
	高田	20	
	師岡	10	
	篠原	5	
計	13地区		459



【想定浸水深を表示した看板と浸水深の高さに設置したテープ

【大曽根地区】

(9) がけ地相談会の実施

区内のがけ地周辺の土地が所有者によって適切に管理され、土砂災害の被害を抑制するため、地盤の専門家である地盤品質判定士が、相談を希望する参加者の管理するがけ地の状況を分析し、対応の必要性を検討する相談会を区独自に実施しました（6月14日及び15日、（1日5組（計10組））。



【がけ地相談会】

(10) 各種防災啓発用資料の更新、印刷

日頃から区民が自宅等の危険性や災害時の避難場所を確認できるよう、港北区防災・区民生活マップやハザードマップ等の啓発用資料を増刷して配布します（5,000部）。特に、大雨時の避難行動を促す冊子については、新たな防災気象情報の運用に合わせて更新しました（1,500部、5～6月）。

2 避難所等の環境改善及び運営支援 【（8）3,640千円、（7）5,660千円】

(1) ニーズに沿った地域防災拠点備蓄倉庫への資機材配備《新規》

地域防災拠点運営委員から必要な資機材等をヒアリングし、各拠点の希望に適った資機材（マグネットライトや収納ボックス、乾電池等）の配備を行います。

(2) 地域防災拠点備蓄倉庫の狭あい化への対応

備蓄倉庫の狭あい化及び備蓄物資の拡充に対応するため、委託事業者による防災備蓄倉庫の整理整頓及び棚卸を行い、地域防災拠点運営委員会の円滑な活動を支援します（8～12月、5拠点）。

(3) 資機材取扱指導員の派遣

災害発生時に資機材を取り扱うことができる人材を安定的に確保するため、資機材取扱指導員を地域防災拠点運営委員会に派遣し、資機材の取扱研修を行います（9～12月、20拠点程度）。

(4) 備蓄資機材の修繕・更新

各地域防災拠点に備蓄されている発電機等の資機材について、地域防災拠点運営委員会の要請等に応じた修繕・更新を行います。

3 区災害対策本部の効率的な設置運営 【（8）3,586千円、（7）4,167千円】

(1) 円滑な連絡体制の確保

大規模災害時においても避難所等の情報受伝達を円滑に行うため、携帯回線を使用するIP無線機や、災害発生時も安定して通信できる地域BWA回線（※）に対応した公用スマートフォン等の各種通信機器を継続して運用します。



【IP 無線機】



【公用スマートフォン】

※地域 BWA とは

市区町村単位で地域事業者が提供する通信システムです。公共サービスに利用することを想定し、大手キャリアとは別に基地局を整備しているため、災害発生時の通信の混雑が発生しにくいとされています。

横浜市では、イツ・コミュニケーションズ㈱が免許を取得しています。

(2) 災害時における避難場所借上げの実施

風水害時等に必要に応じて地区センター等を避難場所として借り上げ、施設使用料を負担します。

(3) 港北区災害対策本部訓練等の実施

区本部機能強化のため、各種訓練等を実施します。

【訓練】

- ・区職員動員訓練（9月～12月）
- ・震災対策本部各班訓練（11月～12月）
- ・震災対策区本部訓練（1月）
- ・区職員安否確認訓練（1月）

【研修】

- ・風水害対策研修（4月）
- ・地域防災拠点参与係長研修（5月）
- ・震災対策研修（9月）
- ・拠点動員者研修（9月）



【風水害対策研修】

(4) 港北区災害対策本部用備品の購入

区本部の安定した運営を確保するため、備蓄食料や夏季の災害現場対応を想定した熱中症や防寒対策用品等の備品を購入します（購入済：スポットクーラー1台）。



【スポットクーラー】

4 各種団体への補助 【(8) 150千円、(7) 150千円】

災害時に円滑なボランティア活動を実施するため、港北区災害ボランティア連絡会にコーディネーターの育成、訓練、必要な資機材の購入費として補助金を交付します。

〔防災・危機管理統括本部再配当予算〕

- ・地域防災力向上事業

地域防災活動奨励助成金 【(8) 3,480 千円、(7) 3,480 千円】

区内 29 か所の地域防災拠点運営委員会へ助成（1 拠点あたり 12 万円交付）

町の防災組織活動費補助金 【(8) 18,232 千円、(7) 18,375 千円】

区内 140 団体の町の防災組織へ補助（1 世帯あたり 160 円交付）

《参考》

統合事業費

緊急時情報伝達システム運用事業【(8) 894 千円、(7) 884 千円】

避難指示等の避難情報を区民に迅速かつ確実に伝えるため、避難情報を発令する区域に居住する配信希望者等を対象に、電話による一斉発信及び応答機能を持つシステムを運用します。

【対象区域内の配信希望者等】(8年7月末時点)

洪水浸水想定区域内の災害時要援護者	2,783人
家屋倒壊等氾濫想定区域内の住民	193人
自治会町内会長(区内全域)	125人
土砂災害警戒情報発表に伴う即時避難指示対象の区域の住民	3人
合計	3,104人

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
1 - (2) 災害時医療整備事業	424千円	153千円	36.1%
福祉保健課			

【事業の概要】

災害時医療等の対策を講じるため、医師会、歯科医師会、薬剤師会（以下「三師会」という。）をはじめとした関係機関との各種会議や医療救護隊の訓練を実施するとともに、災害時の体制維持に向け、必要物品の整備、災害支援ナース（以下「Yナース」という。）の登録促進と育成を進めます。

【主な内容】

1 災害医療体制の整備 【(8) 194千円、(7) 194千円】

(1) 災害医療連絡会議

三師会、Yナース、病院等の医療関係者と、区、警察、消防等の行政機関が参加し、災害時の医療体制及び医療救護活動に関し、意見交換や情報共有を行います。（年3回、6月16日、10月20日、2月16日）



【災害医療連絡会議】

(2) 災害時の医療体制の区民周知

災害時の医療体制や救急医療と災害医療の違い等について、三師会と連携して、チラシの配布やSNS等の電子媒体を活用した広報を行います。

2 医療救護隊訓練の実施 【(8) 15千円、(7) 50千円】

参集実地訓練（12月6日）や地域防災拠点における医療機関報告書持込訓練（9月～11月）、のぼり旗・フラッグ掲出訓練（9月1日～7日、1月17日～23日）のほか、医療機関や医療局との通信訓練（医療機関：年4回、医療局：年6回）を実施します。

【訓練の参加人数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	<u>8年度 (7月末)</u>
参集実地訓練（人数）	70人	64人	70人	73人	—
報告書持込訓練 （参加医療機関数）	41機関 （3拠点）	52機関 （5拠点）	74機関 （7拠点）	69機関 （6拠点）	—

3 医療救護隊用装備品の整備 【(8) 195千円、(7) 160千円】

- ・医療救護隊等による定点診療や巡回診療に必要な装備品を整備します。

4 災害支援ナース（Yナース）の登録促進と育成 【(8) 20千円、(7) 20千円】

- ・広報よこはま区版やSNS等の電子媒体、リーフレットによる登録勧奨を行います。
- ・Yナース連絡会を開催します。（年1回、11月）

【Yナース登録者数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	<u>8年度 (7月末)</u>
登録人数	66人	66人	66人	70人	<u>71人</u>

1 - (3) 地域における災害時要援護者支援推進事業

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
1 - (3) 地域における災害時 要援護者支援推進事業	1,633千円	161千円	9.9%
高齢・障害支援課			

【事業の概要】

地域の方と災害時要援護者（以下「要援護者」という。）との平常時の関係構築と防災意識醸成の取組を推進するため、地域への情報提供に同意をいただいた要援護者宅への訪問用の防災物品と啓発チラシを作成・配付するとともに、要援護者を含む市民に対し、要援護者支援の理解を深めるための啓発を推進します。

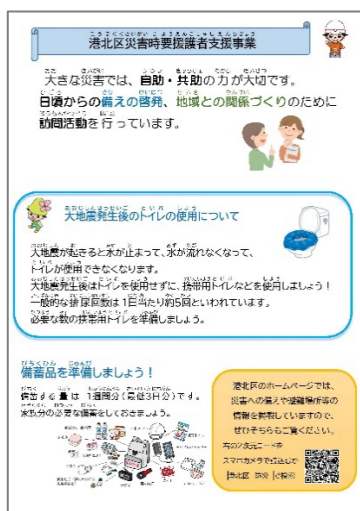
また、区内協力企業等による、長期停電時における要電源医療機器利用者へのバッテリーの貸出し・充電等の支援を行います。

【主な内容】

1 災害時要援護者啓発推進事業 【(8) 1,619千円、(7) 1,120千円】《拡充》

地域の支援者を対象に、災害用備蓄品及び防災情報の啓発チラシを配付し、要援護者名簿に掲載された方のうち、地域への情報提供に同意いただいた方への訪問時にお渡ししていただくことで、支援者と要援護者の関係構築及び防災意識の醸成を進めます（3月、災害用備蓄品6,000個、啓発チラシ6,000部）。

また、地域の支援者に向けて事業概要リーフレットを配付するとともに、市民に向けて、新たに要援護者支援の理解を深めるための動画の作成・配信等を行い、啓発を推進します（10月～3月）。



【備蓄品と啓発チラシ】



【事業概要リーフレット】

[健康福祉局再配当予算]

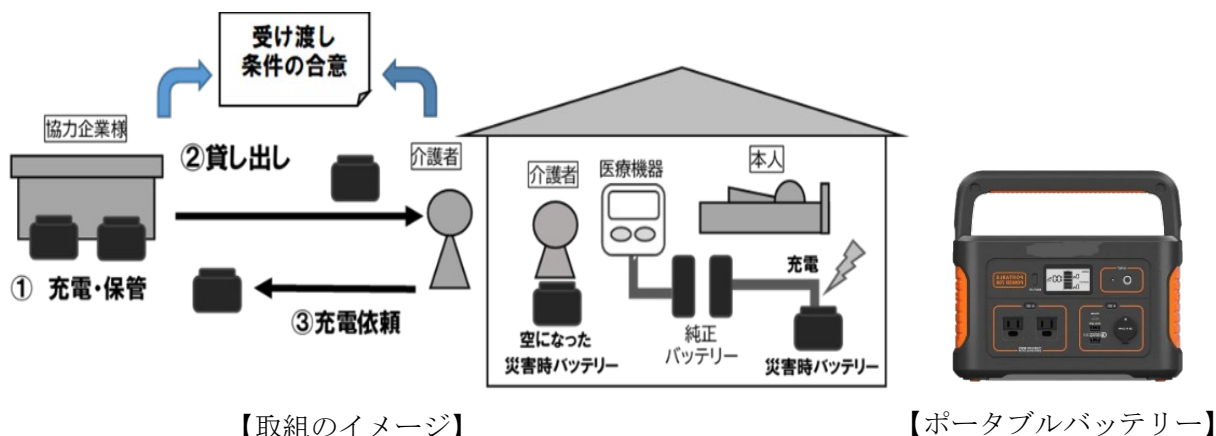
・災害時要援護者支援事業 【(8) 2,100千円、(7) 2,100千円】

災害対策基本法に基づき、災害時に自力で避難することが困難な方（高齢者、障害者等）を対象とした名簿を作成し、協定を結んだ自治会町内会に名簿を提供します。

2 要電源医療機器利用者支援事業 【(8) 14千円、(7) 225千円】

区内の協力企業に災害時用のポータブルバッテリーを貸与し、協力企業による共助の取組として、長期停電時に要電源医療機器利用者に充電済みのバッテリーを貸し出すほか、利用者が所有する医療機器用バッテリーの充電などの支援を行います（通年、協定締結企業12社、利用者7人）。

また、健康福祉局及び医療局による事業が拡充されたことから、併せて周知を図ります。



協力企業は区が用意したポータブルバッテリーを使い、次のサイクルを作ります。

- ① 平常時は充電・保管
- ② 1日超の長期停電時に貸出し
- ③ 対象者のバッテリーの充電

《参考》

【港北区における人工呼吸器等要電源医療的ケア児・者災害時個別避難計画（医療局事業）の作成状況（令和7年度）】

- ・ 計画作成の同意書取得数 19人
- ・ 計画作成完了数 5人

《参考》

〔健康福祉局事業〕

- ・ 横浜市要電源障害児者等災害時電源確保支援事業

災害等による停電時の備えとして、電源が必要な医療機器を在宅で使用している方に対し、蓄電池等の非常用電源装置の給付を行います（収入により給付上限額あり）。

〔医療局事業〕

- ・ 人工呼吸器等要電源医療的ケア児・者等災害時個別避難計画の作成

電源が必要な医療機器を在宅で使用している方のうち、災害時に電源確保等の支援が必要な方について、個別避難計画を作成します。

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
1-(4) 港北AAA (安全で安心な明日を) 地域防犯力向上作戦	1,332千円	242千円	18.2%
地域振興課			

【事業の概要】

安全で安心なまちづくりを目指し、地域団体、事業者、行政機関等が協働して防犯活動に取り組めます。各団体と連携して特殊詐欺被害防止啓発物品の積極的な配布、高齢者に向けた防犯啓発、自治会町内会による防犯活動の物品配布やメールでの区内犯罪発生情報の発信など、区民の防犯活動支援と犯罪発生情報提供を実施します。

【主な内容】

1 防犯啓発活動事業 【(8) 772千円、(7) 472千円】

(1) 港北AAA作戦会議の開催

警察や港北企業防犯協会等の防犯関係団体、地域、学校、事業者70団体による「港北AAA作戦会議」を開催しました(6月)。また、地域の防犯力向上の活動への支援に取り組んでいます。

地域の取組事例：見守りサービス(郵便局)、セーフティーステーション活動(コンビニエンスストア)、防犯パトロール(自治会町内会、商店街他)など

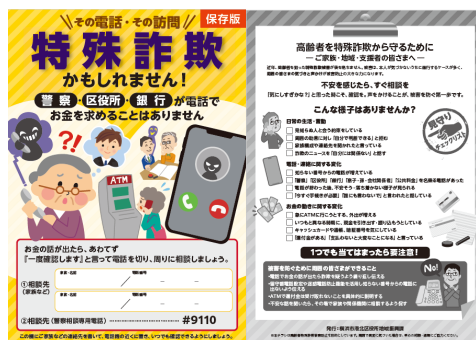
(2) 高齢者向け防犯・安全対策の実施《拡充》

被害が急増している高齢者の特殊詐欺被害防止を中心とした防犯啓発を、警察と連携しながら、地域イベントや自治会町内会、商店街、薬局等の身近な場所で新たに実施します。さらに高齢者本人に加え、その支援者など高齢者と日常的に関わる方たちも対象にすることで、多角的な啓発を展開します。

啓発チラシ及びグッズの作成(6月、5,000部)・配布(通年)

配布先の例：

- ・高齢者施設等への配布
- ・港北区薬剤師会への依頼を通じた区内調剤薬局への配布
- ・区商店街連合会への依頼を通じた区内商店街店舗への配布 など



【啓発チラシ(表・裏)】



【啓発グッズ】

(3) 防犯パトロール関連物品等の作製・配布

「のぼり旗」や「ベスト」等、防犯活動を行う際に団体が使用する物品を作製・配布し、地域の防犯活動を支援しています。

(4) 青色防犯灯装備車によるパトロール

警察の講習を受けた区職員が、週1回、犯罪発生地域を中心に青色防犯灯装備車で巡回し、放送による防犯啓発を行います。子どもの下校時間に合わせた見守りを行うとともに、警察と特殊詐欺等犯罪発生状況を共有し、手口が多様化している詐欺等その時々状況に合わせた注意を放送で呼びかけます。

(5) 港北区安全・安心のつどいの開催（「交通安全 無事故でカエル事業」に掲載）

交通安全功労者表彰等と併せて、防犯功労者表彰や防犯講話を公会堂で実施します（12月）。

2 特殊詐欺対策機器設置啓発事業 【(8) 500千円、(7) 500千円】

特殊詐欺被害が市内18区の中で多いことから、警察と連携し、行政主催会議や、ふるさと港北ふれあいまつりなどのイベント等を通じて特殊詐欺被害防止の啓発を行います。

特殊詐欺の多くが国際電話番号を利用して行われていることから、固定電話における国際電話利用休止サービスについて、区ホームページ等を通じて周知を行いました（7月）。

《参考》

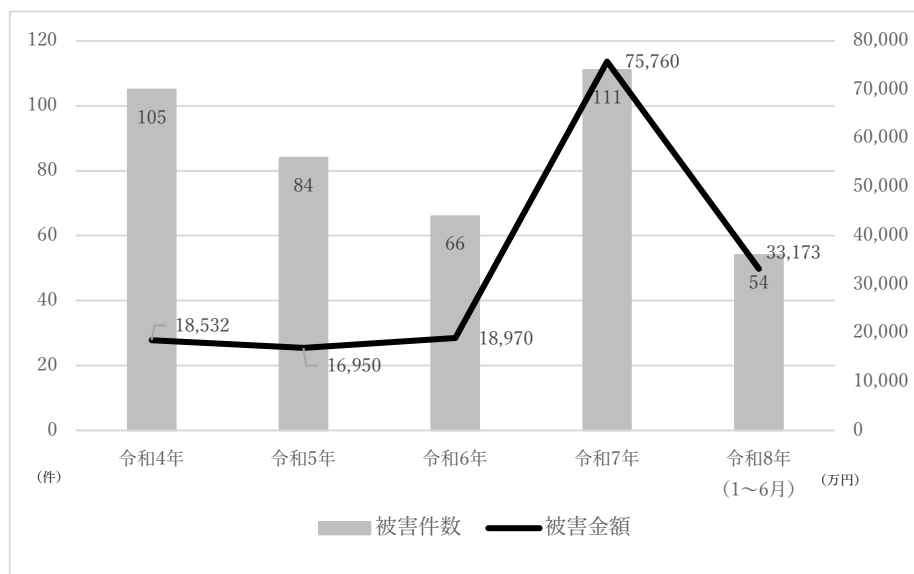
[市民局再配当予算]

・地域防犯啓発事業 【(8) 40千円、(7) 50千円】

自治会町内会や高齢者向けに、被害の大きい特殊詐欺被害防止啓発グッズを購入し配布します。

・ながら見守り強化事業 【(8) 50千円、(7) 0千円】

ながら見守り強化のための防犯活動を支援するため、グッズを購入し配布します。



【港北区内の特殊詐欺被害状況】

3 防犯情報メール配信事業 【(8) 60千円、(7) 110千円】

防犯情報メールの登録者へ、特殊詐欺を含む警察から情報提供があった犯罪発生状況や特殊詐欺警報等を、メール及びFAXで「防犯情報メール」として配信します。

【防犯情報メール登録者数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度 (7月末)
延べ登録者数	11,569人	11,778人	11,964人	12,201人	12,233人

《参考》【港北区内犯罪発生状況（暦年）】

	4年	5年	6年	7年	8年 (1～6月)
犯罪発生件数	1,426件	1,728件	1,691件	1,759件	844件
特殊詐欺	105件	84件	66件	111件	54件
同被害額	1億8,532 万円	1億6,950 万円	1億8,970 万円	7億5,760 万円	約3億3,173 万円

《参考》【国際電話不取扱受付センター】

固定電話での国際電話の利用を希望しない場合に、国際電話の発信または着信の利用休止に関する申込ができます。

みんなでとめよう!!
国際電話詐欺
みんなとめ

+(国番号)から始まる国際電話番号に注意!
詐欺の犯人は国際電話番号を使って詐欺の電話をかけています。

特殊詐欺の犯行に利用された国際電話番号の件数
(未決等含む) (前年比)
増加傾向
n14,000 n45,000 n93,000 (件数)

被害の多くは**60～80歳代**
国際電話の発信・着信は**無償で休止できます!**

固定電話
国際電話不取扱受付センター
0120-210-364
オペレーター専用：平日、午前9時から午後5時まで
自動音声案内：平日、土日祝24時間

Webからの申し込み

スマートフォンの場合
20～30歳代の被害が増加
携帯電話の発信設定を正しく行いましょう
キャリアの着信拒否サービスや電話着信規制アプリのご利用をおすすめしています

警察庁 港北警察署
警察110番
05647 特殊詐欺対策支援ページ
みんなとめ 女検察!

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
1-(5) 交通安全 無事故で カエル事業	5,653千円	4,927千円	87.2%
地域振興課			

【事業の概要】

区民の交通安全意識を高め、交通事故を未然に防止するため、交通安全対策協議会をはじめとした関係団体と協力し、子どもから高齢者まで幅広い世代に向けた啓発活動を行います。

また、令和8年4月から導入された自転車に対する交通反則通告制度（青切符）を踏まえ、街頭啓発や区内イベントを行い、自転車利用時の交通ルールの周知をより一層強化しています。

【主な内容】

1 交通安全運動事業 【(8) 833千円、(7) 333千円】

(1) 各種交通安全キャンペーンの実施

- ・春の全国交通安全運動キャンペーン（4月6日 新横浜駅）
- ・夏の交通事故防止運動キャンペーン（7月10日 日吉駅）
- ・秋の全国交通安全運動キャンペーン（9月13日 トレッサ横浜）
- ・年末の交通事故防止運動キャンペーン（12月10日 新横浜駅）
- ・自転車マナーアップキャンペーン（5月8日 アピタ横浜綱島店）
- ・二輪車交通事故防止・暴走族追放強化月間キャンペーン（6月2日 綱島）



【各種交通安全キャンペーン】

(2) 交通安全啓発の実施《拡充》

- ・SNS等を活用した情報発信（通年）
- ・区内企業主催イベントにおいて港北警察と連携した交通安全啓発（通年）
- ・防犯功労者表彰等と併せて、交通安全講話等をプログラムとした「安全・安心のつどい」を開催（12月3日）
- ・自転車の交通ルールについて、若年層を主な対象とした啓発動画や高齢者向けのチラシを作成し、公共施設等での発信や駐輪場でのキャンペーン等を実施（通年）



【啓発動画の作成】



【港北区安全・安心のつどい】



【区内イベントでの啓発】

2 子育て関連施設交通安全対策事業 【(8) 528千円、(7) 102千円】

子育て施設周辺の安全対策として、運転者に施設の存在を知らせ、子どもの飛び出しへの注意を促す看板を保育所や幼稚園等へ配付します。(160箇所程度)

3 児童交通安全対策事業 【(8) 4,042千円、(7) 4,305千円】

- 区内小学校の新入生を対象としたランドセルカバー贈呈(4月7日)

- 区内全小学校全26校における「はまっ子交通あんぜん教室」

※低学年向けに歩行者教室、高学年向けに自転車教室を実施しました。

雨天時は、「児童向けはまっ子交通あんぜん教室」動画による啓発を行いました。

- 区内中学校(毎年1校)におけるスケアードストレイト方式による交通安全教室(12月11日)

- 交通安全ポスターコンクール(8～9月募集)と表彰(12月3日)

※各小学校児童の応募作品の中から優秀賞12作品を選定し、翌年の交通安全カレンダーに使用します。

- 区内スクールゾーン対策協議会に対する助成金交付

- スクールゾーン路面標示及びスクールゾーン電柱巻看板等の更新・設置



【ランドセルカバー贈呈式】



【はまっこ交通安全教室】



【交通安全カレンダー】



【スクールゾーン路面標示・電柱巻】



4 高齢者交通安全対策事業 【(8) 250千円、(7) 200千円】

- 交通安全シルバーリーダー連絡協議会総会(5月27日)

- 高齢者を対象としたシルバーウォークラリー及びシルバードライビングスクール等の交通安全教室(4月は荒天により中止、9月30日、12月)

- 高齢者が集まる地域ケアプラザやデイサービス等における免許返納の推進や交通安全の啓発(通年)

事業名・所管課	予算額	7 月末執行額	7 月末執行率
1 - (6) 放置自転車対策事業	1,095千円	300千円	27.4%
地域振興課			

【事業の概要】

駅前における歩行者の安全を確保するため、自転車等利用者に対する意識・行動調査を行うとともに、各駅自転車等放置防止推進協議会（以下、「協議会」という。）の活動やキャンペーン活動を支援することで自転車等の放置防止を図ります。

【主な内容】

1 地域活動事業 【(8) 1,095千円、(7) 480千円】

(1) 自転車利用者を対象としたアンケート調査《新規》

- ・区内で特に放置自転車等の多い綱島・新綱島駅及び日吉駅等において、自転車利用者を対象に意識・行動調査を実施します。（下半期）。

(2) 各駅自転車等放置防止推進協議会への補助・支援

- ・区内の協議会に対する活動費の助成（11協議会、8月）
- ・協議会が放置自転車クリーンキャンペーン等の活動を行う際に使用する物品等を配付し、協議会の活動を支援します（通年）。
- ・駅ごとの放置状況や啓発方法等に関する情報共有を目的として、各協議会の代表による「港北区自転車等放置防止推進協議会連絡会」を開催します（2月）。



【放置自転車クリーンキャンペーン】

【区内全駅の1日における放置台数（合計）】

年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
放置台数	214台	330台	181台	352台	386台
駐輪場収容台数	20,039台	19,461台	20,036台	20,425台	20,181台
駐輪場利用台数	17,740台	19,329台	18,436台	19,101台	20,042台

※「横浜市鉄道駅周辺放置自転車等実態に関する調査」より抜粋
（11月の平日の晴天時、午前10時から午後2時までに放置されていた台数）

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
1-(7) 快適な暮らしの衛生 応援事業	1,266千円	509千円	40.2%
生活衛生課			

【事業の概要】

区民等からの食中毒、衛生害虫及びペットに関する相談に対し、原因調査や関係者への助言指導等を行うとともに、区ホームページやSNSを積極的に活用し、食品衛生、環境衛生及び動物愛護に関する知識の普及啓発を行い、区民の安全で快適な暮らしを支援します。

【主な内容】

1 食中毒・感染症防止対策事業 【(8) 464千円、(7) 464千円】

イラストや動画を掲載したSNSを発信し、区ホームページを活用して食中毒・感染症予防啓発を推進します。更に、啓発効果を高めるため、引き続き、YouTube動画広告※を掲載するほか、デジタルサイネージを活用します。※令和7年度 広告視聴回数：147,455回

【食中毒・感染症発生件数】

暦年		4年	5年	6年	7年	8年 (7月末)
食中毒	件数	2件	0件	3件	1件	0件
	患者数	4人	0人	16人	3人	0人
感染症※	件数	43件	41件	33件	45件	25件
	患者数	202人	731人	468人	506人	242人

※ノロウイルス、腸管出血性大腸菌等

2 住まいの衛生及びペットに関する相談・啓発事業 【(8) 802千円、(7) 702千円】《拡充》

衛生害虫やペットのマナー等の相談受付及び災害時ペット対策の啓発を推進します。

- ・ハチ、ねずみ等衛生害虫に関する相談受付、駆除機材の貸出（通年）
- ・ペットの適正飼育に関する相談受付、啓発・指導（通年）
- ・狂犬病予防注射集合会場での飼い主向け啓発（4月4日・5日・12日・18日、延べ471人）
- ・地域防災拠点運営委員会等へのペット対策啓発、YouTube 動画広告※掲載（5月～12月）

※令和7年度 広告視聴回数：158,182回

【衛生害虫・ペット関係の相談件数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度 (7月末)
衛生害虫	496件	378件	434件	398件	196件
ペット	126件	120件	127件	178件	60件



【マナー・防災に関する啓発資料、動画】

【ペットのマナー・防災対策教室】

2-(1)「ひっとプラン港北」推進事業

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
2-(1) 「ひっとプラン港北」 推進事業	1,258千円	512千円	40.7%
福祉保健課			

【事業の概要】

近隣関係の希薄化や支援を必要とする高齢者等の増加など、多様な福祉保健課題を解決するため、「港北区地域福祉保健計画」（以下「ひっとプラン港北」という。）の第5期計画（令和8～12年度）を推進するとともに、13地区で策定された地区別計画の推進を支援し、助け合い・支え合いのある安心して暮らせるまちを目指します。

令和8年度は第5期計画の初年度として、計画の周知を図りながら、区計画の推進と地区別計画の取組を後押しします。

【主な内容】

1 ひっとプラン港北推進事業 【(8) 1,258千円、(7) 1,768千円】

(1) 第5期計画の推進

- ・「ひっとプラン港北」担当の全職員向け研修を実施しました。（5月15日、21日、29日）
- ・「ひっとプラン港北」策定推進会議（7月8日・2月）
- ・「ひっとプラン港北」の説明動画を作成し、地域での説明やサポートスタッフへの研修時に活用します。（10月）
- ・各地区別計画策定推進委員会等をサポートスタッフ※が支援します。（随時）



【策定推進会議の様子】

※サポートスタッフ…地区別計画の推進支援を行う、区役所、区社協、地域ケアプラザの3者が連携して設置する支援体制

(2) 第5期計画の周知

- ・第5期計画を、地域関係者・関係機関や新たな層である若年層・働き世代等に向け、様々な場所やイベントで周知します。（通年）お祭り等イベントでの配布実績：7イベント（5地区）
- ・普及啓発物品の作成（7月～）
- ・区民フォーラムの開催（10月）区民祭りにおける啓発（11月）
- ・小学校や地域団体等において出張講座を開催し、ひっとプラン港北への理解を促進します。（通年）
- ・計画冊子、概要版、地区別計画を印刷・配布します。（随時）



【地域イベントでの啓発】

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
2-(2) 地域子育てサポート事業	8,678千円	6,674千円	76.9%
こども家庭支援課			

【事業の概要】

全ての妊産婦とそのパートナー及び子育て中の保護者が妊娠中から子育てのイメージを持ち、誰もが安心して出産・子育てができ、気持ちに余裕を持って子どもに向き合うことができるよう、子育てひろばや地域両親教室の利用促進及び赤ちゃん会の開催などにより、子育てしやすい環境を充実させます。

【主な内容】

1 「にんしん・あんしん・つながり」事業 【(8) 1,969千円、(7) 1,852千円】《拡充》

- ・子育ての相談ができる場所や親子の居場所がわからないという声を踏まえて、妊娠期から安心して出産・子育てができるように、妊産婦や転入者を対象に「親と子のつどいの広場」の利用促進に取り組みます（令和7年度に内容を見直した取組※¹を通年で提供します）。

※1：記念品付き体験券の配布、妊婦体験・沐浴体験、地域の子育て情報の提供、ミズキーを背景に記念写真撮影

- ・「親と子のつどいの広場」で土曜日を中心にマタニティプログラム※²を実施します（5か所、各年4回以上）。

※2：同じ地域に住む先輩保護者や他の育児家庭との交流、沐浴などの子育て体験等

- ・港北区内各所において実施する両親教室等の妊娠期プログラムの情報を一元化したリーフレットを作成、配布し、身近な地域の居場所や区民利用施設で利用できる妊娠期プログラムを案内します。
- ・パマトコ等を活用し、妊娠期プログラムの広報を行います。

【マタニティプログラム実施施設数・実施回数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度 (7月末)
実施施設数	6施設	4施設	5施設	5施設	5施設
実施回数	81回	66回	60回	65回	25回

【親と子のつどいの広場の利用体験券配布枚数・利用延べ件数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度 (7月末)
体験券配布枚数	4,747枚	4,257枚	4,082枚	4,324枚	1,295枚
利用延べ件数	159件	229件	257件	232件	188件

※4年度から利用体験券配布を実施

《参考》

局事業 [こども青少年局事業]

- ・親と子のつどいの広場事業

主に0～3歳の未就学児とその保護者を対象に、利用者同士の交流やつどいの場の提供、育児相談、地域の子育て関連情報の提供などを実施します。

2 地域両親教室事業 【(8) 1,000千円、(7) 1,000千円】

妊娠期から地域の子育て支援施設を利用するきっかけづくり及び仲間づくりのため、第1子を妊娠している妊婦とそのパートナーを対象に、参加しやすい土曜日・日曜日の両親教室を地域子育て支援拠点及び地域ケアプラザで実施します。あわせて、オンライン両親教室も実施します(年60回、うち、土曜・日曜両親教室(対面開催)44回、オンライン両親教室16回)。

【実施回数・参加人数】

土曜・日曜両親教室(対面開催)

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度 (7月末)
実施回数	36回	36回	36回	44回	14回
延べ人数	980人	1,116人	1,162人	1,321人	427人

※日曜日の地域両親教室は令和7年度から実施

オンライン両親教室

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度 (7月末)
実施回数	24回	23回	21回	13回	5回
延べ人数	384人	259人	220人	118人	32人

※4年度から事業開始

[こども青少年局再配当予算]

- ・両親教室【(8) 360千円、(7) 396千円】

第1子を妊娠している妊婦とそのパートナーを対象に、区役所で、妊娠中の過ごし方や出産・子育てについて学ぶ教室を実施します。

3 みんなの両親教室事業 【(8) 102千円、(7) 102千円】

これまでの両親教室の対象者(第1子を妊娠している妊婦とそのパートナー)だけでなく、より多様な方を対象に、出産・子育てに向けた心構えや準備について学ぶ教室を、地域子育て支援拠点で実施します。

- ・これから父親になる方向け：年3回(土曜日)
- ・第2子以降を妊娠している方及びそのパートナー向け：年6回(平日)

【実施回数・参加人数】

年度		5年度	6年度	7年度	8年度 (7月末)
これから父親になる方向け	実施回数	4回	4回	3回	1回
	延べ人数	21人	23人	24人	8人
第2子以降	実施回数	5回	5回	6回	2回
	延べ人数	15人	28人	35人	9人

※5年度から事業開始

4 地域育児教室（赤ちゃん会）【(8) 2,055千円、(7) 1,957千円】

第1子の0歳児とその保護者を対象に、自治会館やケアプラザ等において、仲間づくり、親子での遊びの体験、育児に関する情報交換等を実施します（全23会場、年230回、各会場月1回（8月と1月を除く））。

【赤ちゃん会実施回数及び参加者数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度 (7月末)
開催回数	229回	240回	240回	240回	92回
実人数	2,380人	2,313人	2,307人	2,323人	949人
延べ人数	6,661人	6,428人	6,373人	6,103人	1,946人

5 母乳育児相談 【(8) 279千円、(7) 279千円】

母乳のことでお困りの方を対象に、助産師が相談支援を実施します。

(月2回 全24回)

【母乳育児相談参加者数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度 (7月末)
開催回数	24回	24回	24回	24回	8回
実人数	100人	111人	102人	105人	27人

《参考》

局事業

【こども青少年局事業】

- ・横浜市産後母子ケア事業（訪問型母子ケア）

産後に心身の不調又は育児不安がある、家族等から十分な支援が受けられないなどにより、子どもを連れての外出に不安や困難のある母親を対象に、居宅に直接助産師が訪問して、母乳育児をはじめとする様々な育児のアドバイスをします。

6 歯つらつ歯みがき教室 【(8) 837千円、(7) 773千円】

0から1歳児とその保護者を対象に、歯科衛生士によるむし歯予防の話や歯みがきの実習の教室を実施します。

(年48回 ①歯みがきをこれから開始する方向け 年24回

②歯みがきをすでに開始している方向け 年24回)

【歯みがき教室参加者数（児・保護者の合计数）】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度 (7月末)
開催回数 (定員)	36回 (360組)	48回 (360組)	48回 (720組)	48回 (720組)	16回 (200組)
実人数	397人	523人	596人	608人	99人

〔こども青少年局再配当予算〕

・乳幼児歯科相談

乳幼児とその保護者を対象に、歯科医師による健診や、個別歯みがき指導を実施します。

7 「窓口対応満足度」向上事業 【(8) 2,436千円、(7) 2,931千円】

区役所に来所した方をお待たせすることなく、適切な情報を提供し、必要な手続きを円滑に行うため、窓口案内員を配置します。

また、発達相談のために子どもと一緒に来所した保護者を対象に、落ち着いて相談ができるよう、お子さんを預かる保育協力者を配置します。

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
2-(3) 食育推進事業	1,729千円	1,085千円	62.7%
福祉保健課			

【事業の概要】

子どもの成長段階に応じて、離乳食手帳等の配付や離乳食教室等を実施するとともに、個別相談により一人ひとりの状況に応じた支援を行い、子どものより良い成長につながるよう食育を推進します。

また、食に関する疑問や不安を抱える保護者を地域の身近な場でも支援できるよう、地域の支援者の人材育成を行います。

【主な内容】

1 離乳食手帳及びチラシの配付（離乳初期） 【(8) 210千円、(7) 311千円】

離乳食の基礎知識を保護者が学び、子どもの成長記録を残し、活用します。離乳食教室の案内により、保護者に向けてバランスの良い食事について情報提供をします。

・作成部数：離乳食手帳 3,200部、離乳食教室案内チラシ 2,500部



【離乳食手帳】



【離乳食教室の案内（表・裏）】



2 離乳食教室 【(8) 702千円、(7) 805千円】

7～8か月児とその保護者を対象に、安心して離乳を進めていくため、離乳食教室を実施します。保護者が自宅で再現しやすいよう、離乳食の一口量や固さを体験する機会を設けます。

実施回数：月1～2回、年間20回（予定） 参加者数：1回24人、年間480人（見込み）

【離乳食教室の実施回数及び参加者数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度 (7月末)
実施回数	36回	48回	24回	20回	8回
参加者数 (実人数)	394人	419人	401人	376人	123人
一回あたりの 平均参加者数	10.9人	8.7人	16.7人	18.8人	15.4人

3 乳幼児期の食育事業（離乳後期以降） 【(8) 449千円、(7) 430千円】

離乳食から幼児食への移行期の食事に関する疑問や不安を解消するため、「歯つらつ歯みがき教室」において、1歳前後の食事ミニ講座及び簡易相談を実施します。

実施回数：月1回、年間12回（予定）

また、1歳6か月児健診受診時に幼児食のフードモデルの展示及び立ち寄り相談ブースを設けます。実施回数：月3回、年間36回（予定）

【乳幼児期の食育相談（離乳後期以降）の実施回数及び相談実施人数】

年度	7年度		8年度(7月末)	
	歯つらつ 歯みがき教室	1歳6か月 児健診	歯つらつ 歯みがき教室	1歳6か月 児健診
実施回数	12回	36回	<u>4回</u>	<u>12回</u>
実施人数	223人	801人	<u>47人</u>	<u>251人</u>

4 子どもの個別栄養相談 【(8) 183千円、(7) 166千円】

生後5か月以降の子どもとその保護者を対象に、個々の食事に関する不安や負担感の軽減を図るため、子どもの個別栄養相談を実施します。

実施回数：月2～3回、年間32回（予定） 参加者数：年間132人（見込み）

【子どもの個別栄養相談の相談者数】（健康福祉局再配当予算と合算）

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	<u>8年度 (7月末)</u>
相談者数 (実人数)	108人	106人	110人	95人	<u>31人</u>

《参考》[健康福祉局再配当予算]

・乳幼児食生活健康相談

0～18歳の子どもとその養育者に対して食生活健康相談を実施

5 地域の食育サポーター育成事業 【(8) 185千円、(7) 177千円】

乳幼児期の親子が集まるサロンや健診会場において、来所者の食事に関する個別相談を実施します。また、子どもが楽しく・おいしく・みんなで食べることの大切さを学べる食育啓発を実施します。実施回数：年間12回（予定）

【地域の食育サポーター実施回数】

年度	6年度	7年度	<u>8年度(7月末)</u>
実施回数	4回	7回(3回)	<u>4回(4回)</u>
参加人数	122人	225人(156人)	<u>170人(170人)</u>

※()内は3歳児健診会場での実施回数



【食育啓発の様子】

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
2-(4) 保育所支援・情報提供事業	3,143千円	1,973千円	62.8%
こども家庭支援課			

【事業の概要】

区内保育所を支援するため、保育の質の確保・向上につながる取組を実施します。また、保育所等の情報を掲載した区独自の利用案内を作成・活用し、保育所利用に関する制度について情報を発信します。

【主な内容】

1 保育の質確保・向上事業 【(8) 1,200千円、(7) 1,200千円】

民間の保育所等を対象に臨床心理士等を派遣し、配慮の必要な子どもとの関わりや保護者との関わり、職場状況等の課題を解決する一助として、保育士のメンタルヘルスケアや職場環境などについて助言を行います。

- ・実施時期：5月～3月
- ・対応方法：園への訪問相談（園の状況により、オンラインまたは電話による対応も可能）
相談者の意向を踏まえ、必要に応じて最適な相談手法を検討し、支援を行います。
- ・相談体制：臨床心理士、こどもの発達支援の業務経験者、保育施設の施設長経験者、保育施設職場環境改善相談対応経験者等

【実施回数】

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (7月末)
相談件数	16回	8回	1回

※令和6年度から開始

2 保育所等情報提供事業 【(8) 1,103千円、(7) 1,103千円】

区内の認可保育所や認可外保育所等の情報、保育サービスなどについてわかりやすく記載した港北区版の保育所等利用案内を作成・配布します。

- ・配布場所：区役所、行政サービスコーナー、区内認可保育所等、
港北区地域子育て支援拠点「どろっぷ・どろっぷサテライト」
親と子のつどいの広場
- ・発行部数：8,000部
- ・配布開始予定：10月1日

【港北区版利用案内の発行部数】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
実数	13,000部	9,000部	10,000部	10,000部	8,000部

3 民間園向け研修事業 【(8) 270 千円、(7) 135 千円】《拡充》

保育の質の確保や保育の充実を目的とした研修を、施設長会の開催にあわせて、外部講師を招き実施します。

- ・実施回数：3テーマ×2回（令和7年度 3テーマ×1回）

施設長同士の対話を促進し、経験共有や課題解決力の向上、さらには園運営の質的強化を図るため、研修の回数を増やします。

【令和8年度実施日程】

- ・第1回：6月3日・4日「保育の質向上」に関する各園の取組

※6月3日は台風6号の影響により中止

- ・第2回：10月9日（予定）
- ・第3回：未定

【令和7年度実施状況】

- ・第1回：6月24日「保育園における防災力向上～施設長の立場から考える～」
- ・第2回：10月16日「子どもの人権を守る保育の組織づくり～不適切な保育を防ぐために施設長ができること～」
- ・第3回：1月28日・29日「個別配慮の必要な園児とその保護者対応を考える」

【民間園向け研修事業への参加園数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度 (7月末)
延べ数	274園	233園	279園	287園	62園

4 保育所等による子育て支援促進事業 【(8) 570 千円、(7) 370 千円】《拡充》

保育所が行う子育て世帯に対する育児支援を促進するため、親子で楽しく過ごしながら地域の子育て情報や保育所の情報を得られるよう、区内の公立保育所と民間保育所が連携して「にこにこ広場」を開催します。

- ・実施時期、回数：6月～11月、7回
- ・実施内容：ミニシアター、ふれあいあそび、育児相談コーナー、保育所紹介等

【令和8年度実施日程】

- ・篠原地域ケアプラザ 6月23日 (39人)
- ・イオン横浜新吉田店 7月2日 (79人)
- ・大豆戸地域ケアプラザ 9月3日
- ・日吉本町地域ケアプラザ 9月15日
- ・樽町地域ケアプラザ 10月29日
- ・日吉宮前公会堂 11月6日
- ・菊名コミュニティハウス 11月12日

【にこにこ広場参加者数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度 (7月末)
実施回数	4回	5回	6回	7回	2回
実人数	321人	347人	337人	627人	118人

2-(5) 港北区放課後児童健全育成強化・情報提供事業

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
2-(5) 港北区放課後児童健全育成強化・情報提供事業	370千円	136千円	36.8%
こども家庭支援課			

【事業の概要】

放課後児童健全育成事業所の運営体制の強化等を図るため、放課後キッズクラブ及び放課後児童クラブ（以下「クラブ」という。）の職員を対象に研修を実施し、職員の能力向上につなげます。研修では、講義やグループワーク等を通じて、日ごろ顔をあわせる機会の少ない各クラブ職員に交流・情報交換の場を提供することで、クラブ間の連携強化も促進します。

また、クラブの利用を検討している児童と保護者の皆様のクラブ選びを支援するため、クラブの写真や特色等の情報を集約した紹介冊子（電子媒体）を通じて、クラブ情報の周知を図ります。

【主な内容】

1 クラブ職員研修事業 【(8) 203千円、(7) 203千円】

クラブ職員を対象に、ニーズを踏まえたテーマで研修を実施します。

研修テーマ	内 容	参加人数	実施時期
防災	火災、地震及び風水害時の備えと対応	43人	6月17日
表現活動	工作、絵描き等を通じた表現活動の工夫	27人	7月8日
発達理解	児童の発達段階、年齢に応じた関わり方	定員	9月9日
怪我の予防	小学生の怪我の予防、応急処置等の対応	各35人	10月～11月



【研修会の様子（左：防災、中央：表現活動、右：怪我の予防）】

2 クラブ情報提供事業 【(8) 167千円、(7) 167千円】

区ウェブサイトで公開しているクラブ紹介冊子「小学生の放課後の居場所」（電子媒体）の案内やQRコード等を掲載したちらしを作成し、就学時健診等の際に配布します。

- ・対象経費：ちらし印刷及び配送、紹介冊子の更新
- ・配布数：ちらし5,000枚



【クラブ紹介冊子「小学生の放課後の居場所」】

2- (6) 困難な状況にある児童・家庭等への支援事業

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
2- (6) 困難な状況にある児童・家庭等への支援事業	3,713千円	2,634千円	70.9%
こども家庭支援課			

【事業の概要】

児童虐待や養育環境に課題のある子育て家庭、DVなど、困難を抱えるこども及びその家庭等の状況を早期に把握し、包括的かつ適切な支援へつなげるため、地域住民への普及啓発や関係機関との連携など総合的な対策を推進し、こどもやその家族を社会全体で見守り、支える環境づくりを進めます。

【主な内容】

1 児童虐待防止対策事業 【(8) 1,305千円、(7) 1,084千円】

(1) 保護者向けの児童虐待予防啓発《拡充》

ア 体罰によらない子育てについての講座(2日間×3回)

対象者について、既存の「主に未就学児から小学校3年生まで」の2回に加え、「小学校4年生から中学校3年生まで」(1回)を新たに実施します。

【8年度予定】各回定員15人

講座内容：①ほめ方・しかり方のヒント ②保護者のセルフケア

第1回：(実績) ① 5/28 (13人)、② 6/25 (12人)

第2回：①10/1、②10/29

講座内容：①思春期に入のお子さんとの関わり方 ②保護者のセルフケア

第3回：①12/22、② 1/26

【7年度実績】各回定員20人

講座内容：①ほめ方・しかり方のヒント ②保護者のセルフケア

第1回：① 6/10 (17人)、② 7/16 (16人)

第2回：①10/31 (11人)、②11/20 (11人)

イ 学齢期保護者向けグループミーティング

児童虐待予防のため、乳幼児期からの切れ目のない支援に向けて、学齢期以降の子を持つ保護者を対象に、グループミーティング(月1回)を実施します。

〔こども青少年局再配当予算〕

・ファミリーサポートクラス(未就学児の子を持つ保護者を対象としたグループミーティング)【(8) 212千円、(7) 176千円】

支援を必要とする保護者の育児不安の解消を図るため、グループミーティングの手法を活用した支援を実施します。

【ファミリーサポートクラス参加者数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度 (7月末)
回数	12回	12回	12回	12回	4回
実人数	12人	15人	12人	14人	5人
延べ人数	55人	47人	43人	55人	9人

2 地域で支えあう福祉・保健のまちづくり

(2) 区民向けの児童虐待防止啓発

児童虐待防止について広く区民に啓発するため、啓発グッズの配布やふるさと港北ふれあいまつりでの啓発活動を実施します。

また、子育て世帯が子育てをされていて感じている困りごと等を踏まえて、区民向けの児童虐待防止啓発講演会を実施します。

【講演会のテーマ及び参加者数】

年度	テーマ	参加者数
3年度	しつけを通して考える子どもを伸ばす関わり方 (オンライン開催)	24人
4年度	①小学生になったこどもへの声かけ ②思春期に入のお子さんとの関わり方	①47人 ②38人
5年度	こどものしつけってどうすればよいの？	63人
6年度	こどもに届くほめ方・しかり方	52人
7年度	こどものゲーム・ネット依存 ～まわりの大人ができること～	72人
8年度	<u>(仮) 子育てパートナーシップ</u> <u>～幸せな家庭を築く夫婦のコミュニケーション～</u>	<u>1月予定</u>

(3) 港北区要保護児童対策地域協議会関係機関との連携

港北区要保護児童対策地域協議会関係機関との連携を深めるため、全体会（年1回）、地区ごとのエリア別連絡会（6エリア各年1回）や、学校等との専門機関別連絡会（年2回）を実施します。

2 港北区版寄り添い型生活支援専門員派遣事業 【(8) 1,800千円、(7) 1,800千円】

養育支援を要する学齢期の児童を対象に、生活支援専門員の訪問による生活支援、学習支援、及び登校支援などを実施し、個々の児童がさまざまな体験を通じて成長する機会を提供します。

【港北区版寄り添い型生活支援専門員派遣事業利用者数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	<u>8年度 (7月末)</u>
実人数	3人	4人	9人	5人	<u>2人</u>
回数	29回	44回	87回	43回	<u>15回</u>

※4年度から事業開始

(1) 生活支援

生活支援専門員が自宅を訪問し、児童及び家庭の課題に合わせた個別の関わりの中で、生活能力の獲得に向けた多様かつ実践的な支援を行います。

(2) 学習支援

学習環境が整わないなどの理由から、家庭学習の習慣が身に付いていない児童に対して、自主的に学習に取り組んでいく姿勢を育む支援を行います。

(3) 登校支援及び児童が安心して過ごせる居場所利用等につなげる支援

不登校となっている児童に対し個別に自宅を訪問し、学校への同行など登校支援を行います。また、寄り添い型生活支援事業や寄り添い型学習支援事業等、集団参加の場や、さまざまな学習体験の場を利用できるよう支援を進めます。

〔こども青少年局再配当予算〕

- ・寄り添い型生活支援事業【(8) 23,751 千円、(7) 16,377 千円】

生活困窮状態にあるなど養育環境に課題があり、支援を必要とする家庭に育つ小・中学生等に対して将来の進路選択の幅を広げ、生まれ育った環境によって左右されることなく、一人ひとりが基本的な生活・学習習慣を身に付け、自立した生活を送れるよう生活支援・学習支援等を実施します。

3 女性・児童の権利擁護のための法律相談 【(8) 608千円、(7) 600千円】

(1) DV弁護士相談

DV被害女性が、見通しを持ち、迅速かつ自信を持って決断・行動できるよう、DV被害や児童虐待等、専門領域に精通した弁護士による相談を実施します。

【8年度予定】年12回（月1回 各月2名、7月末延べ 5名）

【7年度実績】年12回（月1回 各月2名、延べ 23名）

(2) 職員向け法律研修《拡充》

民法改正に伴う令和8年度からの父母離婚後の共同親権の制度化など、多様化するこども分野の相談に対応するため、職員向け法律研修を実施します。

実施方法について、1回あたりの時間を拡充し、より効果的な業務知識の習得を図ります。

【8年度予定】1回あたり1.5時間×年3回（7月末延べ 18名、11月、3月）

【7年度実績】1回あたり1時間 ×年4回、延べ70名

《参考》

局事業

〔こども青少年局事業〕

- ・弁護士法律相談事業

区こども家庭支援課や横浜市DV相談支援センターにおける相談支援の中で法的アドバイスが必要な場合、区こども家庭支援課又はこども青少年局こどもの権利擁護課、もしくは横浜市DV相談支援センターの職員から、担当する弁護士へ電話又はFAXによる相談をします。

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
2-(7) 高齢者・障害者支え合い推進事業	3,355千円	1,842千円	54.9%
高齢・障害支援課			

【事業の概要】

誰もが安心して暮らし続けることができるよう、高齢者・障害者等への理解を広げるための啓発や関係者への支援を行います。また、区役所窓口での来庁者へのサポートを実施します。

【主な内容】

1 地域包括ケアシステム推進事業 【(8) 1,309千円、(7) 808千円】

健康福祉局、医療局からの再配当予算事業と一体的に事業を実施し、「区レベル地域ケア会議」※1の開催(10/14PM)等を通じて、地域包括ケアシステムの構築を推進します。

※1 区レベル地域ケア会議：医療・介護・地域組織等の代表者を構成員として、区域の課題の共有、ネットワーク構築、必要な取組を検討する会議

(1) 高齢者がいきいきと暮らし続けるための情報発信《新規》

ア 「人生100年準備パスポート」の作成・配布

前期高齢者に向けて、元気な今からできる準備に関する情報ガイドを作成し、民生委員・介護関係者を通じて高齢者本人や家族に配付するほか、診療所や薬局、イベント等で配付することにより、元気なうちから必要な取組や困りごとの相談先等を周知します。(10月頃)

イ 「きょういく・きょうようガイド」の更新・情報発信

港北区内の高齢者向け地域活動(サロン、趣味活動の場、生活支援等)の情報をまとめ、ホームページ等による情報発信及び支援者・関係機関を通じた啓発を行い、高齢者の社会参加を促進します。(2月頃)

ウ 様々な媒体・場を活用した周知・啓発

各種事業の取組に関する情報が幅広い世代に伝わるよう、様々な媒体を活用した情報発信や「ふれあい祭り」等でのブース出展・啓発グッズの配布を通じて周知を行います。(9月頃から)

エ 「港北MMダンス(港北区フレイル予防体操)」のリーフレット作成・配布

様々な世代や無関心層に「港北MMダンス」※2を周知することにより、フレイル予防に取り組む高齢者の増加を図ります。(9月頃)

※2港北MMダンス：R6年度に横浜 F・マリノスの協力により作成した、港北区オリジナルのフレイル予防体操(立位編、座位編)



【きょういく・きょうようガイド】 【港北MMダンス リーフレット：立位編、座位編】

(2) 高齢者の安心・安全な暮らしを支えるネットワークの構築

ア 港北区SOSネットワーク事業「かえるネット」の推進

認知症高齢者が外出時に道に迷い行方不明になった場合でも早期に帰宅できるよう、家族等の連絡先などの登録情報を事前に区・警察・地域ケアプラザで共有する「かえるネット」のパンフレットを改訂し、普及啓発を進めます。(10月頃)

イ 高齢者虐待防止・早期対応に向けた連携の推進

高齢者虐待の未然防止や早期発見、迅速かつ適切な対応・支援の指針として活用する「高齢者虐待防止ハンドブック」を増刷し、関係機関等との連携を推進します。(9月頃)



【かえるネットパンフレット】



【高齢者虐待防止ハンドブック】

《参考》港北区における高齢者の状況

年度(3月末)	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
65歳以上人口	70,289人	70,730人	71,222人	71,903人	72,741人
高齢化率	20.0%	19.9%	20.0%	20.0%	20.1%
認知症高齢者数※3	6,263人	6,696人	7,725人	7,902人	8,014人
要介護認定者数(1号)	13,189人	13,297人	13,778人	14,172人	14,522人

※3要介護認定データを基にした「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の認知症高齢者の人数

《参考》

[健康福祉局再配当予算]

- ・地域づくり型介護予防事業【(8) 698千円、(7) 952千円】
介護予防普及啓発事業(フレイル予防の啓発等)
地域介護予防活動支援事業(介護予防人材育成)
地域リハビリテーション活動支援事業(地域へ専門職派遣)
元気づくりステーション事業(活動・立ち上げ支援)
- ・地域包括ケア推進事業【(8) 400千円、(7) 400千円】
- ・地域で支える介護者支援事業(認知症家族の介護者セミナー)
【(8) 241千円、(7) 324千円】
- ・在宅高齢者虐待防止事業【(8) 41千円、(7) 41千円】
介護サービス従事者等向けの虐待防止研修会
虐待防止のためのネットワークミーティング開催等

[医療局再配当予算]

- ・在宅医療・介護連携研修【(8) 192千円、(7) 250千円】

港北区地域包括ケアシステムのめざす姿

- は はなれて暮らす家族も安心
- な なかよく、人とのつながりを大事にしよう
- み みんなが自分事のように考えて輝こう
- す 好きな家で、できる限り過ごせる
- き 気遣い・支え合いのあるまち 港北

はなみずき は、港北区の「木」です。平成3年に区民の一般公募で決定しました。若々しくモダンな印象が好まれました。



2 障害者支援事業 【(8) 460千円、(7) 837千円】

(1) 支援者向け研修

港北区地域自立支援協議会※4において、障害者虐待防止、支援機関の連携強化及び支援技術向上のための研修会等を企画・開催します。

※4 自立支援協議会…障害者等への支援の体制の整備を図るため、福祉、医療、教育又は雇用に関連する関係者が参加し、地域における支援体制の課題の共有や連携の強化などについて協議を行います。

【8年度の研修内容（予定）】

時期	実施テーマ	部会
9月	施設従事者等による虐待防止について（研修）	全体会議
11月	防災について（研修）	地域で暮らす部会

(2) 講演会・啓発イベントの実施

ア 障害理解の啓発イベント

港北区地域自立支援協議会、港北区社会福祉協議会セーフティネット分科会との連携により、障害理解の啓発イベントを区民向けに実施します。

【過年度実績及び8年度の実施内容（予定）】

年度	内容	参加者数
4年度	映画「だってしょうがないじゃない」上映会	111人
5年度	映画「星に語りて」上映会	128人
6年度	映画「梅切らぬバカ」上映会	222人
7年度	映画「どうすればよかったか？」上映会	165人
8年度	映画上映会（2～3月）開催予定	二

※4年度から実施

イ 精神保健福祉に関する講座

メンタルヘルス（心の健康）の大切さや障害の理解を目的として、区民向けに講座等を実施します。

【直近5か年の講座テーマ】

年度	テーマ	参加者数
4年度	メンタルヘルスの回復とは ～ピアサポートとリカバリーについて考える～	54人
5年度	生きづらさを抱える本人と家族の体験談 ～まもうよこころ私たちが気づいて、できることって何だろう～	39人
6年度	親亡きあとも安心して精神障害者が地域で暮らすための社会資源 ～医療×保健×福祉～	40人
7年度	多様化する精神疾患の治療の実際 事例を通じて ～基礎知識と家族の関わり方講座	29人
8年度	調整中（2月開催予定）	二

(3) 健康講座等の開催

自身の健康についての理解を促進するため、作業所の利用者等に向けて健康講座等を開催します。

【健康講座実績】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
実施回数	1回	4回	4回	2回	1回※
参加者数	14人	74人	45人	19人	10人※

※6月末現在の実績 年度内に1回程度追加開催予定

《参考》[健康福祉局再配当予算]

- ・精神障害者の生活教室事業 【(8) 198千円、(7) 208千円】
精神障害者の対人関係の改善や社会生活への適応促進等を目的とし、創作活動やスポーツなどの集団援助を継続的に実施します。
- ・難病相談事業 【(8) 197千円、(7) 342千円】
難病患者・家族がよりよい療養生活と社会生活を送ることができるよう、情報提供や相談の場である講演会・交流会を継続的に実施します。

《参考》港北区における障害者の状況

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
身体障害者 手帳所持者数	7,379人	7,294人	7,231人	7,221人	7,263人
精神保健福祉 手帳所持者数	3,151人	3,413人	3,657人	3,952人	4,195人
「愛の手帳」 所持者数	2,494人	2,603人	2,713人	2,832人	2,952人
合計	13,024人	13,310人	13,601人	14,005人	14,410人

※手帳所持者数の統計情報は年度末時点のみ

3 窓口サポート事業 【(8) 1,586千円、(7) 1,593千円】

福祉保健相談窓口にて窓口サポーターが、高齢者や障害者向けに窓口での手続支援や案内等を行います。

【福祉保健相談窓口におけるサポート実績】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度 (7月末)
件数	1,738件	3,393件	2,281件	4,527件	991件

【港北区における福祉保健相談窓口の相談件数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度 (7月末)
件数	17,717件	17,899件	18,300件	19,410件	6,597件

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
2-(8) 健康こうほく21事業	2,901千円	409千円	14.1%
福祉保健課			

【事業の概要】

健康寿命の延伸に向けては、若い世代からの生活習慣病予防と健康的な習慣づくりが重要です。働き・子育て世代に向けて、生活習慣の改善や意識・行動の変化を促す啓発を行います。

【主な内容】

1 未来に向かう生活習慣改善事業 【(8) 2,052千円、(7) 2,332千円】

働きながら子育てをする20～40代に対し、食事・運動・睡眠などの基本的な生活習慣の定着を図るため、口腔ケアや乳がんの早期発見、バランスの良い食事に関する啓発イベントを実施します。

《主な取組内容》

時期	取組	ターゲット	実施内容	場所	延べ参加者数
6/7	歯と口の健康週間イベント	働き子育て世代	口腔ケア啓発	トレッサ横浜	926人
10/10	トレッサ健康ウォーキング	働き子育て世代	YWPアプリ スタンプラリー	トレッサ横浜	-
10/10	健康測定イベント ※健康ウォーキングと同時開催	主に20～30代の男女	健康測定（ベジチェック・骨密度） 生活習慣改善アドバイス	トレッサ横浜	-
11/23	ふるさと港北ふれあいまつり	主に30～60代の男女	食生活啓発等	横浜アリーナ	-

※ 上記イベントのほかにも庁内デジタルサイネージでの啓発動画放映や、健康相談事業、地域行事における健康測定を別途実施

2 健康経営支援事業 【(8) 849千円、(7) 1,019千円】

働き・子育て世代の健康増進のため、事業所に対して健康経営を促進し、職場環境の改善を図ります。令和8年度は、前年度に実施したリーフレット配布の効果測定やニーズ調査等を踏まえ、健康経営認証を取得している区内中小企業向けの研修・交流会を実施します。

令和8年度予定

4月～10月	・啓発ツール、研修資料等の制作 ・研修、交流会の内容・開催方法について外部講師を招き検討
11月以降	研修、交流会の開催

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
3-(1) 育もう「ふるさと港北」事業	9,255千円	7,327千円	79.2%
地域振興課			

【事業の概要】

転入者の多い港北区において、区民の「ふるさと」意識を育み港北区への愛着を深めるために、世代間・地域間交流の場を提供します。

地域資源・歴史的遺産を活用し、区民各層の交流の促進を図るほか、区内を拠点とするプロスポーツチームとの連携・応援等を通じて、港北区の魅力を内外にアピールします。

【主な内容】

1 ふるさと港北ふれあいまつり事業 【(8) 5,260千円、(7) 5,560千円】

港北区をふるさとに思う「ふるさと港北」意識の醸成を図るため、ふるさと港北ふれあいまつり実行委員会に補助金を交付し、子ども、高齢者、障害者、外国人といった多くの区民が参加できる「ふるさと港北ふれあいまつり」を開催します。さらに、横浜グリーンエキスポと連携し、緑や環境に親しむ機会を取り入れることで、持続可能な取組への関心を高めます。

(11月23日(月・祝))



【ふるさと港北ふれあいまつり(令和7年度)】

2 大倉山観梅会事業 【(8) 1,150千円、(7) 1,150千円】

港北区の観光及び商店街振興を図るため、大倉山観梅会実行委員会に補助金を交付し、「大倉山観梅会」を開催します(令和9年2月20日、21日)。

- ・実施内容：舞踊・三曲演奏・地元団体のステージ、野点、梅酒の販売、商店街ブース、横浜グリーンエキスポ PRブース



【大倉山観梅会(令和7年度)】

《参考》[みどり環境局再配当予算]

- ・地域に根差した緑や花の楽しみづくり事業 【(8) 2,700千円、(7) 2,768千円】
大倉山観梅会実行委員会への補助金

3 小机城址魅力プロモーション事業 【(8) 1,450千円、(7) 1,450千円】

小机城址が続日本100名城に選定され全国的にも注目が集まっていることを契機に、小机城址の魅力プロモーションに取り組むことで「ふるさと港北」の意識を育みます。

(1) 小机城址まつり

港北区の観光振興のため、小机城址まつり実行委員会に補助金を交付し、まつりの開催を支援しました。

＜小机城址まつり概要＞

- ・日程 令和8年4月12日（日）
- ・内容 武者行列、小机城址太鼓・お囃子等のパフォーマンス
自治会町内会等の模擬店



【小机城址まつり（令和8年度）】

(2) 小机城址の歴史の魅力発信

小机城址を紹介する案内冊子を作成・配布し、港北区の魅力を発信します。
また、区内小・中学校等での啓発を行うことで地元港北への愛着を深めます。

(3) 北条五代観光推進協議会参画

小机城址の効果的なプロモーションを行うため、北条氏ゆかりの城や史跡が存在する自治体で構成し、共同でPRしている「北条五代観光推進協議会」に参画し、協議会の活動を通して小机城址の魅力を発信します。

第62回小田原北条五代祭りへの参加 5月3日（日・祝）

4 わがまち港北映像ライブラリ事業 【(8) 525千円、(7) 525千円】

市民団体「わがまち港北映像プロジェクト」との協働により、港北区の歴史等に関する映像の制作や、それらの映像などをウェブサイト「港北映像ライブラリ」で配信することで、地域への愛着とふるさと意識を醸成します。

- ・配信用映像作品の制作、映像作品の活用（通年）
- ・ウェブサイト「港北映像ライブラリ」の管理運営（通年）
- ・港北図書館での「港北映像ライブラリ」の動画放映（通年）

5 まちの魅力発信ショートムービー事業 【(8) 600千円、(7) 600千円】

区の魅力撮影したショートムービーコンテストを開催し、区の更なる魅力創出を行います。
入賞作品は、区のウェブサイト他、様々な媒体を活用し配信を行います。

- ・募集期間：7月1日～9月30日

6 「スポーツのチカラで港北を元気に！」事業 【(8) 270千円、(7) 270千円】

港北区における全国ブランドでもある「横浜F・マリノス」及びアジア最高峰のアジアリーグアイスホッケーに加盟している「横浜GRITS」、日本ラグビー最高峰リーグであるジャパンラグビーリーグワンの1部に所属している「横浜キヤノンイーグルス」と連携・協働することで地域活性化やスポーツ振興などにつながる様々な取り組みを進めていきます。

- ・横浜F・マリノス、横浜GRITS及び横浜キヤノンイーグルスとのタイアップイベントの実施
- ・横浜F・マリノス及び横浜GRITSの地域貢献活動等の情報発信
- ・選手の「一日区長」イベントなどの開催



©1992 Y.MARINOS

【マスコットキャラクター
マリノスケ】
@横浜 F・マリノス



©YOKOHAMA GRITS

【マスコットキャラクター
グルーガ】
@横浜 GRITS



【マスコットキャラクター
カノンちゃん】
@横浜キヤノンイーグルス



事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
3 - (2) 地域振興活動事業	2,850千円	477千円	16.7%
地域振興課			

【事業の概要】

自治会町内会の活動を支援するとともに、自治会町内会の永年在職者の表彰や研修会等の実施を通じて、住みよい地域づくりの推進を図ります。

【主な内容】

1 自治会町内会への支援・連携事業 【(8) 1,480千円、(7) 1,443千円】《拡充》

地域において大きな比重を占めている自治会町内会活動の支援を通して、地域とのつながりを構築・強化し、協働のまちづくりを推進します。

地区ごとの特性を踏まえた自治会町内会への加入促進に取り組みます。

(1) 自治会町内会の加入促進

- ・未加入マンションについて管理組合・管理会社に相談（7月14日）
- ・庁舎2階戸籍課の待合で転入者向け加入促進キャンペーンを実施（通年）
- ・区関連イベントで加入促進チラシを配布（通年）

(2) 「自治会町内会掲示板への掲示物」等の各自治会町内会への送付

- ・送付回数：年10回（定例会が休会となる8月と12月を除く毎月）
- ・送付先：自治会町内会 149団体
- ・送付数：議題1件につき掲示物約1,200部等

2 自治会町内会長永年在職者表彰事業 【(8) 1,270千円、(7) 1,307千円】

自治会町内会長の日々の活動に対して感謝の意を表するため、自治会町内会長感謝会を開催します。

会長在職5年（区長表彰）、10年以上5年ごと（市長表彰）、地区連合町内会長在職10年（市長表彰）の自治会町内会長永年在職者を表彰します。

3 自治会町内会活動ICT化支援事業 【(8) 100千円、(7) 250千円】

自治会町内会活動へのICT導入を円滑に推進し、活動の負担軽減に繋げることを目的に、事例紹介や自治会同士の交流会を開催します。

交流会後、アンケートや港北区連合町内会定例会資料の郵送継続希望調査等を実施し、効果を検証します。

《参考》[市民局再配当予算]

- ・地域活動推進費【(8) 116,236 千円、(7) 121,031 千円】
区連合町内会、地区連合町内会、自治会町内会への補助
- ・防犯灯維持管理費補助金【(8) 834 千円、(7) 880 千円】
自治会町内会所有の防犯灯に対する維持管理費の補助
- ・自治会町内会館整備費補助金【(8) 5,331 千円、(7) 14,676 千円】
自治会町内会館の新築、改修、修繕等整備費、脱炭素化の補助

《参考》[市民局再配当予算] 【(8) 2,000 千円、(7) 2,000 千円】

- ・地域活動推進事業
- ・区連会ホームページの更新
- ・自治会町内会案内チラシ、加入促進啓発グッズの作製と配布
- ・自治会町内会区域図の提供
- ・区役所に申し出のあった加入希望者の自治会町内会への取り次ぎ
- ・建築局に提出されたマンション計画の地元自治会町内会への情報提供
- ・広報よこはまへの記事掲載
- ・「自治会町内会活動のしおり」配布
- ・イベントへの広告掲載 / 動画の放映
- ・デジタルサイネージでの自治会町内会への加入促進動画の放映



【区連会ホームページ更新】



【自治会町内会案内チラシ】



【入会申込者用特典防災キット】



【加入促進啓発災害用トイレキット】



【加入促進動画】

3-(3) 地域のチカラ応援事業

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
3-(3) 地域のチカラ応援事業	4,391千円	3,320千円	75.6%
地域振興課			

【事業の概要】

地域住民による地域課題の解決や魅力づくりに向けた主体的な取組を支援するため、市民公益活動を行う団体に対して、補助金交付や広報支援、有識者による活動への助言を行います。

また、交流の場の提供など団体間及び自治会・町内会との連携促進の取組を行います。

【主な内容】

1 地域のチカラ応援事業補助金の交付等 【(8)4,137千円、(7)3,197千円】

(1) 連携コース（自治会・町内会と連携して実施する事業に対する団体への補助金）《拡充》

区内で活動実績がある団体が自治会・町内会と連携して実施する、地域の課題解決や魅力づくりにつながる公益的事業を対象に、1団体最長3年間、年度当たり上限30万円の補助金を交付します。また、自治会町内会と活動団体の連携が円滑に進み、地域の新たな担い手発掘及び顔の見える関係づくりにつながる取組となるよう専門家による伴走支援を行います。

【令和8年度連携コース団体一覧】（7月末時点）

	団体名	連携先自治会町内会	事業内容
新規	OE! yokohama	綱島地区連合自治会	地域の川辺の生きもの図鑑と自治会主催のイベントを組み合わせたスタンプラリーを実施 ⇒子育て世代の地域活動への参加を促進
	たるまち高齢者居場所づくり推進委員会	樽町連合町内会	高齢者が気軽に立ち寄れる「居場所」を定期的開催 ⇒高齢者の見守りと住民同士のつながりづくり
	師岡音頭プロジェクト実行委員会	師岡地区連合町内会	師岡の風景や歴史を織り込んだ「師岡音頭」で世代を越えた交流の場をつくる ⇒住民同士のつながりづくり
	一般社団法人横浜竹林研究所	篠原町自治会	篠原町の竹林での筍掘りや篠原郵便局跡地を拠点とする食を通じた体験型イベントを開催 ⇒住民同士のつながりづくり
継続	熊野の森もろおかスタイル	師岡地区連合町内会	「師岡梅の丘公園」への梅の植樹など、子ども向けイベントを開催 ⇒子育て世代の地域活動への参加を促進
	綱島の防災、減災を考える会	綱島地区連合自治会	世代を問わず参加できる防災啓発の機会を提供 ⇒防災を通じて地域活動への参加を促進

(2) チャレンジコース

区内で活動実績がある団体による公益的事業を対象に、1団体最長5年間、年度当たり上限30万円の補助金を交付します（令和6年度から新規申請の募集停止）。

【交付団体数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度 (見込み)
団体数	15団体	17団体	11団体	9団体	6団体

(3) パートナシップコース

区全域より小さなエリアで実施される事業に対し、港北区役所の名義使用承諾及び広報などの活動支援を行います。

【承諾団体数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度 (見込み)
団体数	3団体	5団体	7団体	6団体	7団体

2 団体間の連携促進の取組 【(8) 254千円、(7) 294千円】

地域のチカラ応援事業補助金交付団体による報告会・市民活動交流会を開催し、団体の活動について有識者（地域のチカラ応援事業推進懇話会※委員）からの助言を行うとともに、団体間の連携を促進します。また、補助金交付団体以外の活動団体や自治会・町内会との交流・情報交換、つながりづくりについても促進を図ります。

- ・自治会・町内会と市民活動団体による交流会（11月）
- ・市民活動交流会（3月）

※地域のチカラ応援事業推進懇話会

市民活動の経験者、学識経験者など5名で構成。
補助金申請団体の活動に関して助言を行います。



【市民活動交流会（7年度）】

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
3 - (4) 区民活動支援事業	1,247千円	958千円	76.9%
地域振興課			

【事業の概要】

区域の中間支援組織として、地域課題の解決や魅力づくりを目指し、市民公益活動と生涯学習を支援します。

【主な内容】

1 区民活動支援センター事業 【(8) 195千円、(7) 135千円】

区民の地域活動や学習に関する情報提供、相談対応、機材の貸出しなどを行います。また、窓口では必要に応じてタブレットPC及び無線LAN (Wi-Fi) を活用し、活動支援を行います。

なお、今年度より「区民活動支援センターICT化事業」を統合しています。



【区民活動支援センター】 【イベント等のチラシの配架】

【ホームページでの活動情報紹介】

2 情報誌「楽遊学」の発行 【(8) 752千円、(7) 752千円】

団体の活動や活動の場、支援情報の紹介などを掲載した情報誌「楽遊学」を区ウェブサイトに掲載するほか、区内の区民利用施設や地域住民の交流の場であるコミュニティカフェ等において配布します。

・年6回発行、9,600部 (1,600部/回)

3 市民グループ・団体支援事業 【(8) 300千円、(7) 340千円】

地域の活動者や、新たな担い手となる若年層に向けた講座を開催するほか、団体の活動拠点となる区内施設の施設管理者間の連携を促進するため、施設間連携会議を開催します。

【講座一覧】

講座名	開催日
【ICT講座】はじめてのGoogleフォーム	8/29、9/1
【つながるカフェ①】元気で活発な団体の共通点を学ぶ	10/29
【つながるカフェ②】(仮題)企業と創る新しい地域活動づくり	2/1
【港北地域学①】外国人住民と共に輝く地域づくり	7/5 (参加17人)
【港北地域学②】公園から広がる地域のつながり	9/12
【港北地域学③】遊びでつながる！障がい児と地域	11/8
【港北地域学④】未定	未定

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
3-(5) 読書活動推進事業	825千円	327千円	39.7%
地域振興課			

【事業の概要】

読書活動を推進する取組として、本を活用した制作イベントの実施や、各種イベントにおける読書関連ブースの出展等を行うとともに、日吉図書取次所「日吉の本だな」における図書企画展示や朗読会のほか、港北区に関連する講演会等を開催します。

あわせて、地域全体で読書活動を推進するため、区内の読書関連施設や団体等と連携し、情報交換や交流会等を実施します。

【主な内容】

1 本とであおう事業 【(8) 195千円、(7) 205千円】

未来を担う子どもたちの読書活動を推進します。

(1) 本を活用した制作イベント

- ・小学生等を対象に、読書バリアフリーの理解を深める制作イベントを開催しました(8月2日)。

(2) 本と出会おうイベント

- ・ふるさと港北ふれあいまつり／ヨコアリくんまつり(11月23日 横浜アリーナ)
読書活動推進月間に、港北図書館等と連携した各種図書展示等を実施します。



【港北図書館等による展示】

(3) ブックガイド配布

- ・絵本を介して親子がふれあうきっかけを作るブックガイド「おひぎにだっこで楽しむ絵本」(中央図書館発行)を戸籍課窓口及び乳幼児健診会場で配布します。

2 読書情報発信事業 【(8) 600千円、(7) 300千円】

区民の読書活動の環境と機会の充実のため、読書を楽しむきっかけづくりや読書関連情報の発信を強化します。

(1) 図書取次サービス拠点（日吉の本だな）における情報発信等

- ・ 図書の取次機能に加えた読書関連情報等の発信（図書の企画展示やパネル展示等）
- ・ 地域交流、多世代交流の場として、区内活動団体と連携した企画等の実施（まちの先生等による朗読会やおはなし会等）



【日吉の本だな交流イベント】

(2) 各施設からの情報発信等《拡充》

- ・ 図書館や地区センター等の読書関連施設において、新着図書やテーマごとの蔵書の紹介を行うとともに、読書バリアフリーに関する広報を実施します。
- ・ 図書貸出や閲覧ができる区内公共施設等を紹介する「港北区本との出会いマップ」を改訂します。

(3) 蔵書情報等の発信

- ・ 区内の図書貸出施設や蔵書等に関する情報を集約し、区ウェブサイト等で発信します。

(4) 港北区読書講演会

- ・ 港北区にゆかりのある講師による講演会を開催し、区民が本に親しむ機会を創出しました。また子育て世代の参加を促進するため、託児を実施しました。（5月30日）。

【講演概要】

「子どもの心で楽しむ絵本の時間」（講師：ひらぎみつえ 氏）

【参加者数】（5年度から実施）

年度	5年度	6年度	7年度	8年度
人数	48人	47人	44人	33人



【港北区読書講演会】



3 読書団体連携事業 【(8) 30千円、(7) 30千円】

図書館・関連施設・地域が協働した読書活動を推進するため、区内の図書関連施設や読み聞かせ等の活動団体と連携して、情報交換や交流会等を実施します。

(1) 読書活動推進関係機関連絡会

- ・区内小・中学校、保育園、地区センター等、図書館、区で構成する連絡会を実施しました。
(7月1日)。

(2) 読み聞かせボランティア交流会

- ・学校や地域で読み聞かせの活動を行う団体の支援及び情報交換を目的とした交流会を実施しました(6月30日)。

【読み聞かせボランティア交流会参加者数】

年度	5年度	6年度	7年度	8年度
人数	14人	18人	16人	16人



【小学生向けの読み聞かせボランティア交流会】

(3) 読書フェスティバルイベントカレンダー

- ・読書活動推進月間に、区内公共施設等で開催される行事をまとめたイベントカレンダーを区ウェブサイトに掲載します(10～11月)。

《参考》[教育委員会事務局再配当予算]

- ・横浜市民の読書活動推進事業
区づくり推進費と合算して、読書活動推進関連イベント等を実施
【(8) 100 千円、(7) 250 千円】

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
3-(6) 地域スポーツ推進事業	2,750千円	2,150千円	78.2%
地域振興課			

【事業の概要】

スポーツ活動を行う団体による、広く区民を対象とした事業の開催を支援することで、地域スポーツの活性化を図ります。

また、区内大学と連携し、港北区にゆかりのあるスポーツであるラグビー競技※1に親しむ機会を小学生へ提供することで、地域スポーツ活動の推進を図ります。

令和7年度より新たに設けた「スポーツ・リソース※2活用事業」については内容を拡充し、区民がアーバンスポーツ※3に触れる機会を創出します。

※1：日産スタジアム（ラグビーワールドカップ2019TM決勝会場、横浜キャノンイーグルスホームスタジアム）、慶應義塾大学（日本の大学ラグビーのルーツ校）

※2：例《ハード面》 日産スタジアム/日産ウォーターパーク/新横浜公園（スケボー広場）/横浜ラポール/KOSE新横浜スケートセンター 《ソフト面》 港北区ゆかりのスポーツパートナーズ（横浜F・マリノス/横浜GRITS/横浜キャノンイーグルス）

※3：地域の広場や公園などを活用した、誰もが気軽に楽しめる都市型スポーツのこと。

【主な内容】

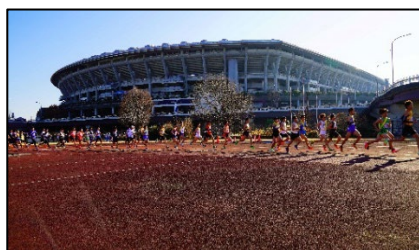
1 港北区スポーツ振興事業補助金 【(8) 450千円、(7) 450千円】

＜港北区スポーツ振興事業補助金の概要＞

目的	区内のスポーツ活動をより効果的に推進し、充実させる活動を行う団体を支援することにより、区内のスポーツの振興を図る。
補助対象事業	港北区スポーツ協会に加盟するスポーツ活動団体や要綱に定める団体が行う、地域のスポーツ振興、区民の健康増進及び体力づくりを目的とする事業。
補助金額	上限22,500円（ただし、補助対象経費の2分の1以内）
申請団体 (7月末)	6団体

2 港北駅伝大会 【(8) 1,000千円、(7) 1,000千円】

地域スポーツの推進に寄与するとともに、地域における世代間交流を図るため、港北駅伝大会実行委員会に補助金を交付し、港北駅伝大会の開催を支援します（開催日：1月31日）。



【駅伝大会】

【参加チーム数】

年度	3 年度 ^{※1}	4 年度	5 年度 ^{※2}	6 年度	7 年度
チーム数 (参加者数)	中止	154 (913人)	141 (874人)	193 (1, 143人)	210 (1, 273人)

※1 2 年度及び3 年度は新型コロナウイルスの影響で開催中止。

※2 5 年度は当日の降雨を受けた参加人数(参考) 申込192チーム《1, 167人》

3 大学とのスポーツ連携事業 【(8) 500千円、(7) 500千円】

慶應義塾大学等と連携して、小学校ラグビー授業へのサポート講師(学生)派遣や、ラグビー・スポーツ体験会を実施することにより、区内のスポーツ活動の推進を図ります。

(1) 小学校ラグビー授業サポート派遣

たいいくかいしゅうきゅうぶ

区内の小学校(全26校)に希望を募り、慶應義塾大学体育会蹴球部(ラグビー部)の学生を講師として派遣し、ラグビー授業を実施します。(5月～翌2月)

【実施実績】

年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度 [※]
実施校数	7 校	12校	12校	12校	3 校

※ 令和8 年度申込数:12校

(2) 港北区&慶應ラグビー・スポーツ体験会

対象:小学生

会場:慶應義塾大学日吉ラグビーグラウンド(6月13日)

【実施実績】

年度	4 年度	5 年度 ^{※1}	6 年度	7 年度 ^{※2}	8 年度
参加人数	52人	69人	65人	51人	40人

※1 5 年度は降雨による参加者減を受け、10月に追加実施した2回の延べ人数

※2 7 年度は小雨の影響による参加人数



【小学校ラグビー授業サポート派遣】



【ラグビー・スポーツ体験会】

4 スポーツ・リソース活用事業 【(8) 800千円、(7) 400千円】

港北区に存する多くのスポーツ資源を活用したイベントの開催により、区民の皆様に身近なスポーツ施設やプロスポーツ団体等の資源を広く認識していただくことを目的として実施します。

令和8 年度は、令和7 年度の事業実績を活かし、新横浜公園を活用したアーバンスポーツの体験イベントを開催します。

<スポーツ・リソースの概要>

参加者	港北区在住・在学の小学生
イベント規模	110人
開催日	10月10日
実施場所	新横浜公園内
プログラム内容	<u>アーバンスポーツ体験</u> <u>①教室型：スケートボード体験</u> <u>②回遊型：ダブルダッチ・スラックライン・</u> <u>フリースタイルバスケット体験</u>



【7年度事業：スケートボード体験会】

【実施実績】

年度	7年度
参加人数	第1回（令和7年10月4日）：35人 第2回（令和7年12月6日）：45人

※ 第1回は小雨の中での参加人数

《参考》統合事業費

スポーツ推進委員支援事業 【(8) 2,093千円、(7) 2,500千円】

- ・スポーツ推進委員地区活動補助金
- 非委嘱年度による事務費の減

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
3-(7) 芸術文化振興事業	1,800千円	1,800千円	100%
地域振興課			

【事業の概要】

区内の芸術文化を振興するため、港北芸術祭実行委員会に補助金を交付し、質の高い芸術に触れる機会を提供する鑑賞型事業や区民の文化活動の発表の場を提供する参加型事業等の港北芸術祭を開催します。

【主な内容】

1 港北芸術祭実行委員会主催事業 【(8) 1,800千円、(7) 1,800千円】

(1) 鑑賞型事業

- ・二つの愛－チェーホフと谷崎潤一郎－（10月18日 港北公会堂）
前田真里衣氏等によるお芝居と、岩崎加根子氏等による朗読劇を実施します。
- ・奇跡の歌姫 渡辺はま子（2月13日 港北公会堂）
横浜生まれの歌姫「渡辺はま子」をテーマにしたドラマリーディングライブ

《参考》7年度実施事業

- ・「北川記念ロシア民族楽器オーケストラ特別公演～バラライカ・オーケストラの響き～」
（9月28日 港北公会堂）
来場者数：338人
- ・「東京キューバンボーイズ ニューイヤーコンサート2026」（1月24日 港北公会堂）
来場者数：501人



【バラライカ・オーケストラの響き】



【東京キューバンボーイズ
ニューイヤーコンサート2026】

(2) 参加型事業

- ・さわってみよう！箏・尺八（7月26日 港北区役所）
- ・夏のファミリーコンサート（8月30日 港北公会堂）
- ・港北区中学校生徒音楽会（10月11日 港北公会堂）
- ・港北芸能大会（11月3日 港北区民文化センター）
- ・港北三曲会演奏会（11月7日 港北公会堂）
- ・筆文字で遊ぼう（書道体験教室）（12月19日 港北区民文化センター）
- ・港北美術展（2月23日～28日 大倉山記念館）
- ・オーケストラ体験教室（3月13日 港北公会堂）

【港北芸術祭実行委員会主催事業の実施事業数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	<u>8年度 (7月末)</u>
事業数	9事業	11事業	10事業	10事業	<u>1事業</u>

【港北芸術祭実行委員会名簿（敬称略・五十音順）】

氏名	職業等
青 博孝	港北区連合町内会長
岡 幹絵	コンサートの企画・構成・マネジメント
鎌田 悠紀子	書道家
古石 正史	港北区長
五大 路子	俳優
平賀 三男	ジャズトロンボーン奏者
堀 了介（会長）	チェロ奏者
三橋 貴風	尺八演奏家

《参考》各種団体主催事業（7月末）

港北芸術祭に参加している後援行事について、広報よこはま港北区版への記事掲載や文化情報ホームページへの情報掲載など広報支援を行います。

- ・港北区民俗芸能のつどい（6月21日 港北公会堂）
- ・大倉山秋の芸術祭（10月28日～11月3日 大倉山記念館）
- ・港北ダンスフェスティバル（11月29日 港北公会堂）
- ・港北童謡の会「ニューイヤーコンサート」（1月19日 港北公会堂）

【各種団体主催事業の実施事業数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	<u>8年度 (7月末)</u>
実施事業数	7事業	5事業	5事業	6事業	<u>1事業</u>

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
3-(8) 港北区商店街活性化事業	2,250千円	746千円	33.2%
地域振興課			

【事業の概要】

区内商店街及び商店街店舗の話題提供につながるイベント等の開催を通じて、消費者の関心や認知度の向上を図ることにより、商店街の活性化を支援します。

【主な内容】

1 商店街活性化事業 【(8) 2,100千円、(7) 1,800千円】

商店街を利用するきっかけとなるイベント（「こうほくの商店街 ちょいより散歩」スタンプラリー）を開催します。（10月～12月）

【「こうほくの商店街 ちょいより散歩」の応募件数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度		8年度	
実施方法	紙	紙	紙	紙	デジタル	紙	デジタル
実施期間	1か月間	2か月間	2か月間	2か月間	1か月間	2か月間	
参加店舗数	82店舗	119店舗	107店舗	108店舗	108店舗	116店舗	
応募件数	179件	381件	606件	621件	347件	—	—



【7年度 紙のスタンプラリー】



【7年度 デジタルスタンプラリー】



※参加者の声（7年度イベント参加者アンケートより）

- ・普段通るが入ったことがないお店があり、このイベントをきっかけに知ることはできてよかったです。
- ・実は身近に素敵なお店がたくさんあることを知るきっかけとなりました。
- ・スタンプラリー楽しく参加できました。また、商店街をまわってお店の方と話したいです。
- ・新しい店を利用する機会になって楽しかったです。
- ・参加店のマップがあり今後のちょいより散歩に利用します。
- ・冊子がマップ付きで分かりやすかったです。
- ・参加店舗数がより増えると嬉しい。
- ・デジタルスタンプラリーだとスタンプ台紙を忘れても参加ができるので良かった。

2 商店街魅力発信事業 【(8) 150千円、(7) 200千円】

商店街の特色や魅力を広く発信し、来街者の増加につなげることを目的としてニーズに合った講座を開催し、商店街自らが魅力を発信できるよう支援します。経済局商業振興課のホームページへの掲載、港北区公式Xでの広報及びチラシの配架等により、商店街のイベントの広報を支援します。

《参考》[経済局再配当予算]

- ・港北区商店街活性化イベント事業補助金 【(8) 1,661 千円、(7) 1,661 千円】
商店街が主催して行うイベント開催経費に対して補助金を交付します。

(8年度補助金交付団体)

- ・菊名東口商栄会「毘沙門天祭りチャリティー縁日」
- ・小机商店街協同組合「夏の大売り出し&盆踊り」
- ・妙蓮寺ニコニコ会「妙蓮寺ニコニコフェス2026」
- ・つなしまオータムフェスティバル実行委員会「つなしまオータムフェスティバル」
- ・大倉山商店街振興組合「大倉山クリスマス2026」

3-(9) 港北オープンファクトリー事業

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
3-(9) 港北オープンファクトリー事業	874千円	0千円	0%
区政推進課			

【事業の概要】

港北区には、市内18区で最多となる1,100か所以上の工場があります。「ものづくりの現場が生活の身近なところにある」という区の特徴を生かし、地域の魅力やものづくりの面白さを伝えるため、普段は入ることのできない工場での見学・体験ツアーを中心としたイベント「港北オープンファクトリー」を開催します。

【主な内容】

1 港北オープンファクトリー 【(8) 874千円、(7) 677千円】

区内で製造業を営む企業と連携し、工場見学や体験を中心としたイベント「第15回 港北オープンファクトリー」を開催します。



【第14回イベントチラシ】

【第14回イベントの様子】

《参考》【港北オープンファクトリーの開催状況】

年度(回数)	開催日数	協力企業数	延べ参加者数	備考
3年度(第10回)	—	8	468人	区内の小学校の児童を対象にオンライン形式で開催
4年度(第11回)	1日	12	286人	4年ぶりに現地開催
5年度(第12回)	1日	15	451人	現地開催では過去最大規模
6年度(第13回)	1日	15	450人	過去最多の参加者申込数
7年度(第14回)	1日	18	494人	過去最多の協力企業数

【第14回 港北オープンファクトリーの協力企業 計18社】

(株)オースズ、(株)キョーワハーツ、(株)互省製作所、(株)さくら樹脂、(有)鈴木機械彫刻所、(株)第一鉸製作所、(株)田島精研、(株)宮川製作所、ユニオンソーシャルシステム(株)、石山ネジ(株)、(株)バネックス、ヤマセ精機(株)、(株)シルファー、(株)東京ダイス、東洋測器(株)、日本軸受加工(株)、(株)ヒートエナジーテック、横浜高周波工業(株)

【経済局再配当予算】

・ものづくり魅力発信事業 【(8) 400千円、(7) 400千円】

港北オープンファクトリー開催に係る運營業務委託費に充当します。

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
3-(10) まちづくり調整費	5,036千円	4,354千円	86.5%
区政推進課			

【事業の概要】

区内のまちづくりの円滑な推進や地域の課題の解決のため、必要な調査や関係機関との調整を行います。

【主な内容】

1 都市計画マスタープラン港北区プラン改定検討調査費

【(8) 1,000千円、(7) 0千円】《新規》

都市計画マスタープラン全体構想（全市プラン）等の改定を踏まえ、地域別構想（港北区プラン）の改定検討を進めます。令和8年度は、まちづくりの課題整理やヒアリング等を行います。

【スケジュール】

年度	8年度	9年度	10年度
内容	まちづくりの課題整理 ヒアリング等	素案公表 素案説明会/意見募集 原案作成	原案公表 意見募集 プラン改定

《参考》

局事業 [都市整備局事業]

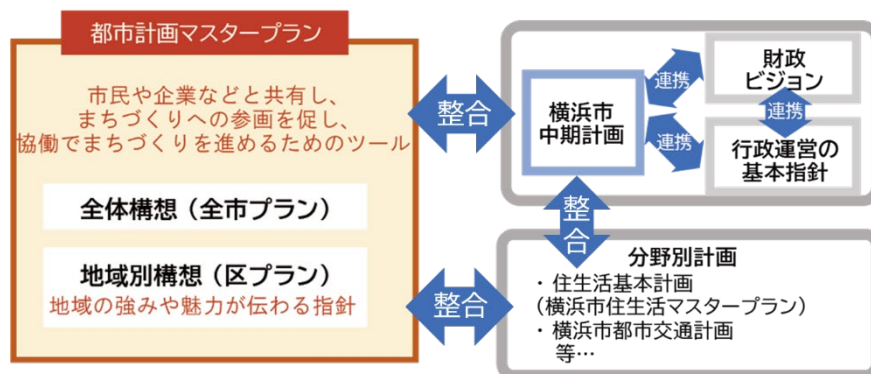
- ・まちづくり誘導調整事業

区プラン作成のために、区と局で検討委託業務を一括発注します。

《参考》

都市計画マスタープラン 全市プランと区プランの関係性

- ・全体構想（全市プラン） 令和7年5月改定
- ・地域別構想（区プラン） …地域別方針：都市整備局主体で作成
…区別計画：区役所主体で作成



2 まちづくり調整費・まちづくり調査費 【(8) 4,036千円、(7) 3,077千円】

(1) 地域課題の解決に向けたまちづくり

地域課題解決のため、区内における様々な機関と連携しながら必要に応じて随時適切な調査・対応を実施します。

【まちづくり調査等の実績】

年度	実施内容
4年度	—
5年度	日吉駅西口周辺交通空間改善検討
6年度	日吉駅西口周辺交通空間改善検討
7年度	日吉駅西口一方通行開始（周知等）
8年度	日吉駅西口一方通行実施後効果検証アンケート

(2) 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科（慶應SDM）との連携

慶應SDMと連携し、横浜グリーンエキスポも見据えた「暑さ対策」に関する取組を令和7年度に引き続き実施します。

【連携協定の概要】

港北区と慶應SDMは、平成29年5月に、「教育研究成果を活用した地域の課題についての調査・事業の実施、スポーツに関する取組やデータの活用検討等を通じて、相互のさらなる発展に寄与すること」を目的とした連携協定を締結しています。

【連携事業の実績】

年度	実施内容
4年度	「システム×デザイン思考」の実践を通じて、地域課題の解決を学ぶワークショップ
5年度	「システム×デザイン思考」の実践を通じて、「防災の自分ごと化」に繋がるアイデア創出を図るワークショップ
6年度	横浜グリーンエキスポも見据えた「暑さ対策」における実証実験
7年度	横浜グリーンエキスポも見据え市民ボランティアを想定した「暑さ対策」における実証実験
8年度	横浜グリーンエキスポも見据え中学校と連携した「暑さ対策」における実証実験及び行動変容モデルの検討



【8年度実証実験】

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
3-(11) GREEN×EXPO 2027・脱炭素推進事業	3,600千円	250千円	6.9%
区政推進課			

【事業の概要】

開催を令和8年度末に迎える横浜グリーンエキスポに向け、あらゆる取組を通じて区民の皆様と共に開催を盛り上げ、認知度向上及び参加意欲の向上につなげます。

さらに、2050年の脱炭素社会の実現に向け、区民が自主的・主体的に自然環境を守り、温暖化対策・脱炭素化に向けた行動変容を促すことができるよう、区役所・区民・事業者が連携し、脱炭素の推進を通じた港北区の更なる成長につながる取組を行います。

【主な内容】

1 港北育苗プロジェクト 【(8) 1,000千円、(7) 0千円※】《拡充》

(※R7「港北ガーデンシティ推進事業」の「港北育苗プロジェクト」500千円)

港北区内の小学校や中学校、高齢者・障がい者の福祉施設で花や緑と触れ合う機会を創出し、親子・地域が連れ立って横浜グリーンエキスポ会場に足を運ぶきっかけとなるよう、「港北育苗プロジェクト」を実施します。

- ・区内小学校・中学校、福祉施設での育苗（10～2月）
- ・区内地域花壇への定植（2～4月）

2 屋上緑化推進事業 【(8) 250千円、(7) 0千円※】

(※R7「港北ガーデンシティ推進事業」の「屋上緑化推進事業」250千円)

区民ボランティアと連携して区庁舎及び太尾小学校屋上庭園の維持管理や、区民が身近な自然に親しむ機会を創出することで、横浜グリーンエキスポを区民の皆様と共に盛り上げます。

3 港北水と緑の学校事業 【(8) 1,950千円、(7) 0千円※】《拡充》

(※R7「港北ガーデンシティ推進事業」の「港北水と緑の学校事業」1,860千円)

環境活動や防災活動が地域に根付くことを目指し、区内小学生向けに鶴見川流域の自然環境と防災等について学習する体験型講座を実施します。また、令和6年度から開始した広告協賛を引き続き実施します。

- ・区内小学校向け講座（6月～11月）14回
- ・小学生の学習成果の展示会（2～3月）
- ・令和8年度協賛企業数 6社

(株)富川写真、(株)横浜アリーナ、ウスイホーム(株)、(株)ウチムラ、綱島商店街協同組合、NOSIGNER(株)



【区内小学校向け講座】



【展示会の様子（7年度）】

【港北水と緑の学校事業 講座の実施回数及び参加者数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	<u>8年度 (7月末)</u>
実施回数	20回	20回			
小：小学校向け講座	(小18回、	(小18回、	14回	12回	<u>9回</u>
一般：一般向け講座	一般2回)	一般2回)	※1	※2	
延べ参加者数	1,301人	1,449人	968人	922人	<u>661人</u>

※1 みどり環境局が実施する「横浜市環境教育出前講座」を活用することで、本事業では鶴見川での活動に特化した区内小学校向け講座のみを実施しました。

※2 天候による延期等で学校との日程調整がつかず、実施回数が減少しました。

4 脱炭素行動推進事業 【(8) 400千円、(7) 3,200千円】

脱炭素社会の実現に向けて、港北区内の企業・団体等と連携した脱炭素イベントの実施など、あらゆる機会を通じて、子どもたちが楽しみながら脱炭素社会を考えるきっかけを身近なところで創出します。

- ・区内小学校向けの脱炭素講座の実施

横浜グリーンエクスポの出前授業を実施しました(5月・6月 計2回)。

- ・子ども向け脱炭素イベントの実施(12月)



【区内小学校向け脱炭素講座】

《参考》

【みどり環境局再配当予算】

- ・市民が森に関わるきっかけづくり事業【(8) 200千円、(7) 150千円】

「新横浜公園ピクニックパーク」イベントへの地産地消・森林保全啓発ブース出展



【PR ブース】



【ワークショップ】

【脱炭素・GREEN×EXPO 推進局再配当予算】

- ・GREEN×EXPO 推進事業 **【(8) 5,000 千円、(7) 5,000 千円】**

横浜グリーンエクスポに向けたイベント認知度の向上及び機運醸成、節目を捉えたコンテンツ認知拡大イベント等

【令和8年度の実施】



【ドアラッピング】



【区庁舎2階フォトスポット】



【綱島街道沿いに看板を設置】

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
3-(12) こうほく プラ5.3推進事業	1,394千円	513千円	36.8%
地域振興課			

【事業の概要】

横浜市一般廃棄物処理基本計画「ヨコハマ プラ5.3計画」(以下、同計画という。)に基づき、広報・啓発・支援等を行い、市民・事業者・行政が協働して環境行動の推進に取り組みます。

同計画で重点課題となっているプラスチック対策について積極的に啓発等を行うとともに、外国人が正しい分別を行うことができるよう、効果的な啓発等を重点的に実施します。

また、世界的に問題となっている食品ロス削減に向けた取組、近年新たな問題となっているリチウムイオン電池等の廃棄の対策、子どもたちが安全に清掃活動に参加できる環境整備など、清潔できれいな街づくりに向けた取組を推進します。

【主な内容】

1 環境行動の推進 【(8) 1,102千円、(7) 811千円】

(1) 環境行動普及啓発事業《拡充》

「ヨコハマ プラ5.3計画(横浜市一般廃棄物処理基本計画)」の取組を実施します。

- ・外国人向けの分別啓発チラシの集積場所への掲示(ベトナム語等)
- ・リチウムイオン電池等の出し方に関する啓発チラシの集積場所への掲示
- ・分別ルールの周知
- ・地域イベントや大型商業施設店頭での分別啓発
- ・新分別ルールの地域説明会(随時)
- ・ふるさと港北ふれあいまつり(11月23日)
- ・分別相談ブースの設置(3月)

生ごみの減量、ごみ処理に係るエネルギーや処理費用の削減、SDGsの達成のため、食品ロス削減の取組を実施します。

- ・生ごみ減量化の土壌混合法説明会(5月28日(36名)・6月25日(雨天中止)・9月30日・10月22日、各月1回)
- ・フードドライブの受付及び啓発(随時)



【分別啓発(港北区公園愛護会のつどい、イオン新吉田)】



【土壌混合法説明会】

(2) 環境学習事業

- ・区民向け啓発講座(随時)
- ・動画やSNSを活用した啓発(随時)
- ・保育園・小中学校等への出前教室、資源循環局港北事務所等での環境学習(随時)

(3) 環境行動・清潔できれいな街づくり推進者表彰

- ・環境行動の推進及び清潔できれいな街づくりの推進に功労のあった個人又は団体等を表彰します（12月9日、港北公会堂）。

(4) こうほく3R活動助成金

- ・区内の地区連合町内会に対し、環境行動の推進と街の美化活動の促進のための活動助成金を交付します（9月）。
- ・環境事業推進委員に対し、地域イベントや啓発活動時の物品の配付やサポート等活動を支援します（随時）。

《参考》[資源循環局再配当予算]

- ・ヨコハマ プラ5.3 計画広報啓発事業 【(8) 100千円、(7) 100千円】
啓発物品を購入

2 街の美化の推進 【(8) 292 千円、(7) 130 千円】

(1) キャンペーン活動の実施

- ・日吉駅周辺地区の喫煙禁止地区指定（8月）
8月1日からの指定に向けた周知・啓発活動（5月～7月）
- ・ポイ捨て・歩行喫煙防止啓発キャンペーン（日吉駅など）（年1回）
- ・地域清掃活動支援
自治会町内会や学校・企業等の地域清掃（通年）
不法投棄地域清掃（新羽大熊農業専用地区、年1回）
新横浜駅前周辺清掃（月1回）、横浜アリーナ周辺清掃（月1回）
日吉駅周辺一斉清掃（年2回）
ポケモンピカピカ団（6月27日（荒天中止））

※美化推進重点地区（新横浜地区）で、ピカチュウになりきって参加するごみ拾い活動



喫煙禁止地区指定チラシ



小学校による地域清掃



周辺企業による地域清掃
（新横浜）



日吉駅周辺一斉清掃

(2) 不法投棄防止対策

ポイ捨て防止看板作製・設置（随時）、不法投棄監視システムの維持管理（通年）

《参考》統合事業費

クリーンタウン横浜事業 【(8) 953 千円、(7) 842 千円】

ごみの散乱や不法投棄のない、清潔できれいな街づくりが特に必要と認められた美化推進重点地区での美化活動を推進します。また、活動にあたって必要な物品を購入します。

- ・新横浜駅周辺（美化推進重点地区及び喫煙禁止地区）
港北区美化推進員活動（週3回、通年）
- ・日吉駅周辺（美化推進重点地区）
港北区美化推進員活動（週2回、通年）

《参考》【港北区の家庭ごみ収集量（単位：トン）】

年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度（※）	8年度（6月末時点）
燃やすごみ・ 缶・びん・ペッ トボトル・プラ スチック資源の 総量	57,580	56,123	54,071	52,729	51,766	13,187
燃やすごみ	48,362	47,275	45,549	44,203	42,754	10,915
缶・びん・ ペットボトル	4,765	4,542	4,323	4,211	4,122	1,015
プラスチック 資源	4,453	4,306	4,199	4,315	4,890	1,257

※7年度は速報値

《参考》【本市全体での外国人の人口推移（総数及び上位5か国）（各年3月末時点）】

年度	4年	5年	6年	7年	8年
総数	98,752人	108,392人	117,922人	128,914人	140,467人
中国	38,639人	40,462人	43,145人	45,891人	49,471人
ベトナム	8,934人	10,158人	11,835人	13,728人	15,062人
韓国	12,185人	12,380人	12,467人	12,468人	12,507人
ネパール	4,184人	5,221人	6,836人	8,807人	10,744人
フィリピン	8,053人	8,811人	9,223人	9,648人	9,897人

《参考》【港北区での外国人の人口推移（総数及び上位5か国）（各年3月末時点）】

年度	4年	5年	6年	7年	8年
総数	6,703人	7,611人	8,156人	8,816人	9,900人
中国	1,797人	1,878人	1,995人	2,085人	2,357人
ベトナム	568人	719人	928人	1,121人	1,250人
韓国	1,102人	1,158人	1,157人	1,171人	1,213人
ネパール	334人	365人	443人	536人	658人
フィリピン	722人	781人	786人	796人	805人

《参考》【小型家電等の回収実績】

年度	6年度	7年度	8年度（6月末時点）
小型家電	423.80kg	3236.00kg	995.65kg
充電式電池	815.70kg	1,476.35kg	167.85kg
リチウム電池	—	2,913.65kg（※）	289.20kg

※リチウムイオン電池は令和7年12月から回収が始まったため、4か月分のみ

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
3-(13) 港北オープンガーデン事業	1,944千円	1,800千円	92.6%
区政推進課			

【事業の概要】

区民が個人のお庭やグループで育てている花壇等を公開し、互いに見学することで港北区の魅力を再発見し、花や緑を通じた区民の交流を促進します。あわせて、横浜グリーンエキスポの開催に向けた区民の参加意欲向上につなげます。

【主な内容】

1 港北オープンガーデン事業 【(8) 1,944千円、(7) 0千円※】

(※R7「港北ガーデンシティ推進事業」の「港北オープンガーデン事業」2,160千円)

第14回港北オープンガーデン(4月・5月 計6日間)の実施及び第15回イベントに向けた企画を行います。

- ・第14回は、横浜グリーンエキスポの連携をより一層強化し、機運醸成と区民参加・共創を促進するため、来場者参加型のフォトコンテストの実施や各会場に横浜グリーンエキスポロゴ入りの花壇用看板を設置しました。
- ・また、例年実施しているルート案内ツアーに新たに新横浜エリアを追加しました。



【エキスポロゴ入りの花壇用看板】

【第14回港北オープンガーデン開催概要】

- ・日時：令和8年4月17日(金)～19日(日)、5月8日(金)～10日(日)
- ・会場数：147会場
- ・特設案内所：日吉駅、りそな銀行綱島支店横、大倉山駅
- ・ルート案内ツアー：日吉、綱島、大倉山、菊名、新横浜の5つのエリアで実施
- ・スタンプラリーの実施
- ・イベント期間にあわせて野菜・花きの直売会の実施

【イベント実施状況】

年度(回数)	開催日数	公開箇所	来場者数※1
4年度(第10回)	6日	122	約29,646人
5年度(第11回)	6日	126	約35,757人
6年度(第12回)	6日	138	約42,973人
7年度(第13回)	6日	144	約42,936人
8年度(第14回)	6日	147	約48,250人

※1 標本抽出方法で計算(カウント可能な会場を基に推計)



【第 14 回 参加会場】



【第 14 回 ルート案内ツアー】



《参考》

[みどり環境局再配当予算]

- ・各区における地域に根差した緑や花の楽しみづくり事業【(8) 2,000 千円、(7) 2,000 千円】

次回オープンガーデンのパンフレットの制作、参加会場交流会等の実施等



【第 14 回パンフレット表紙】

[脱炭素・GREEN×EXPO 推進局再配当予算]

- ・GREEN×EXPO 推進事業

横浜グリーンエクスポの開催に向けたイベント認知度の向上及び機運醸成、節目を捉えたコンテンツ認知拡大イベント等

4 - (1) 区民サービス向上・環境改善促進事業

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
4 - (1) 区民サービス向上・ 環境改善促進事業	7,505千円	2,988千円	39.8%
総務課			

【事業の概要】

区庁舎に来庁された皆様が快適に過ごせるよう、施設の環境改善や機能強化を行います。

【主な内容】

1 区庁舎等の環境改善・機能強化【(8) 7,505千円、(7) 6,941千円】

- ・ 2階待合フロアの公衆無線LAN (Wi-Fi) の更新
- ・ 1階・2階待合フロア等の環境改善 (窓口レイアウト改修・椅子の増設ほか)
- ・ 窓口受付システム使用料
- ・ 夜間出口用案内
- ・ 夜間・休日受付看板等改修



【1階待合】



【窓口受付システム】



【夜間出口用案内】

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
4-(2) 区民利用施設環境改善事業	3,715千円	696千円	18.7%
地域振興課			

【事業の概要】

区内の区民利用施設について、保守改善を行い、利用者が快適に過ごせる環境づくりを進めます。

【主な内容】

- 1 区民利用施設の環境改善・機能強化 【(8) 2,685千円、(7) 2,220千円】
区民利用施設の環境改善に伴う消耗品、備品の購入や、委託等を実施します。
・下田小学校コミュニティスクール 複写サービス
・大綱中学校コミュニティハウス事務室空調機更新業務委託
- 2 子供の遊び場等の樹木保全 【(8) 730千円、(7) 630千円】
子供の遊び場等の安全確保のため、樹木管理を実施します。
- 3 子供の遊び場安全基準不適合遊具の撤去等 【(8) 300千円、(7) 270千円】
日本公園施設業協会で定める安全基準を満たさない遊具について、撤去や修繕等を進めます。

《参考》区民利用施設設置数一覧

地区センター	6 館
条例型コミュニティハウス	4 館
学校施設活用型コミュニティハウス	3 館
公会堂	1 館
スポーツ会館	1 館
スポーツセンター	1 館
老人福祉センター	1 館
こどもログハウス	1 館
国際交流ラウンジ	1 館
区民文化センター	1 館
子供の遊び場	13か所

4-(3) 戸籍課案内サービス向上事業

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
4-(3) 戸籍課案内サービス 向上事業	3,162千円	20千円	0.6%
戸籍課			

【事業の概要】

来庁者の待ち時間短縮や待合フロアの混雑緩和に取り組み、市民サービスの向上を図ります。
また、待ち時間を活用し、区政情報や横浜グリーンエクスポ関連情報等の発信を行います。

【主な内容】

1 窓口混雑対策事業 【(8) 1,962千円、(7) 2,092千円】

(1) 戸籍の届出が集中しやすい日（特異日）対策業務

- ・戸籍の届出が集中しやすい日（吉日、祝日、語呂合わせのよい日等）の混雑に対応するため、受付番号表示モニターの増設等を行います。
- ・可動式のデジタルサイネージを導入し、繁閑に応じ設置場所を検討及び行政情報、引越し関連情報（ごみの分別及び児童手当のオンライン申請等）及び横浜グリーンエクスポ関連情報を発信します（通年 待合フロア）。

(2) 繁忙期の電話対応委託業務

電話対応専門のオペレーターを配置することによる電話対応サービス向上及び職員を来庁者の窓口業務に充てることで、来庁者の利便性向上を図ります。

（令和8年4月から令和9年3月まで 配置人数2人）

【オペレーター対応件数】

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
電話受付件数 （実件数）	16,029件	15,899件	15,336件	11,575件	22,318件
オペレーター配置 日数（実日数）	252日	251日	206日	177日	240日
オペレーター配置 人数（延べ人数）	309人	288人	276人	240人	403人

2 繁忙期向け広報事業 【(8) 1,200千円、(7) 1,000千円】

春の引越しシーズンに伴う窓口繁忙期にあわせ、窓口の分散利用誘導、web発券利用促進、転出届出及び証明発行におけるマイナンバーカードの利用促進に向けた広報を行います。

- ・インターネットを活用したリスティング広告（3月）

【最繁忙期における1日あたり発券数】

（令和8年3月25日から3月27日、3月30日及び3月31日まで）

- ・平均値 web発券数 141件 web発券の割合 26.5%
 - ・最高値 (A) web発券 250件 (B) 全体 647件 web発券の割合(A/B) 38.6%
- ※最高値は令和8年3月30日の件数

【住民異動受付等件数】 令和8年3月25日から3月27日、3月30日及び3月31日まで

	25日	26日	27日	30日	31日	平均
受付件数 (件)	364	400	451	647	599	492
web発券受付件数 (件)	65	68	97	250	225	141
最大待ち時間 (分) web発券なし	59	55	48	314	277	151
最大待ち時間 (分) web発券あり	35	32	25	303	261	131
平均待ち時間(分) web発券なし	23	26	29	216	219	103
平均待ち時間 (分) web発券あり	6	3	15	106	89	44
最大待ち人数 (人)	32	38	89	244	206	122
web発券割合 (%)	17.9	17.0	21.5	38.6	37.6	26.5
前年度web発券割合 (%)	19.6	16.6	15.7	20.3	20.0	18.4
前年度比 (%)	-1.7	+0.4	+5.8	+18.3	+17.6	+8.1

【令和7年度web発券関連の周知】



【車止めポールに貼付したweb発券周知シール】



【民間事業者敷地に掲出したweb発券周知ポスター】



【区内各所に配架したweb発券チラシ】

《参考》

【港北区の人口、世帯数、平均世帯人員（住民基本台帳人口）】

	3年3月末	4年3月末	5年3月末	6年3月末	7年3月末
人口 (人) (A)	352,694人	355,442人	356,788人	359,274人	361,356人
世帯数 (世帯) (B)	176,636世帯	179,337世帯	181,250世帯	183,844世帯	186,227世帯
平均世帯人員 (人) (A/B)	2.00人	1.98人	1.97人	1.95人	1.94人

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
4-(4) 港北区PR情報発信事業	1,473千円	13千円	0.9%
区政推進課			

【事業の概要】

区民が即時に有用な情報サービスを得られるよう、区ウェブサイトやSNS等を運営します。
また、区のキャラクターを有効に活用し、SNSのフォロワー獲得に繋がる啓発物品等の製作を行い、区のPRを行います。

【主な内容】

1 情報発信事業 【(8) 1,473千円、(7) 1,523千円】

スマートフォン等の普及により区民の区政情報の入手手段が多様化していることを踏まえ、タイムリーかつターゲットを意識した有効な情報発信(※)を行います。

また、港北区のキャラクターであるミズキー等を活用した啓発物品を製作し、区役所の各種事業で配布します。

※Xの発信内容：広報よこはま港北区版の特集・トピックス記事(毎月1日～中旬)

ミズキーの港北区紹介(月2～3回)

各課が開催するイベント等(随時)

【港北区ウェブサイトアクセス件数・Xフォロワー数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度 (7月末)
アクセス件数	約250万件	約250万件	約340万件	約330万件	約93万件
フォロワー数	約10,700人	約10,900人	約11,500人	約12,100人	約12,100人

【港北区ミズキー着ぐるみ利用件数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度 (7月末)
利用件数	21件	30件	32件	34件	5件



【港北区ミズキークリアファイル】



【港北区ミズキーシール】



【港北区ミズキー着ぐるみ】

4－(5)「仕事力向上」職員育成事業

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
4－(5) 「仕事力向上」職員育成事業	620千円	132千円	21.3%
総務課			

【事業の概要】

適正な業務執行や業務スキルの向上を図るため、CS・ES向上研修やスキル向上研修を実施します。加えて、人権感覚を育み、正しい理解及び認識を身につけるため、人権啓発講演会を実施します。

【主な内容】

1 職員向け研修 【(8) 264千円、(7) 320千円】

(1) 新採用・転入職員・会計年度任用職員向けCS・ES向上研修

CS・ESの向上を図るため、新採用・転入職員・会計年度任用職員を対象として実施しました(4月20日、4月30日 参加人数:75名)。

(2) スキル向上研修

業務スキルの向上を図るため、職員、会計年度任用職員を対象として実施します(9月～10月)。

2 人権啓発講演会等 【(8)356千円、(7) 300千円】

人権感覚を育み、人権に対する正しい理解及び認識を身につけるため、市民・職員向けの人権啓発講演会や、職員向けの人権啓発研修を実施します。

【人権啓発講演会の実施状況】

年度	テーマ	講師	参加者
4年度	「いじめって何ですか？」 ～いじめに対する大人の認識を考える～	小森 美登里 (NPO法人ジェントルハートプロジェクト理事)	約250人
5年度	多様性を認め自分らしく生きられる社会づくり～20人に1人はいるかもしれないLGBTQ～	星野 慎二 (定非営利活動法人SHIP理事長)	約100人
6年度	僕の宝物(障害を受容できるきっかけとなった出来事や東京2020パラリンピックについて)	嵯峨根 望 (東京2020パラリンピック日本代表)	約120人
7年度	男らしさ、女らしさより自分らしさが社会を変える～LGBT・男性・女性とは～	ブルボンヌ (女装パフォーマー・ライター)	約320人
8年度	テーマ、講師、実施日時等は現在選定中です。		

4 区民サービス向上に向けた取組

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
《参考》統合事業費 広報よこはま区版発行事業	14,734千円	13,917千円	94.5%
区政推進課			

【事業の概要】

区民の生活に必要な行政情報等を提供し周知するため、広報よこはま港北区版を発行します。

【主な内容】

1 広報よこはま区版作製 【(8) 14,734千円、(7) 14,665千円】

広報紙は、原則として自治会町内会を通じて各戸に配布するほか、区ウェブサイトへの掲載やX(旧ツイッター)等により情報を発信します。

(1) 発行

毎月1日、年12回

180万部(15万部/月)発行

(2) 仕様

タブロイド判、4色刷り、8ページ



【広報よこはま区版7月号 特集ページ】

(3) 紙面構成

・特集、トピックス記事

区の施策で特に力を入れて取り組んでいる事業やイベント等を紹介する紙面

・お知らせ記事

区役所や区内施設等が実施する催事等を紹介する紙面

【参考】

港北福祉保健センターからのお知らせ

発行：年1回(8年4月号に挟み込み)

仕様：4色刷り、4ページ

内容：検診日程等

【広報よこはま区版発行部数】

年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度 (7月末)
年間部数	172万部	174万部	175万部	176万部	59.1万部
月平均部数	14.3万部	14.5万部	14.6万部	14.7万部	14.8万部

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
《参考》統合事業費 広聴相談事業	2,011千円	2,005千円	99.7%
区政推進課			

【事業の概要】

サービス改善等に関する区民の意見・提案等の把握や、来庁者への的確な案内及び行政情報の提供のほか、区民が日常生活で直面する問題に対応するための専門相談を実施します。

【主な内容】

1 特別相談事業 【(8) 2,011千円、(7) 2,016千円】

区民が日常生活で直面する問題に対処するため、専門家による無料相談事業を行います。

【特別相談実施概要】

相談名	内 容	相談員	実施日時
法律相談	離婚、相続、金銭、近隣問題など 法律問題全般について	弁護士	水曜日及び (8月を除く) 第1・3木曜日 13:00～16:00
司法書士 相談	債務整理(140万円以下)、 不動産登記、相続、成年後見など	認定司法書士	第1火曜日 13:00～16:00
公証相談	遺言、任意後見、賃貸借契約など の公正証書について	公証人	第2木曜日 13:00～15:00
行政相談	国の仕事・制度についての苦情・ 要望など	行政相談委員	第2火曜日 13:00～15:00

※「交通事故相談」は、令和8年度から市役所市民相談室での相談のみとなります。

【特別相談・広聴・窓口案内件数】(単位：件)

年度		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度 (7月末)
特別 相談	法律相談	448	460	456	465	161
	司法書士相談	70	103	68	67	20
	公証相談	14	20	15	26	4
	交通事故相談	4	2	2	2	
	行政相談	5	13	13	8	7
広聴事業		800	729	721	908	527
窓口案内		57,908	46,757	52,517	58,189	19,486

事業名・所管課	予算額	7月末執行額	7月末執行率
《参考》統合事業費 青少年活動支援事業	3,490千円	3,372千円	96.6%
地域振興課・こども家庭支援課			

【事業の概要】

青少年の健全育成のため、地域における青少年指導員の活動を支援し、青少年が健やかに育つ環境をつくるため、社会環境健全化活動を行います。

【主な内容】

1 青少年指導員事業 【(8) 2,680千円、(7) 2,273千円】

- ・港北区青少年指導員協議会研修会（5月9日）
- ・自然体験教室（6月14日）
- ・全市一斉統一行動パトロール活動（7月）
- ・社会環境実態調査（7月～9月）
- ・全市統一行動キャンペーン活動（11月23日）
- ・広報紙の発行（9月・3月）



【自然体験教室】



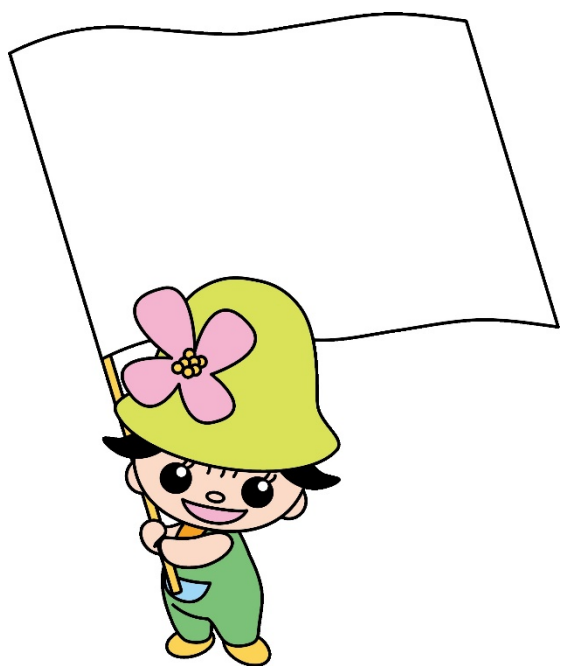
【全市一斉統一行動パトロール活動】

【自然体験教室への参加人数】

年 度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
人 数		66人	24人	37人	74人
実施場 所	天候不良 により 中止	ソレイユの丘	新横浜公園 鶴見川流域 センター	三ツ沢公園青少 年野外活動 センター	三ツ沢公園青少 年野外活動 センター
実施内 容		クラフト体験 (万華鏡づくり) フォトラリー	ウォークラリー	焼きそば作り ネイチャー ビンゴ	カレー作り ネイチャー ビンゴ

2 学校・家庭・地域連携事業 【(8) 810千円、(7) 810千円】

中学校区ごとに設けられている学校・家庭・地域連携事業実行委員会（9団体）へ補助金を交付します。学校・家庭・地域が一体となり、青少年の問題行動等の防止及び健全育成を図ります。



令和 9 年度 港北区予算編成の考え方について

区の基本目標

活気にあふれ、人が、地域がつながる「ふるさと港北」
～区民の皆様の安心・安全を守り、共にあゆむ区政～

1 基本的な考え方

「横浜市中期計画 2026～2029」の推進と区の基本目標の実現に向けて、本市の「財政ビジョン」及び「行政運営の基本方針」に基づき、令和 9 年度予算を編成します。

すべての事業において、様々な手法を活用して地域の課題やニーズを丁寧に把握し、事業内容に反映するとともに、データに基づく効果検証を行い、区民の実感につながるよう、予算編成を進めます。また、区役所のリ・デザインの推進、DXによる区民の利便性向上と業務の効率化、「創造・転換」による見直しを図ります。

今後も人口増加が見込まれる港北区において、引き続き区民の皆様との共感と信頼を基盤に、自治会町内会、商店街、NPO、企業などとのつながりを深めるとともに、社会情勢の変化に迅速かつ的確に対応しながら、「住みたい・住み続けたい豊かさがあふれるまち」の実現に向けて取り組みます。

2 予算編成の視点

- 令和 8 年熊本地震、令和 8 年 8 月千葉豪雨をはじめ、近年頻発する自然災害を踏まえ、幅広い世代が防災を「自分ごと」として捉えることができるよう防災意識の向上を図り、自助・共助の取組を促進するなど、地震・風水害への備えを一層強化するとともに、防犯対策や交通安全対策を推進し、区民の安心・安全を支えます。
- こども、子育て世代、高齢者、障害者など、誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせるよう、一人ひとりに寄り添い、第 5 期港北区地域福祉保健計画「ひっとプラン港北」（令和 8～12 年度）に込められた思いを大切にしながら、地域で支え合う福祉・保健のまちづくりを進めます。
- 港北区をこれからも「ふるさと」と感じていただけるよう、地域のつながりや魅力を実感できる取組を通じて、まちのにぎわいを高めます。
- 横浜グリーンエキスポを契機として、環境課題への理解促進を図るとともに、グリーン社会の実現に向けて、脱炭素や循環型社会につながる行動変容を促す取組を推進します。

これらの施策を相互に連携させながら、地域の実情や多様化するニーズにきめ細かく対応し、各施策を一体的かつ総合的に推進します。